

今井原屋敷遺跡

—第5地点の調査—

2015

本庄市教育委員会

今井原屋敷遺跡

—第5地点の調査—

2015

本庄市教育委員会

序

本庄市は、かつて中山道一の繁栄を誇った宿場町として、また、『群書類従』を編んだ、盲目の国学者塙保己一誕生の地として広く知られるところです。本庄市は、また多くの埋蔵文化財にも恵まれ、市内には旧石器時代から近代に至る多様な遺跡が分布しています。

本書は本庄市今井字原屋敷地内に所在する今井原屋敷遺跡の発掘調査成果を記録した報告書です。今井原屋敷遺跡は本庄台地の南西部に立地する古墳時代中期から平安時代にかけての集落遺跡として知られておりますが、今回の調査でも、一辺8メートルの規模を有する古墳時代中期の大型堅穴住居や、「伴」と読める墨書のある平安時代の須恵器が検出されるなど、多くの重要な発見がありました。

本書に報告したような貴重な文化遺産を長く後世に伝えていくことは、現代に生きるわたくしたちの使命であり、歴史を明らかにすることはよりよい未来を築くための手掛かりとなるものです。今後は本書が学術研究の発展に寄与するとともに、生涯学習の場に広く活用されることを願ってやみません。

末筆ではありますが、発掘調査の実施から報告書の刊行に至るまで、文化財保護について深いご理解を賜りました株式会社横尾材木店をはじめ、調査に際してご指導、ご協力を頂きました方々、直接作業の労にあられた皆様に衷心よりの感謝を申し上げます。

平成 27 年 3 月

本庄市教育委員会

教育長 勝山 勉

例 言

1. 本書は、埼玉県本庄市今井字原屋敷 1031-1 番地ほかへ所在する今井原屋敷遺跡 (No. 53-101) の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は、株式会社横尾材木店代表取締役横尾守氏が計画する分譲住宅建設工事に伴い、事前の記録保存を目的として本庄市教育委員会が実施したものであり、その経費は株式会社横尾材木店代表取締役横尾守氏から本庄市への委託金である。
3. 調査期間は以下の通りである。
自 平成 26 年 6 月 9 日
至 平成 26 年 7 月 25 日
4. 発掘調査担当者は、本庄市文化財保護課太田博之・恋河内昭彦があたり、発掘調査には有限会社毛野考古学研究所宮本久子が調査員として専従した。
5. 整理調査期間は、以下の通りである。
自 平成 26 年 9 月 29 日
至 平成 27 年 3 月 24 日
6. 整理および報告書刊行にかかる業務は、有限会社毛野考古学研究所に委託した。
7. 本書の執筆は、Ⅰを本庄市教育委員会文化財保護課、Ⅱ～Ⅵを宮本が担当した。編集も宮本が行った。
8. 本書に掲載した出土遺物、遺構・遺物の実測図ならびに写真等の資料は、掲載以外の資料を含め本庄市教育委員会において保管している。
9. 発掘調査及び本書の作成にあたって下記の方々や諸調査機関により御助言・御教示を賜った。記して感謝いたします。(順不同、敬称略)
昆 彭 坂本和俊 金子彰男 丸山陽一 池田匡彦 中沢良一 丸山 修

10. 本報の発掘調査、整理調査および報告書編集・刊行に関する本庄市教育委員会の組織は以下のとおりである。

今井原屋敷遺跡第 5 地点 発掘調査、整理・報告書刊行組織 (平成 26 年度)

主体者	本庄市教育委員会	教 育 長	勝山 勉
事務局		事 務 局 長	関和 成昭
	文化財保護課	課 長	川上 美恵
		課長補佐兼埋蔵文化財係長	太田 博之
		主 幹	恋河内 昭彦
		主 査	松本 完
		主 査	大熊 季広
		主 事 補	栗原 秀太
		臨 時 職 員	的野 善行

凡例

1. 本書所収の全体図のX・Y座標は世界測地系第IX系に基づく。単位はmである。全体図における方位針は座標北を表す。
2. 遺構断面図の水準数値は海拔高度を示し、その単位はmである。
3. 遺構の名称は種類ごとに通し番号を付け、下記の記号を使用した。なお、通し番号は第4地点から継続している。
SI: 竪穴住居跡 SB: 掘立柱建物跡 SD: 溝跡 SK: 土坑 P: ビット
5. 遺構図中の土坑・ビット脇に配した「-」は深さを示し、その単位はcmである。
6. 本書の実測図でを使用した縮尺は以下を基本としているが、それ以外の縮尺を使用した場合は図中に示した。
【遺構図】 全体図…1/350 平面図・断面図…1/60 カマド平面図・断面図…1/30
【遺物図】 土器・石器…1/4 土製品・石製品・鉄製品…1/2
7. 遺物写真は実測図と同じ縮尺で掲載している。
8. 土層と土器・土製品の色調は『新版標準土色帳』(小山正忠・竹原秀雄編著(財)日本色彩研究所)に基づいて表記した。
9. 本書で使用したテフラ記号は以下の通りである。
As-A…浅間A軽石(1783年降下) As-B…浅間B軽石(1108年降下)
10. 本書中の遺物観察表に示した記号は以下のとおりである。単位は、法量はcm、重さはgである。()の数値は推定値を示す。
A-法量、B-成形技法、C-整形・調整技法、D-胎土(材質)、E-色調、F-残存度、G-備考、H-出土位置(層位)
11. 本書所収の地図のうち、第3図は国土地理院発行1/25,000「伊勢崎」「木庄」、第1図は本庄市都市計画図1/2,500に加筆したものを用いた。
12. 本書の引用・参考文献は第VI章に一括して記載した。
13. 本書で使用したスクリーントーンは以下の通りである。

【遺構】



【遺物】



目 次

序

例言

凡例

目次

I 調査に至る経過	1
II 遺跡周辺の環境	2
1 地理的環境	2
2 歴史的環境	2
III 調査の方法と経過	5
1 調査の方法	5
2 調査の経過	5
IV 基本土層	6
V 検出された遺構と遺物	8
1 竪穴住居跡	8
2 掘立柱建物跡	12
3 溝状遺構	12
4 土坑・ピット	12
VI まとめ	52

引用・参考文献

写真図版

報告書抄録

奥付

挿 図 目 次

第1図 調査区の位置	第21図 SI-81	第41図 SI-71出土遺物(2)
第2図 埼玉県の地形図	第22図 SI-82	第42図 SI-72出土遺物
第3図 周辺の遺跡	第23図 SI-80(1)	第43図 SI-73出土遺物
第4図 基本土層	第24図 SI-80(2)	第44図 SI-74出土遺物
第5図 調査区全体図	第25図 SI-83	第45図 SI-75出土遺物
第6図 SI-67	第26図 SI-84・SI-85	第46図 SI-76出土遺物
第7図 SI-68	第27図 SB-02	第47図 SI-78出土遺物
第8図 SI-69(1)	第28図 SB-03	第48図 SI-79出土遺物(1)
第9図 SI-69(2)	第29図 SD-04・SD-05	第49図 SI-79出土遺物(2)
第10図 SI-70	第30図 土坑(1)	第50図 SI-79出土遺物(3)
第11図 SI-72	第31図 土坑(2)	第51図 SI-79出土遺物(4)
第12図 SI-71	第32図 土坑(3)	第52図 SI-79出土遺物(5)
第13図 SI-73	第33図 土坑(4)	第53図 SI-80出土遺物(1)
第14図 SI-74	第34図 SI-67出土遺物(1)	第54図 SI-80出土遺物(2)
第15図 SI-75	第35図 SI-67出土遺物(2)	第55図 SI-82出土遺物
第16図 SI-76	第36図 SI-68出土遺物	第56図 SI-84出土遺物
第17図 SI-77	第37図 SI-69出土遺物	第57図 SD-04出土遺物
第18図 SI-78	第38図 SI-70出土遺物(1)	第58図 土坑出土遺物
第19図 SI-79(1)	第39図 SI-70出土遺物(2)	第59図 近隣の調査区
第20図 SI-79(2)	第40図 SI-71出土遺物(1)	

挿 表 目 次

表 1 土坑一覧表	表 5 出土遺物観察表 (4)	表 9 出土遺物観察表 (8)
表 2 出土遺物観察表 (1)	表 6 出土遺物観察表 (5)	表 10 出土遺物観察表 (9)
表 3 出土遺物観察表 (2)	表 7 出土遺物観察表 (6)	表 11 出土遺物観察表 (10)
表 4 出土遺物観察表 (3)	表 8 出土遺物観察表 (7)	表 12 古墳時代の住居跡

写真図版目次

写真図版 1 調査区全景	写真図版 7 SI-79 貯蔵穴遺物出土状況
写真図版 2 SI-67 全景	SI-79 カマド遺物出土状況
SI-67 遺物出土状況	SI-79 作業風景
SI-67 カマド遺物出土状況	SI-79 掘り方全景
SI-67 貯蔵穴遺物出土状況	SI-80 全景
SI-67 カマド・貯蔵穴全景	SI-80 遺物出土状況
SI-67 掘り方全景	写真図版 8 SI-80 カマド遺物出土状況
SI-68 全景	SI-80 貯蔵穴検出状況
SI-68 遺物出土状況	SI-80 カマド・貯蔵穴遺物出土状況
写真図版 3 SI-68 カマド遺物出土状況	SI-81 全景
SI-69 全景	SI-82 全景
SI-69 遺物出土状況	SI-82 カマド遺物出土状況
SI-69 カマド全景	SI-83 全景
SI-70 全景	SI-85 全景
SI-70 遺物出土状況	写真図版 9 SI-84 全景
SI-70 貯蔵穴周辺遺物出土状況	SI-84 掘り方全景
SI-70 P1 遺物出土状況	SD-04 全景
写真図版 4 SI-71 全景	SD-05 全景
SI-71 遺物出土状況	SB-02・SB-03 全景
SI-71 カマド周辺遺物出土状況	写真図版 10 SK-114 遺物出土状況
SI-71 カマド全景	基本土層 A 地点
SI-71・SI-72 掘り方全景	SI-67 出土遺物
SI-72 全景	SI-68 出土遺物
SI-73 全景	SI-69 出土遺物
SI-73 遺物出土状況	写真図版 11 SI-70 出土遺物
写真図版 5 SI-73 床下土坑土層断面	写真図版 12 SI-71 出土遺物
SI-74 全景	SI-72 出土遺物
SI-74 遺物出土状況	SI-75 出土遺物
SI-74 カマド全景	写真図版 13 SI-73 出土遺物
SI-74 掘り方	SI-74 出土遺物
SI-77 土層断面	SI-76 出土遺物
SI-75 全景	SI-78 出土遺物
SI-75 掘り方全景	SI-79 出土遺物 (1)
写真図版 6 SI-76 全景	写真図版 14 SI-79 出土遺物 (2)
SI-76 掘り方全景	写真図版 15 SI-79 出土遺物 (3)
SI-78 全景	写真図版 16 SI-79 出土遺物 (4)
SI-78 遺物出土状況	写真図版 17 SI-79 出土遺物 (5)
SI-78 カマド遺物出土状況	SI-80 出土遺物 (1)
SI-79 全景	写真図版 18 SI-80 出土遺物 (2)
SI-79 遺物出土状況	SI-82 出土遺物
SI-79 カマド周辺遺物出土状況	SI-84 出土遺物
写真図版 7 SI-79 遺物出土状況近景	SD-04 出土遺物
SI-79 作業風景	土坑出土遺物

I 調査に至る経過

平成25年12月27日、株式会社横尾材木店代表取締役横尾守氏から本市市今井字原屋敷1,030番1ほかの土地、3,383㎡に分譲住宅建設の計画があり、この土地にかかる『埋蔵文化財の所在及びその取り扱いについて』の照会が、本市教育委員会に提出された。これを受け、市教育委員会では、埼玉県教育委員会発行の『本市市道跡分布地図』をもとに、同地が埋蔵文化財包蔵地の所在を調査したところ、当該の事業予定地には、周知の埋蔵文化財包蔵地「今井原屋敷遺跡（県遺跡番号53-101）」が所在することが判明した。今井原屋敷遺跡は、過去においても、たびたび発掘調査、試掘調査が実施され、古墳時代から平安時代にかけての堅穴住居跡や掘立柱建物跡が多く検出されていることから、当該事業予定地においても、これらと同様の性格を有する集落遺跡が分布することが予測された。

本市教育委員会では、上記のような状況をふまえ、当該事業予定地について、遺跡保護のための基礎資料を得ることを目的として、試掘調査を実施することとし、平成26年4月1日から4月4日にかけて、現地調査を実施した。その結果、事業予定地のほぼ全面にわたって、堅穴住居跡等の埋蔵文化財の所在を確認した。この結果を受け、本市教育委員会から、平成26年4月17日付け本教文発第4号で、株式会社横尾材木店代表取締役横尾守氏あて『埋蔵文化財の所在及びその取り扱いについて』の回答を送付し、1. 照会のあった土地については周知の埋蔵文化財包蔵地「今井原屋敷遺跡（県遺跡番号53-101）」が所在すること、2. 現状を変更する場合は、文化財保護法第93条第1項の規定により、埼玉県教育委員会あて「埋蔵文化財発掘届」を提出する必要があること、3. 「埋蔵文化財発掘届」の届出に際しては、事前に本市教育委員会と協議することの旨を伝達した。

その後、本市教育委員会では、先の試掘調査結果等をふまえて、事業主体者と協議を進め、その結果、分譲住宅建設部分については、盛土等により埋蔵文化財を現状保存とするが、道路部分については、基礎部分の構造上、埋蔵文化財への影響が避けられないことから、やむを得ず記録保存を目的とした発掘調査を実施することとなった。

発掘調査は平成26年6月9日から平成26年7月25日の間に実施した。

(本市教育委員会事務局)



II 遺跡周辺の環境

1 地理的環境

埼玉県の北西部に位置する本庄市域の地形は北から烏川低地、本庄台地、上武山地に大きく区分される。

烏川低地は烏川や利根川の氾濫原である。利根川の右岸に展開し、東の深谷市から熊谷市域の妻沼低地へと連なる。現在は圃場整備により平坦な地形となっているが、烏川・利根川の流路跡が潜在しており、明治18年に参謀本部陸軍部測量局が測量した陸軍迅速図に反映されている。

上武山地は、群馬県西南部の赤久禰山を中心とする地域と、埼玉県北西部の城峯山を中心とする地域の総称である。この山地から連なる児玉丘陵は神流川の堆積作用により低位のものは埋没し、標高の高い浅見山丘陵（大久保山）や生野山丘陵が取り残され、独立丘陵となっている。この独立丘陵の東西には女堀川（旧赤根川）や小山川（旧身馴川）が北流し、利根川へと合流する。これらの河川の両岸には発達した自然堤防や沖積地が形成され、自然堤防上には多くの遺跡が立地している。

本庄台地は身馴川扇状地と神流川扇状地の複合地形である。前者は、西側を児玉丘陵に東側を松久丘陵と柳引台地によって画され、後者は群馬県藤岡市浄法寺付近を扇頂部とし、本庄市鶴森から児玉町金久保にかけて広がる。台地上には、大小の埋没河川が確認され、台地末端部では蛭川や女堀川等による開析谷が形成されている。

本遺跡は本庄台地南西部の縁辺に立地し標高は海拔73m程である。南約200mに真下用水が流れここから南は低地帯となり古墳時代前期からの水田地帯が展開している。

2 歴史的環境

本遺跡周辺においては、将監塚遺跡(2)や浅見山遺跡(40)で旧石器が発見されるなど、古くから人類の営みが始まっている。ここでは、各時代ごとに概観していく。



第2図 埼玉県の地形図

縄文時代 縄文時代草創期～前期は丘陵部に遺跡は立地し、前述した浅見山遺跡で土坑や遺物包含層が確認される。中期中葉以降は、将監塚遺跡(2)、古井戸遺跡(3)周辺で大規模な環状集落が展開するが、中期後半から解体が始まる。後・晩期にかけては平塚遺跡(54)、藤塚遺跡(52)、塚向遺跡(51)のように低地内の微高地に小規模な集落を形成する。

弥生時代 弥生時代の遺跡は非常に少ない。中期中葉、浅見山丘陵に位置する大久保山遺跡(44)で再葬墓と思われる土坑や土坑群が検出される。後期においても浅見山丘陵上に遺跡が集中している。浅見山遺跡(40)、塚木山古墳群(A)、山根遺跡(41)、飯玉東遺跡(42)に小規模ながら集落が出現し、方形周溝墓も見つかっている。

古墳時代 古墳時代前期は大きな転換点となる。集落は丘陵部から移動し、女堀川や小山川周辺の低地を望む微高地上に展開しはじめる。低地部への水田開発が目的だと考えられている。また、外来系土器が在来系土器と共に伴い、他地域との交流が確認できる。日の森遺跡では、灌漑のための大溝が掘削され、従来になかった水田開発技術の導入を窺わせる。下田遺跡(32)、七色塚遺跡(34)、久下東遺跡(36)、久下前遺跡(37)、北堀新田遺跡(39)、浅見山遺跡(40)、後張・川越田遺跡(27)、前田甲遺跡(29)、藤塚遺跡(52)などは後期まで継続する集落となる。

中期になると集落は、女堀川左岸の微高地や台地内部へと拡大する。前期の水田開発が成功し安定した生活基盤が確保されたのだろう。二本松遺跡(16)、西富田遺跡(17)、夏目遺跡(18)、薬師遺跡(19)、社見路遺跡(21)、雌塚遺跡(22)、笠ヶ谷戸遺跡(30)、薬師堂遺跡、諏訪新田遺跡など広範囲にわたり、本遺跡もその一端を担っている。集落の拡散とともに、住居件数は多くなる。つまり人口も増加し、更なる生産基盤の拡充も行っていたと考えられる。また、夏目遺跡では鍛冶関連の遺構・遺物とともに畿内系や半島系模倣の土器が出土し、五十子城跡遺跡の10号住居跡には多量の鉄器と砥石が検出される。雌塚遺跡の1号住居跡は、初期カマドを有し、畿内の布置系土器を伴って出土している。このように、集落内において鉄器の普及や、外来の技術が確認できる。しかし後期に入ると、台地内部からは集落が減退し、台地縁辺部に集落が収縮する。

上記のような大規模な開発を牽引した有力者の墳墓も多く築造されている。前期では、全長60mの前方後方墳、鷺山古墳が造営される。未調査だが前方後円墳の前身1号墳(c)がこれに続くと考えられる。また、浅見山丘陵の南側に位置する塚木山古墳群(A)の塚木山14号墳と同33号墳、北堀新田前遺跡(38)、村後遺跡では前方後方墳の周溝墓が、旭・小島古墳群でも低墳丘を持つ方形周溝墓の万年幸つじ山古墳などが認められる。

中期に入ると、浅見山丘陵では一辺30mの方墳、前山2号墳(d)が造られる。台地部にも群集墳の形成がはじまり東富田古墳群では、径60mを測る円墳の公卿塚古墳(a)や熊野十二神社古墳が出現する。公卿塚古墳の周溝覆土からはHr-FA(5世紀末～6世紀初頭)が検出される。

後期は、西五十子古墳群や北原古墳群など群集墳が成立し、多くの古墳が造られるようになる。首長墓として前方後円墳が採用され、塚合古墳群では大林二子山古墳、長沖古墳群の長沖25号墳、同32号墳などが挙げられる。また、青柳古墳群の北塚原2号墳(円墳)に本地域最古の横穴式石室が築造される。終末期には、前方後円墳に変わる首長墓として、旭・小島古墳群の浅間山古墳のような大型の円墳へと移行している。各地の群集墳も継続した造営が確認される。旭・小島古墳群の開拓1号墳からは、副葬品として丸斬と巡方が出土しており、律令期に入っても追葬が行われていた。

本遺跡の南にも2基の古墳が確認されている。元塚1号墳(f)は周溝からB種ヨコハケの円筒埴輪や、形象埴輪が出土している。また、周溝覆土からはHr-FAが検出され、古墳時代中期末～後期初頭と考えられている。薬師堂古墳(g)の時期は不明である。

埴輪生産遺跡も有勝寺北裏埴輪製作遺跡(e)、赤坂埴輪窯跡が挙げられる。また、近年調査が行われた、薬師堂東遺跡ではガラス小玉の鉤型が100点以上出土し、生産が行われていたことを示す資料となっている。

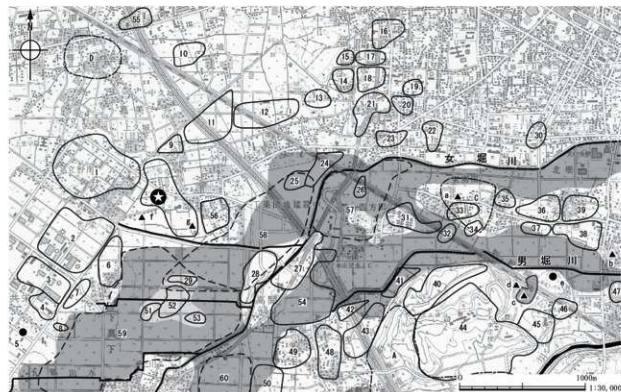
古代 古墳時代終末から奈良・平安時代になると集落域は低地内の自然堤防や微高地の集落は姿を消し、本庄台地縁辺部～台地内部に集中する。大型の掘立柱建物跡、竪穴住居跡と溝跡が規則的に配置された将監塚遺跡(2)、

古井戸遺跡(3)を中心に、大規模集落が広がっていた。将監塚・古井戸遺跡では、「厨」の黒書土器や転用碗、鈎帯具や金銅製の装飾具、七葉蓮花文軒丸瓦も出土している。久下前遺跡・北堀新田遺跡においても大型の掘立柱建物跡が確認され、久下の地名から児玉郡衙推定地とする見解もある。また、薬師元屋鋪遺跡(20)では、住居跡から『武藏国児玉郡草田郷□□大同四年□』の線刻を持った紡錘車が出土しており、西富田周辺が大同4(809)年頃は児玉郡草田郷であったとする貴重な文字資料である。

一方、低地部分においては広範囲に条里型地割の水田が開発が始まる。今井条里遺跡(58)は、古墳時代前期から地形を利用した局地的な水田を営んでいた。7世紀後半から条里制地割が確立され、一町四方の方格地割が確認されている。同時に神流川から取水する久郷用水の開鑿もこの時期に始まったと考えられている(鈴木1989)。また、地神遺跡(24)では、条里制地割に沿ってL字型に配された小規模集落も検出され、水田運営と集落の関連性を示している。条里型地割は、古代以降も細部に変化していくものの現代まで継続的に残存している。

9世紀後半になると将監塚遺跡等の台地に展開する集落は減退しはじめ、低地の自然堤防や微高地上、丘陵部へと拡散していく。自然堤防上に立地する柿島遺跡(53)や地神遺跡(24)、丘陵部では阿知越遺跡や金佐奈遺跡、大久保山遺跡が挙げられよう。大久保山遺跡では、平安時代の製鉄炉が検出されており、丘陵部への移住は開発目的と考えるのが妥当だろう。

中世 13世紀に方形区画の館跡が出現する。空堀をもつ古井戸遺跡や条里とは異なる水堀を有する真境寺館跡等が挙げられる。今井地内においても今井氏館跡(56)があり、隣接する北郷遺跡からは中世の陶磁器を出土する溝跡が検出され、堀跡だと想定されている。



●本遺跡 1 黒野太神南 2 将監塚 3 古井戸 4 古井戸南 5 塚山 6 将監塚東 7 内出 8 平塚 9 九城往東北 10 下田 11 九城前 12 今井諏訪 13 西富田新田 14 夏目西 15 分藤治 16 二本松 17 西富田 18 夏目 19 薬師 20 薬師元屋鋪 21 社具路 22 雑處 23 西富田本郷 24 地神 25 塔塚 26 九反田 27 後張川橋田 28 今井川橋田 29 前田甲 30 笠ヶ谷 31 観音塚 32 下田 33 元富 34 七色塚 35 北堀久下塚北 36 久下東 37 久下前 38 北堀新田前 39 北堀新田 40 浅見山 41 山根 42 飯玉東 43 雷電下 44 大久保山 45 大久保山寺院跡 46 東谷 47 栗崎塚 48 中畑 49 岡部氏館 50 浅見堤北 51 堀向 52 藤塚 53 柿島 54 平塚 55 本郷東 56 今井氏館跡 57 女堀川条里 58 今井条里 59 児玉条里 60 堀川条里 A 塚山古墳群 B 前山古墳群 C 東富田古墳群 D 本郷古墳群 a 公卿塚古墳 b 稲荷塚古墳 c 前山I号墳 d 前山II号墳 e 有願寺北裏墳輪流跡 f 元塚I号墳 g 薬師堂古墳

第3図 周辺の遺跡

Ⅲ 調査の方法と経過

1 調査の方法

(1) 発掘調査の方法

発掘調査にあたっては重機を用いた表土掘削後、鋤簾による遺構精査を行った。遺構プランの確認ののち、土層観察用のベルトを残しながら移植ゴテを用いて掘削した。調査の進捗状況ごとに随時写真撮影・遺構測量を行った。遺構平面図の測量にはトータルステーションを使用し、断面図は手実測によって作成した。縮尺は20分の一とし、必要に応じて10分の一で測量した。出土遺物はトータルステーションによって平面位置や標高を記録して取り上げ、微細な遺物に関しては可能な限り、簡易な出土位置を記録して取り上げた。また、調査区の3箇所にテストピットを設定し、基本土層を把握した。遺構の写真撮影には1,000万画素相当のデジタル一眼レフカメラ(Canon EOS Kiss X4)を使用し、調査区全景写真の撮影は、高所作業車とラジコンヘリを用いた空撮を実施した。

なお、遺構の名称は第4地点から継続しているため、住居跡はSI-67、土坑はSK-64、掘立柱建物跡はSB-02、溝跡SD-04からの呼称となっている。

(2) 整理調査の方法

遺構図面は修正を加えたのち、各遺構ごとにAdobe Illustrator CS2を用いてデジタルトレースを行なった。出土遺物は洗浄・注記作業を行い、接合作業および実測個体の抽出作業を実施した。注記は遺跡番号に第5地点調査のため「53-101-05」とした。接合にはセメダインCを使用し、アボキシ系樹脂により補強を行なった。

遺物の写真撮影には1,000万画素相当のデジタル一眼レフカメラ(Nikon D7000)を使用し、Adobe Photoshop 6.0を用いて、トリミング作業と写真図版の作成を行った。写真撮影と並行して遺物を実測し、前述したソフトを用いてデジタルトレース作業を実施した。これらの図面・写真・原稿をAdobe InDesign CS2によって編集した。

2 調査の経過

(1) 発掘調査の経過

平成26年6月9日：重機掘削を開始(～12日)。16日：調査区周辺の除草。遺構プランの検出。SI-67～70の調査。17日：SI-67～71の調査。SI-73～76のプラン確認。18日：SI-67～71・73の調査。19日：SI-67～71・73・74の調査。20日：SI-67～71・74の調査。SD-04サブトレンチ設定・掘削。SK-64・66～69の調査。23日：SI-67～71・73の調査。SK-64・66～69・71・72の調査。基準点の移設。平面測量。24日：SI-67～70・74・77～79の調査。SK-71の調査。25日：SI-70・72・74・75・78の調査。26日：SI-70・75・78・79の調査。27日：SI-70・72・75・76・78～80の調査。平面測量。30日：SI-72・75・76・78～80・83の調査。SD-04・05の調査。

7月1日：SI-78～80・82・83の調査。SD-04・05の調査。2日：SI-79～84の調査。SD-04・05の調査。3日：SI-72・76・79～84の調査。SD-04・05の調査。平面測量。4日：雨天により現場中止、室内作業を行う。7日：SI-73・79・80・84の調査。8日：SI-73・74・79・83・84の調査。SD-05の調査。SK-75～91の調査。9日：SI-73・79・83・84の調査。SD-05の調査。SK-75～91の調査。10日：SI-73・80・83・85・86の調査。SK-75～83の調査。11日：SI-79・80・86の調査。SK-92～94・102・103の調査。14日：SI-79の調査。SK-104～

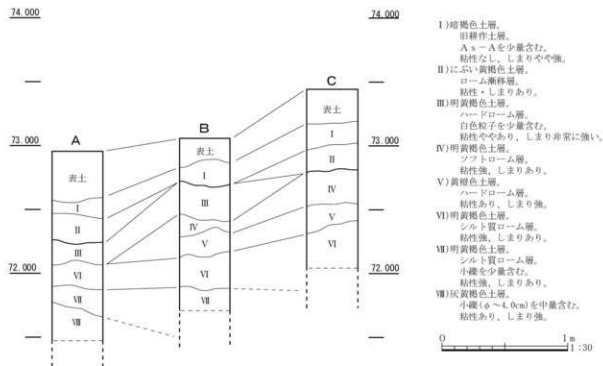
110の調査。空撮準備。15日：空撮。SI-67・74～76・78・81掘り方調査。16日：SI-74～76・78・81掘り方調査。平面測量。17日：SI-74～76・78・81掘り方調査。平面測量。基本土層A・Bの調査。18日：雨天により現場中止、室内作業を行う。22日：SI-74・76・79掘り方調査。SI-79・80・81・86の拡張。平面測量。基本土層A～Cの調査。23～25日：SI-79・80の調査。平面測量。機材の搬出。26～30日：室内にて図面整理と業務報告の作成、遺物の洗浄（～8月8日）を行う。

(2) 整理調査の経過

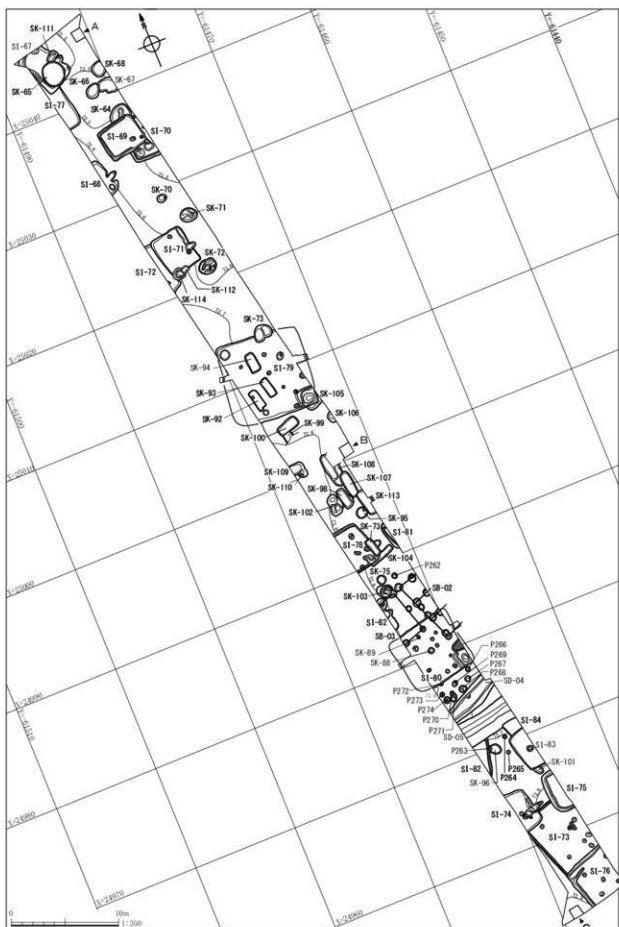
平成26年10月30日：遺構図の修正、出土遺物の注記作業（～11月26日）。平成26年11月20日：接合作業開始（～平成27年1月14日）。遺構図のデジタルトレース開始（～11月30日）。11月30日：遺構図版組開始（～12月19日）。12月1日：遺物写真撮影の開始（～平成27年1月30日）。並行して遺物実測・拓本作業開始（～平成27年1月20日）。実測が完了し次第トレース・版組および編集作業を行った（～平成27年2月13日）。平成27年2月13日：原稿を収録し、以降、校正作業を行う。3月24日：印刷製本作業が完了し、納本を行った。

IV 基本土層

基本土層は、調査区北（A）・中央（B）・南（C）で確認した（第4図・第5図）。I層はAs-Aを含む田耕土である。II層がローム漸移層、III層以下がローム層となる。III層は白色粒子を含むハードロームブロックを主体とする層で、A～B地点で観察され、C地点ではみられない。IV層はソフトローム層、V層は再度ハードローム層となる。III層・IV層上面を確認面として調査を行った。VI・VII層は粘性が強く、シルト質を呈する。カマドに使用される粘土がVI層・VII層に近似する。SI-73の床下土坑もおそらくこれらの層を採掘するためのものだろう。VIII層は小礫を含み、礫層に近い。



第4図 基本土層



第5図 調査区全体図

V 検出された遺構と遺物

1 竪穴住居跡

SI-67(遺構:第6図、写真図版2 遺物:第34・35図、表2・3、写真図版10)

位置:調査区の北端に位置している。西壁の一部と北東コーナーは調査区外となる。SK-65・SI-77と重複し、前者より古く後者より新しい。**形態:**平面形は長方形で南北に長軸を持つ。主軸方位N-60°-E。長軸推定4.5m、短軸3.0m。**カマド:**東壁に敷設される。袖の基部はロームを掘り残し、粘土を使用して構築される。燃焼部の奥壁と煙道は壁外で立ちあがる。焚き口は浅く窪み、燃焼部から支脚等は検出されていない。煙道部覆土層から逆位の甕(7)が出土した。**貯蔵穴:**カマドに向かって右側に検出される。覆土にカマドの崩壊土と思しき粘土と焼土が多量に混入している。遺物は覆土中層より須恵器の皿が出土している(2)。**柱穴:**カマド前から深さ10cm程度の柱穴を確認した。**壁周溝:**北西コーナー、西～南壁にかけて確認される。掘り方は不均一であった。**埋没状況:**レンズ状に堆積している。壁面の崩落土が顕著であった。**遺物:**カマドと貯蔵穴以外は遺物量は少ない。カマドから出土したコの字状口縁甕は接合しないものが多く、内外面ともに粘土が付着する個体もあった。破片をカマド材に転用していた可能性が考えられる。**時期:**9世紀後半。

SI-68(遺構:第7図、写真図版2・3 遺物:第35図、表3、写真図版10)

位置:調査区北寄り、西壁に位置し、住居跡の西半は調査区外となる。他遺構との重複はない。**形態:**平面形は方形だろう。主軸方位はN-71°-E。南北軸3.51m、東西軸1.09m以上。**カマド:**東壁に敷設される。ローム土を掘り残した基部に粘土を貼付して構築する。燃焼部の奥壁と煙道は壁外で立ちあがる。SI-76と良く似た構造を呈する。カマド前の攪乱によって焚き口の状態は不明。カマドは破壊されており、粘土が床面上に広がり調査区西壁断面5層でも確認できる。**貯蔵穴:**カマドに向かって右側に位置するが、掘り込みも浅く、明確な貯蔵穴ではない。**埋没状況:**レンズ状に堆積している。**遺物:**カマド中層に須恵器杯、土師器の杯と甕が出土している。カマド前の床面直上からも土師器の甕が出土する。**時期:**9世紀中葉。

SI-69(遺構:第8・9図、写真図版3 遺物:第37図、表3、写真図版10)

位置:調査区北側に位置している。SK-64・SI-70と重複し、前者より古く後者より新しい。**形態:**平面形は長方形で南北方向に長軸をとる。主軸方位はN-79.5°-E。長軸3.79m、短軸3.20m。**カマド:**南東コーナーに敷設される。煙道のみ確認できた。袖や焚き口部分に焼土は少なく、不明瞭であった。**貼り床:**カマドを中心に、しっかりとした硬化面を検出している。**柱穴:**カマド前にP1を検出した。**壁周溝:**西壁と南北壁の一部に検出された。**埋没状況:**レンズ状に堆積している。**遺物:**覆土上層から須恵器大甕の底部破片(1)のほか、土師器の甕や須恵器杯の破片も少量だが出土している。**時期:**酸化焙焼成の須恵器杯の小片が出土することから、9世紀後半に比定される。

SI-70(遺構:第10図、写真図版3 遺物:第38・39図、表3・4、写真図版11)

位置:調査区北側に位置しており、東半は調査区外となっている。SI-69と重複し、本遺構が古い。**形態:**平面形は方形を呈するだろう。主軸方位はN-88°-E。南北軸4.39m、東西軸2.41m以上。**カマド:**不明。なお、床面に焼土集中を検出したが、炉と呼べるほど焼けていなかった。**貯蔵穴:**南西コーナー付近に遺物を多量に含んだ貯蔵穴を検出した。北側にテラスを有し、西側上層からは粘土ブロックが確認される。**柱穴:**北西コーナーからP1を、貯蔵穴の東からP2を検出した。P1は深さ60cmを測るが、P2は7cmと浅い。P1覆土中層からは増

が出土している(5)。**壁周溝**：全面で確認される。**埋没状況**：レンズ状に堆積している。**遺物**：貯蔵穴より高坏7点、甕1点、埴3点、埴2点が南側上層に集中している。床面直上からも高坏と埴が出土している。また、南壁沿いの覆土上層からは埴と小形甕が出土しており、南壁に棚状施設の存在を連想させる。覆土中から高坏の脚部を転用した羽口が出土している(20)。**時期**：5世紀中葉。

SI-71(遺構：第12図、写真図版4 遺物：第40・41図、表4・5、写真図版12)

位置：調査区北側に位置している。SI-72とSK-112・114重複し、住居跡より新しく土坑より古い。試掘トレンチによって覆土の大半を失う。**形態**：平面形は長方形で南北方向に長軸をとる。主軸方位は $N-80^{\circ}-E$ 。カマドに向かって左側の東壁には一段テラスが確認され、棚状施設の可能性も考えられる。長軸3.95m、短軸3.21m。**カマド**：東壁に敷設される。両袖の芯材の礎が残存する。焚き口から燃焼部にかけてわずかに窪み、覆土中からは支脚に使用されたであろう棒状の片岩が出土した。煙道は壁外に伸びている。**柱穴**：2基検出される。**埋没状況**：試掘トレンチによって床面が露出しており、覆土の観察が困難であった。**遺物**：棚状施設周辺の床面直上から須恵器の壺・甕・甔・坏が集中し、カマドに向かって右側からは須恵器埴2点が並んで出土している。掘り方からも完形の須恵器坏が出土している。**時期**：9世紀末。**備考**：SK-114・SK-112と接合する遺物があり(SI-71・10、SK-114・4等)、住居のプランからは若干外れるが同一遺構の可能性も考えられる。

SI-72(遺構：第11図、写真図版4 遺物：第42図、表5、写真図版12)

位置：調査区北側に位置し、西側半分以上が調査区外となる。SI-71・SK-114と重複し、本遺構が最も古い。**形態**：平面形は方形だろう。主軸方位 $N-66.5^{\circ}-E$ 。長軸5.13m、短軸0.9m以上。**カマド**：重複するSI-71に破壊されているが、覆土に焼土が集中して検出されたため東壁に敷設されていたのだろう。**埋没状況**：レンズ状に堆積している。**遺物**：カマドに向かって右側の覆土上層より高坏の脚部が出土している。**時期**：5世紀中葉。

SI-73(遺構：第13図、写真図版4・5 遺物：第43図、表5・6、写真図版13)

位置：調査区南側に位置し、南北壁の一部と東壁は調査区外となっている。SI-74・75・76と重複し、本遺構が最も古い。**形態**：平面形は方形を呈するだろう。主軸方位 $N-74^{\circ}-E$ 。長軸5.0m以上。住居内からは硬化面が確認される。**カマド**：調査区外となる東壁に敷設されているだろう。P2とP6間には焼土の集中が検出されたが、床面への被熱がないので炉ではない。**柱穴**：7本の柱穴を検出した。このうちP5とP7は主柱穴だと思われる。P1とP3は床下土坑と重複する。**壁周溝**：全周している。**床下土坑**：住居跡の中央から南東に外れたところで検出した。深さは約70cmを測る。覆土にシルト質ロームが少量含まれる以外は黒褐色土が主となっており、土層観察の結果、北から人為的に埋め戻した後にしっかりとした貼り床で被覆される。基本土層V・VI層の採集を目的とした粘土探掘坑だろう。**埋没状況**：レンズ状に堆積している。**遺物**：南西隅に床面よりやや上層から遺物がまぎって出土している。**時期**：5世紀中葉。

SI-74(遺構：第14図、写真図版5 遺物：第44図、表6、写真図版13)

位置：調査区南側に位置し、南北壁の一部と西壁は調査区外となっている。SI-73と重複し、本遺構が新しい。**形態**：平面形は方形を呈するだろう。主軸方位は $N-91^{\circ}-E$ 。長軸4.13m、短軸1.81m以上を測る。**カマド**：東壁に敷設される。燃焼部奥壁は住居壁より外に伸び、煙道はやや急に立ちあがる。向かって左側の袖はロームを掘り残すが、右側はSI-73の覆土で地山が残存しておらず、粘土で構築されている。左袖は北側にテラス状に北に延びている。**柱穴**：2基検出したが、主柱穴ではない。**埋没状況**：レンズ状に堆積している。**遺物**：カマド周辺の出土が主で、覆土からの出土は少なかった。**時期**：9世紀後半。

SI-75(遺構:第15図、写真図版5 遺物:第45図、表6、写真図版12)

位置:調査区の南側に位置し、南北壁の一部と東壁は調査区外となる。SI-73と重複し、本遺構が新しい。**形態:**平面形は方形を呈するだろう。主軸方位はN-89°-E。長軸4.17m、短軸1.60m以上。**壁周溝:**全周している。**埋没状況:**レンズ状に堆積している。**遺物:**覆土中から少量の土師器・須恵器が出土している。**時期:**9世紀代。

SI-76(遺構:第16図、写真図版6 遺物:第46図、表6、写真図版13)

位置:調査区の南側に位置し、北・西壁の一部と東・南壁は調査区外となる。SI-73と重複し、本遺構が新しい。**形態:**平面形は方形を呈するだろう。主軸方位はN-73°-E。長さは4.19m以上。住居の中央部分では硬化面が検出される。**柱穴:**5基検出した。P2・P4・P5は主柱穴だと思われる。**壁周溝:**全周している。北壁部分が2条になっているが、内部の周溝は重複するSI-73の可能性も考えられる。**埋没状況:**レンズ状に堆積している。**遺物:**床面直上から須恵器の坏蓋が逆位で出土している(4)。覆土中からは古墳時代の土師器とともに古代の土師器・須恵器も出土している。**時期:**床面直上から出土した須恵器から8世紀初頭に比定される。古墳時代の土師器は重複するSI-73の流入だと思われる。

SI-77(遺構:第17図、写真図版5)

位置:調査区の北側に位置し、東壁・南壁の一部以外は調査区外となる。SI-67と重複し、本遺構が古い。**形態:**平面形は方形を呈するだろう。主軸方位はN-79°-E。長さ6.2m以上。**埋没状況:**レンズ状に堆積している。**遺物:**土師器の甕と坏の破片をごく少量、焼成粘土塊が出土した。**時期:**9世紀のSI-76に切られており、それ以前の住居跡だと思われる。

SI-78(遺構:第18図、写真図版6 遺物:第47図、表6・7、写真図版13)

位置:調査区中央に位置し、西壁は調査区外となっている。SK-73・SK-104と重複し、本遺構が古い。**形態:**平面形は方形を呈するだろう。主軸方位はN-82°-E。長軸4.37m、短軸2.58m以上。**カマド:**東壁に敷設される。燃焼部をSK-73によって破壊されるが、煙道と焚き口の底面は残存する。焚き口と燃焼部の境界が曖昧で、奥壁推定箇所から85cmのところ転用支脚であろう逆位の高坏が据えられる。支脚の高坏は床面より5cmほど上カマド断面3層上に設置される。後述するSI-80のように燃焼部が床面よりも高くなっている。床面にも焼土は散布しており、カマドの袖も検出されないことから、破壊行為が想定される。**貯蔵穴:**カマドに向かって右側に位置する。**柱穴:**1基検出された。**壁周溝:**北壁と南壁で確認できたが、東壁はカクランによって不明である。**埋没状況:**レンズ状に堆積している。**遺物:**カマドの焚口から燃焼部にまとまった出土が見られる。貯蔵穴の北西部分には若干の窪みの中に底部を欠いた甕(7)が正位で検出された。**時期:**5世紀中葉。

SI-79(遺構:第19・20図、写真図版6・7 遺物:第48～52図、表7～10、写真図版13～17)

位置:調査区中央に位置し、東西壁は拡張トレンチで確認した。SK-72、SK-92～94と重複し、本遺構が古い。**形態:**平面形は方形で、主軸方位N-95°-E。規模確定のために拡張トレンチを設定した結果、長軸8.1m、短軸7.94m。**カマド:**東壁に敷設され、奥壁と煙道は調査区外となる。燃焼部からは逆位の高坏(29)が出土している。袖は不明瞭であった。**貯蔵穴:**カマドに向かって右側に位置し、円形プランに一段テラスを有する。周囲には灰白色粘土を用いた土手が巡る。カマドに近接する土手はブロック状の粘土塊で高くなっていた。貯蔵穴内部よりも上層に遺物が集中する傾向にあり、有機質の蓋の存在が予想される。**柱穴:**10基確認したうちP5・P7・P8・P10が主柱穴である。**埋没状況:**レンズ状に堆積している。南壁の貯蔵穴付近には床面上に焼土の集中する箇所があった。**遺物:**多量の遺物が出土した。掲載していないが、大型甕の破片も見られる。覆土上層へ中

層に多く、特にカマドと貯蔵穴周辺に集中する傾向にある。床面直上の遺物もあり、カマド脇からは大型壺(51)が逆位で出土している。高坏の個体数が目立ったが、脚部と坏部が接合するものはほぼなく、欠損した状態で廃棄されたものと思われる。高坏脚部を転用した羽口(35)や鉄滓も出土した。時期：5世紀中葉。

SI-80(遺構：第23・24図、写真図版7・8 遺物：第53・54図、表10・11、写真図版17・18)

位置：調査区中央に位置し、東西壁は調査区外となる。SB-02・03と重複し、本遺構が古い。形態：平面形は長方形で、主軸方位はN-78°-E。規模の確定のためにトレンチを設定した結果、長軸6.18m、短軸5.86mを測った。カマド：東壁に敷設される。煙道は調査区外、燃焼部の一部と焚き口を検出した。燃焼部は床面よりも一段盛り上がり、逆位の支脚転用高坏が2枚重なって出土した(5・8)。明確な軸は確認できなかった。貯蔵穴：カマドに向かって右に位置する。隅丸長方形を呈し、周囲には灰白色粘土を用いた土手が巡る。柱穴：8基検出される。このうちP1・P4・P7・P8の4基が主柱穴だと思われる。埋没状況：6層や10層に地山土が多く検出されることから、北側からある程度人為的に埋め戻された後に自然に埋没したと考えられる。遺物：貯蔵穴内より高坏(7)が、P7・P8間の覆土中層からほぼ完形の高坏(6)と壺(10)が出土している。時期：5世紀中葉。

SI-81(遺構：第21図、写真図版7)

位置：調査区の南に位置し、西壁周辺以外は調査区外となる。形態：平面形は方形を呈するだろう。主軸方位N-74°-E。長軸2.76m、短軸1.1m以上を測る。北壁はテラス状に段を持つ。壁周溝：全周する。埋没状況：レンズ状に堆積している。遺物：覆土より少量の土師器・須恵器が出土している。時期：古代。

SI-82(遺構：第22図、写真図版8 遺物：第55図、表11、写真図版18)

位置：調査区の中央に位置し、東壁と南北壁の一部以外は調査区外となっている。SB-03と重複し、カクランのため新旧関係は不明である。形態：平面形は方形を呈するだろう。主軸方位はN-75°-E。長軸3.16m、短軸0.55m以上。カマド：東壁に敷設される。燃焼部の一部と煙道を確認、焚き口は調査区外となる。燃焼部が深く、煙道の立ちあがりもやや急となる。袖らしきものは確認できなかった。埋没状況：レンズ状に堆積している。遺物：カマド内より土師器の坏(1)が出土している。時期：9世紀末。

SI-83(遺構：第25図、写真図版8)

位置：調査区の南側に位置し、東壁～南東コーナー付近のみ検出した。SK-96と重複するが、新旧関係は不明である。形態：平面形は方形で、主軸方位N-108°-E。長軸3.9m以上、短軸1.67m以上。壁周溝：検出部分では全周していた。埋没状況：レンズ状に堆積している。遺物：覆土から時期不明の土師器が1点だけ出土している。時期：12世紀以降だと思われるSD-05に切られており、それ以前の住居跡だと思われる。

SI-84(遺構：第26図、写真図版9、遺物：第56図、写真図版18)

位置：調査区の南側に位置している。SI-85と重複し、本遺構が新しい。形態：平面形は方形を呈する。主軸方位N-75°-E。長軸3.88m、短軸1.77m以上。柱穴：中央部に深さ61cmのP1を検出している。壁周溝：検出されていない。埋没状況：レンズ状に堆積している。遺物：覆土より少量の土師器等が出土している。また、床面直上からコの字状口縁甕の胴部片が出土している。時期：9世紀代。

SI-85(遺構：第26図、写真図版8)

位置：調査区の南側に位置している。SI-84・SD-05と重複し、本遺構が最も古い。形態：平面形は不明だが、

方形を呈するだろう。主軸方位N-68°-E。長軸・短軸不明。埋没状況：レンズ状に堆積している。遺物：覆土より少量のコの字状口縁巻の銅部片が出土している。時期：9世紀の住居であるSI-84に切られており、それ以前の住居跡だと思われる。

2 掘立柱建物跡

SB-02(遺構：第27図、写真図版9)

位置：調査区中央に位置する。SI-80と重複し、本遺構が新しい。形態：梁行・桁行は不明。3間×1間以上の柱穴配置で、主軸方位N-66°-E、南北6.42m、東西1.92m以上を測る。柱穴間の長さは、南北間2.0～2.2m、東西間1.3～1.4mで、南北間が広い。柱穴：P1～8が柱穴に比定される。規模は径26～43cm、深さ4～22cmである。埋没状態：柱穴の埋没土は黒褐色土を主体とし、P5のみ黄褐色土が堆積する。遺物：各柱穴から古代の土師器・須恵器の小片が古墳時代の土師器と共存している。P3からは9世紀代と比定される須恵器環が出土している。時期：古代だと思われる。

SB-03(遺構：第28図、写真図版9)

位置：調査区中央に位置する。SI-80・SI-82と重複し、本遺構が新しい。形態：梁行・桁行は不明。2間×1間以上の柱穴配置で、主軸方位N-72°-E、南北4.36m、東西2.38m以上を測る。柱穴間の長さは、南北間2.0～2.3m、東西間1.5～2.1mを測る。柱穴：P1～5が柱穴に比定される。規模は径45～121cm、深さ14～62cmである。埋没状態：柱穴の埋没土は黒褐色土を主体とする。遺物：P2から8世紀代と思われる土師器と須恵器環が共存している。他の柱穴は遺物を含んでいなかった。時期：古代だと思われる。

3 溝状遺構

SD-04(遺構：第29図、写真図版9 遺物：第57図、表11、写真図版18)

位置：調査区中央に位置し、調査区に対して直行する。形態：東西に走向し、直線的である。主軸方位はN-65°-Eで、幅1.29～1.91mを測る。底面までの深さは38～49cmで、断面は逆台形状を呈す。底面は西から東に若干傾斜する。小穴：南壁面に1基小穴が認められるものの、溝に伴うかの判断は難しい。埋没状態：自然に埋没し、流水の痕跡は確認できなかった。覆土にAs-Bを含む。遺物：覆土上層より土師器・須恵器片が出土している。流入の可能性が高い。なお、上層より須恵器環(2)などが出土した。時期：覆土にAs-Bを含むことより12世紀以降だと思われる。

SD-05(遺構：第29図、写真図版9)

位置：調査区中央に位置し、調査区に対して直行する。SI-83・SI-85と重複し、本以降が新しい。形態：東西に走向し、直線的である。主軸方位はN-77°-Eで、幅2.33mを測る。底面までの深さは18～25cmで、断面は逆台形状を呈す。底面は概ね平坦であった。埋没状態：自然に埋没し、流水の痕跡は確認できなかった。覆土にAs-Bを含む。遺物：覆土上層より土師器・須恵器片が出土している。流入の可能性が高い。時期：覆土にAs-Bを含むことより12世紀以降だと思われる。

4 土坑・ピット(土坑/遺構：第30～33図、表1、写真図版10 遺物：第58図、表11、写真図版18、ピット/遺構：第5図)

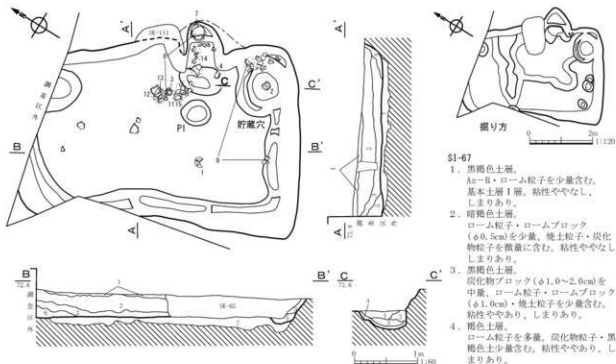
土坑は、As-A軽石を多量に含む不整形なもの、As-Bを含む長方形のもの、テフラを含まないものに大別できる。SK-89からは滑石製紡錘車出土した。SK-89周辺はSB-02と03が位置しており、規模と形態からこの土

坑も掘立柱建物跡の柱穴だと思われる。SK-114は9世紀末の遺物を含む土坑だが、SI-71と同一遺構の可能性も考えられる。

ピットはSI-78からSI-80周辺に集中する。P260～261はSB-02・03と関連すると思われる。しかし、SI-80とSD-04間のP262～274は遺物を含有するが、環状を呈しており植栽痕の可能性も考えられる。

表1 土坑一覧表

番号	平面形	断面形	長軸方向 (N-)	規模 (cm)			出土遺物
				長	短	深	
64	不整形	不整形	不明	204	-	45	古代(須恵器・土師器小片)
65	円形	逆台形状	不明	233	206	34	
66	不整形	皿状	N-48°-E	153	101	18	古代(須恵器・土師器小片)古墳(土師器小片)
67	不整形	皿状	N-58°-W	-	145	17	古代(須恵器・土師器小片)古墳(土師器小片)
68	不整形	皿状	不明	132	-	19	古代(須恵器・土師器小片)古墳(土師器小片)
69	不整形	不整形	N-84°-E	192	172	25	時期不明(土師器小片)
70	円形	逆台形状	N-90°-E	89	73	24	
71	不整形	不整形	N-64°-W	158	128	40	
72	不整形	逆台形状	N-82°-W	172	121	38	
73	長方形	箱状	N-14°-W	180	(90)	36	
74	欠番(SB-02 P9に変更)						時期不明(土師器小片)
75	円形	皿状	不明	87	82	15	古墳(土師器小片)
76	欠番(SB-02 P1に変更)						古代(須恵器・土師器小片)古墳(土師器小片)
77	欠番(SB-02 P4に変更)						古代(須恵器・土師器小片)古墳(土師器小片)
78	欠番(SB-03 P1に変更)						
79	欠番(SB-03 P4に変更)						
80	欠番(SB-02 P2に変更)						古代(土師器小片)
81	欠番(SB-02 P5に変更)						古代(土師器小片)
82	欠番(SB-02 P8に変更)						古代(須恵器・土師器小片)古墳(土師器小片)
83	欠番(SB-03 P2に変更)						
84	欠番(SB-02 P6に変更)						
85	欠番(SB-02 P10に変更)						古墳(土師器小片)
86	欠番(SB-02 P7に変更)						古墳(土師器小片)
87	欠番(SB-03 P3に変更)						
88	円形	皿状	不明	32	23	9	古代(石製紡錘車)
89	円形	皿状	不明	55	52	15	
90	欠番(SI-80 P8に変更)						
91	欠番(SB-03 P5に変更)						
92	長方形	皿状	N-19°-W	188	82	19	
93	長方形	皿状	N-15°-W	190	77	13	
94	長方形	皿状	N-14°-W	188	94	13	
95	円形	逆台形状	不明	109	100	17	古墳(土師器多数)古代(須恵器・土師器小片)
96	不整形	皿状	N-73°-W	(133)	90	20	古代(須恵器・土師器小片)
97	欠番(SB-02 P3に変更)						古代(須恵器・土師器小片)古墳(土師器小片)
98	長方形	箱状	N-10°-W	199	105	37	古墳(土師器多数)古代(須恵器・土師器小片)
99	長方形	箱状	N-71°-E	213	99	38	
100	長方形	皿状	N-11°-W	-	86	12	
101	不整形	U字状	N-31°-W	-	53	32	時期不明(土師器小片)
102	不整形	不整形	N-14°-W	187	108	47	古代(須恵器・土師器多数)古墳(土師器多数)
103	不整形	不整形	N-60°-W	131	125	91	古代(須恵器・土師器多数)古墳(土師器多数)調査土器(中期後半)緑泥片置
104	長方形	皿状	N-69°-E	256	60	10	古代(土師器小片)古墳(土師器小片)
105	長方形	皿状	N-65°-E	-	112	13	
106	円形	逆台形状	-	108	-	17	時期不明(土師器小片)
107	長方形	逆台形状	N-8°-W	255	90	23	
108	長方形	逆台形状	N-11°-W	335	128	39	
109	長方形	箱状	N-78°-E	-	102	43	古代(須恵器・土師器小片)古墳(土師器小片)
110	不整形	不整形	-	-	85	43	
111	長方形	箱状	N-50°-E	119	72	62	古代(土師器)
112	長方形	箱状	N-75°-E	129	52	13	
113	長方形	逆台形状	N-16°-W	255	106	30	古代(須恵器・土師器小片)古墳(土師器小片)
114	不整形	不整形	-	109	-	52	



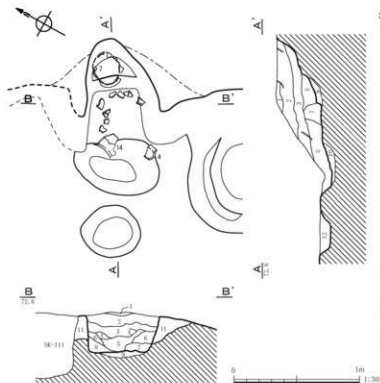
SI-67

1. 黒褐色土層。
As-Bローム粒子を少量含む。
基本土層I層。粘性ややなし。
しりりあり。
2. 暗褐色土層。
ローム粒子・ロームブロック
($\phi 0.5\text{cm}$)を少量。焼土粒子・炭化
物粒子を微量に含む。粘性ややなし
しりりあり。
3. 黒褐色土層。
炭化物ブロック($\phi 1.0\sim 2.0\text{cm}$)を
中量。ローム粒子・ロームブロック
($\phi 1.0\text{cm}$)・焼土粒子を少量含む。
粘性ややあり。しりりあり。
4. 褐色土層。
ローム粒子を多量。炭化物粒子・黒
褐色土少量含む。粘性ややあり。し
りりあり。

5. にぶい黄褐色土層。ローム粒子・ロームブロック($\phi 1.0\sim 2.0\text{cm}$)を中量。炭化物粒子を微量に含む。粘性ややありしりりあり。
6. 暗褐色土層。ローム粒子・黒褐色土を中量。ロームブロック($\phi 1.0\text{cm}$)を少量。焼土粒子を微量に含む。粘性・しりりあり。
7. 黄褐色土層。暗褐色土とローム粒子ロームブロック($\phi 0.5\sim 3.0\text{cm}$)の混合層。粘性・しりりあり。

SI-67貯蔵穴

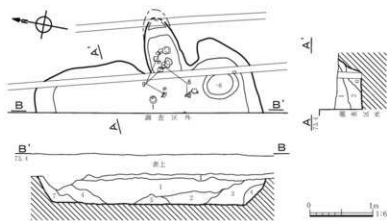
1. 黒褐色土層。ローム粒子・ロームブロック($\phi 0.5\text{cm}$)を少量。炭化物粒子を微量に含む。粘性・しりりあり。
2. 暗褐色土層。ローム粒子・黒褐色土を中量。ロームブロック($\phi 1.0\text{cm}$)を少量。焼土粒子を微量に含む。粘性・しりりあり。
3. にぶい黄褐色土層。黄褐色粘土粒子を多量。焼土粒子・炭化物粒子を中量含む。粘性・しりりあり。
4. にぶい黄褐色土層。黄褐色粘土粒子・ロームブロック($\phi 1.0\text{cm}$)を中量。ローム粒子を少量含む。粘性・しりりやや弱。



SI-67カマド

1. にぶい黄褐色土層。ローム粒子・白色粒子
を微量。焼土粒子を極微量に含む。粘性な
し。しりりあり。
2. 暗褐色土層。黄褐色粘土粒子・黒褐色土を少
量。焼土粒子・黒色粒子を微量に含む。
粘性・しりりあり。
3. にぶい黄褐色土層。黄褐色粘土粒子を多量。
焼土粒子を中量。炭化物粒子を少量含む。
粘性ややあり。しりりあり。
4. にぶい黄褐色土層。黄褐色粘土粒子を多量。
焼土粒子を中量含む。粘性ややあり。しりりあり。
5. 褐色土層。焼土粒子・焼土ブロック
($\phi 0.5\text{cm}$)を多量。黄褐色粘土粒子を少量。
炭化物粒子を微量に含む。粘性・しりりあり。
炭化物粒子を微量に含む。粘性・しりりあり。
6. にぶい黄褐色土層。焼土粒子・焼土ブロック
($\phi 0.5\sim 1.0\text{cm}$)主体層。黄褐色粘土粒子を
少量含む。粘性・しりりあり。
7. 明黄褐色土層。粘土粒子主体層。極細焼土
層。粘性やや強。しりりあり。
8. 褐色土層。黄褐色粘土粒子を中量。焼土粒
子を微量に含む。粘性ややあり。しりりあり。
9. 黄褐色土層。ローム粒子主体層。
10. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック
($\phi 0.5\sim 1.0\text{cm}$)を中量。焼土粒子・炭化
物粒子を微量に含む。粘性・しりりあり。
11. にぶい黄褐色土層。焼土粒子を多量。ローム
粒子・ロームブロック($\phi 0.5\text{cm}$)を少量含む。
粘性・しりりややあり。
12. 黒褐色土層。ローム粒子・焼土粒子を少量
含む。粘性・しりりややあり。Pl.

第6図 SI-67

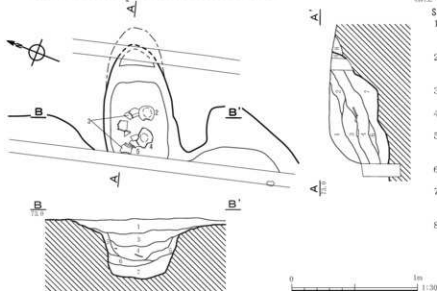


SI-68

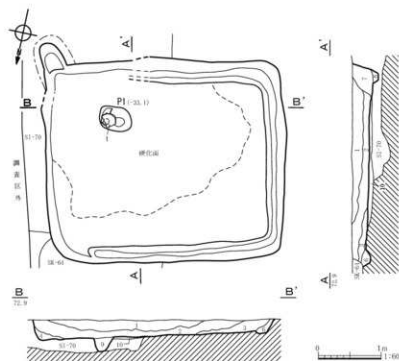
1. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5 cm)・白色粒子を少量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性ややありしりあり。
2. にぶい黄褐色土層、ローム粒子を多量、白色粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性ややあり。しりりあり。
3. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ1.0 cm)を少量、小礫・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しりりあり。
4. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5 ~ 2.0cm)を中量、焼土粒子・炭化物粒子を少量含む。粘性・しりりあり。
5. にぶい黄褐色土層、粘土粒子主体層、焼土粒子を中量、ローム粒子を少量、炭化物粒子を微量に含む。粘性やや強、しりりあり。カマド構築土層。
6. 黄褐色土層、ローム粒子主体層、暗褐色土を少量、白色粒子を微量に含む。粘性しりりあり。
7. 褐色土層、暗褐色土を中量、ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)を少量、焼土粒子を微量に含む。粘性・しりりあり。

SI-68カマド

1. 暗褐色土層、ローム粒子・白色粒子・黒褐色土を中量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しりりあり。
2. にぶい黄褐色土層、粘土粒子主体層、焼土粒子を少量、白色粒子を微量に含む。粘性・しりりあり。
3. 褐色土層、粘土粒子主体層、焼土粒子を極微量に含む。粘性やや強、しりりあり。
4. 褐色土層、粘土粒子主体層、焼土粒子を中量含む。粘性やや強、しりりあり。
5. にぶい褐色土層、粘土粒子と焼土ブロック(φ1.0~2.0cm)との混合物。粘性・しりりあり。
6. 暗褐色土層、焼土粒子・炭化物粒子を少量含む。粘性・しりりあり。
7. 黄褐色土層・ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)主体層、焼土粒子を微量に含む。粘性・しりりあり。
8. 黄褐色土層、ローム粒子・ロームブロック主体層、焼土粒子を少量含む。粘性・しりりあり。



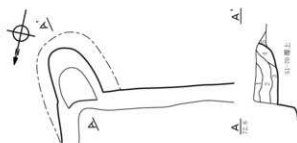
第7図 SI-68



SI-69

1. 灰褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)を中量、黒褐色土を少量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しりりややなし。
2. にぶい黄褐色土層、ロームブロック(φ1.0~2.5cm)・黒褐色土を中量、ローム粒子を微量に含む。粘性・しりりややあり。
3. 灰褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ2.0~3.0cm)を中量、焼土粒子を微量に含む。粘性・しりりなし。
4. 暗褐色土層、ローム粒子・焼土粒子を少量含む。粘性・しりりややあり。
5. 灰黄褐色土層、ローム粒子・黒褐色土を少量含む。粘性・しりりあり。
6. 灰黄褐色土層、ローム粒子・黒褐色土・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しりりややあり。
7. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を少量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しりりややあり。
8. 灰黄褐色土層・ローム粒子・焼土粒子を多量に含む。粘性・しりりややあり。
9. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ1.0~2.0cm)との混合物、炭化物粒子を微量に含む。粘性・しりりあり。
10. 暗褐色土層、ロームブロック(φ1.0~4.0cm)との混合物、焼土粒子を微量に含む。粘性あり、しりり強、粘り厚。

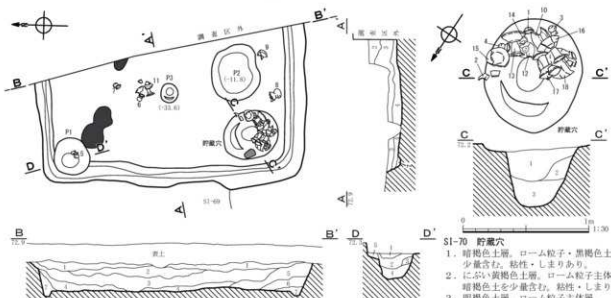
第8図 SI-69(1)



S1-69 カマド

1. 暗褐色土層。ローム粒子を多量、白色粒子を中量、焼土粒子を微量に含む。粘性しまりやあり。
2. 黒褐色土層。ローム粒子・焼土ブロック(φ1.0cm)・灰白色粘土を中量、焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりやあり。
3. 黒褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)を少量、炭化物粒子を微量に含む。粘性やあり。しまりやなし。
4. 稀暗褐色土層。焼土・焼土ブロック(φ3.0~5.0cm)主体層。粘性あり。しまり強。
5. 暗褐色土層。ローム粒子・黒褐色土を少量含む。粘性やあり。しまりあり。

第9図 S1-69(2)



S1-70 貯蔵穴

1. 暗褐色土層。ローム粒子・黒褐色土を少量含む。粘性・しまりあり。
2. にぶい黄褐色土層。ローム粒子主体層。暗褐色土を少量含む。粘性・しまりあり。
3. 明黄褐色土層。ローム粒子主体層。粘性・しまりあり。

S1-70

1. 暗褐色土層。ローム粒子・白色粒子を中量、ロームブロック(φ1.0cm)を微量に含む。粘性なし。しまりあり。
2. 暗褐色土層。ローム粒子を中量、ロームブロック(φ0.5~1.0cm)・白色粒子を少量、黒褐色土を微量に含む。粘性やあり。しまりあり。
3. 黒褐色土層。ローム粒子を多量、暗褐色土を微量に含む。粘性・しまりあり。
4. にぶい黄褐色土層。ローム粒子主体層。ロームブロック(φ0.5cm)、暗褐色土を少量含む。粘性やあり。しまりなし。
5. にぶい黄褐色土層。ローム粒子・暗褐色土を中量、ロームブロック(φ1.0cm)を少量含む。粘性・しまりあり。
6. にぶい黄褐色土層。暗褐色土を中量、ローム粒子・ロームブロック(φ2.0cm)・黒褐色土を少量含む。粘性・しまりあり。
7. にぶい黄褐色土層。ローム粒子を中量、ロームブロック(φ0.5~1.0cm)を少量、白色粒子を微量に含む。粘性やあり。しまりあり。

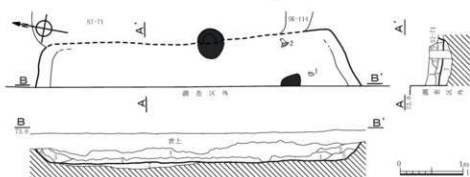
S1-70 P1

1. 黒褐色土層。ローム粒子を少量含む。粘性・しまりあり。
2. 暗褐色土層。黒褐色土を中量、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を少量含む。粘性・しまりあり。
3. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)との混合層。粘性・しまりあり。
4. 暗褐色土層。ローム粒子を中量、ロームブロック(φ0.5cm)を少量、焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
5. 灰黄褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)を中量含む。粘性・しまりあり。

S1-70 P2

1. 黒褐色土層。ローム粒子を少量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。

第10図 S1-70

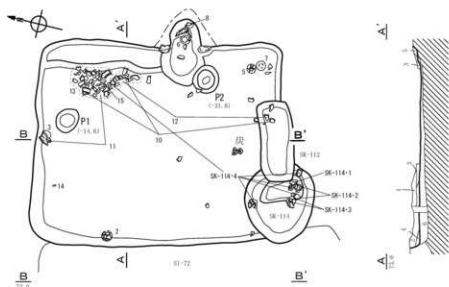


S1-71

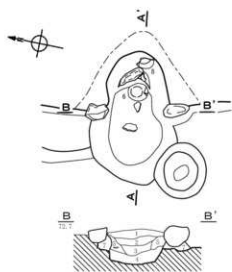
1. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)を中量、焼土粒子・炭化物粒子を少量含む。粘性やあり。しまり強。
2. 暗褐色土層。ローム粒子を中量、焼土粒子を少量、炭化物粒子を微量に含む。粘性あり。しまり強。
3. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を少量、焼土粒子を少量、炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。

4. にぶい黄褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)との混合層。黒褐色土を少量含む。粘性・しまりあり。
5. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0~2.0cm)を少量、焼土粒子・小礫(φ0.5cm)を少量、黒褐色土を少量含む。粘性あり。しまり強。
6. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を中量、黒褐色土を少量含む。粘性・しまりあり。
7. 明黄褐色土層。ローム粒子主体層。暗褐色土を少量含む。粘性・しまりあり。

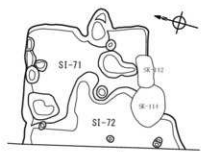
第11図 S1-72



0 1m 1:60



0 50cm 1:30



SI-71・72掘り方 0 2m 1:120

SI-71

1. 黒褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)・炭化物粒子を少量、白色粒子を微量に含む、粘性・しまりあり。
2. 黒褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)・炭化物粒子を少量、焼土粒子を少量、白色粒子を微量に含む、粘性・しまりあり。
3. 黄褐色土層。ローム粒子を主体層。黒褐色土を少量含む、粘性・しまりあり。
4. 黒褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)を少量、炭化物粒子・白色粒子を微量に含む、粘性・しまりあり。
5. 黄褐色土層。ローム粒子を主体層。暗褐色土を中量含む、粘性・しまりあり。
6. 黒褐色土層。ローム粒子とロームブロックの混合層。暗褐色土を少量含む、粘性しまりあり。掘り方層。

SI-70 P1

1. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)黒褐色土を少量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む、粘性・しまりあり。

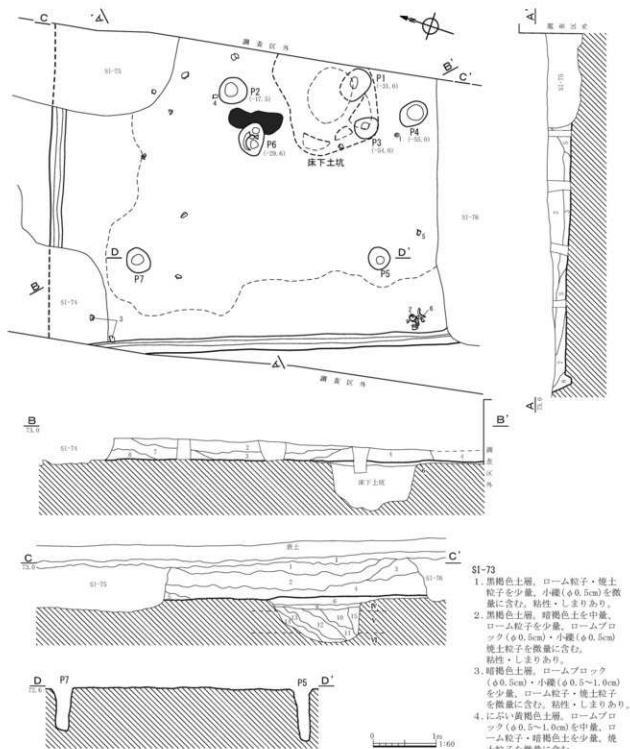
SI-70 P2

1. 暗褐色土層。ロームブロック(φ1.0cm)を中量、ローム粒子を少量含む、粘性・しまりあり。

SI-71カマド

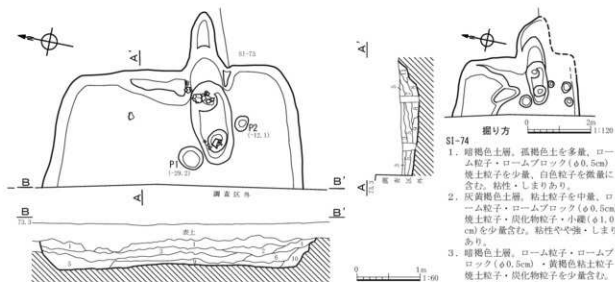
1. にぶい赤褐色土層。焼土粒子・炭化物粒子を少量含む、粘性・しまりあり。
2. 黒褐色土層。炭化物粒子を多量、焼土粒子を中量、粘土粒子を少量含む、粘性しまりあり。
3. 褐色土層。焼土粒子・粘土粒子を中量、炭化物粒子を少量含む、粘性・しまりあり。
4. 褐色土層。焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む、粘性・しまりあり。
5. 褐色土層。炭化物粒子を微量、焼土粒子を種微量に含む、粘性・しまりあり。
6. 褐色土層。焼土粒子・炭化物粒子を少量含む、粘性・しまりあり。
7. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0~2.0cm)を中量、黒褐色土を少量、焼土粒子を種微量に含む、粘性・しまりややあり。
8. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0~2.0cm)を中量、炭化物粒子を微量に含む、粘性しまりややあり。
9. にぶい黄褐色土層。ローム粒子を中量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む、粘性・しまりややあり。

第12図 SI-71



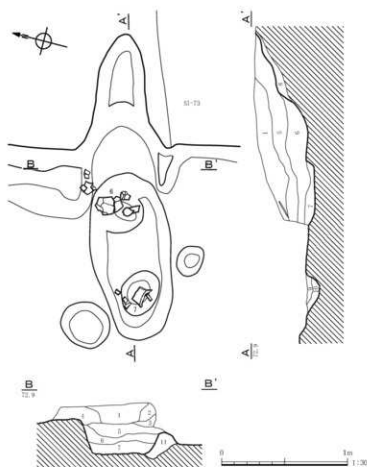
5. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を少量、黒褐色土を微量に含む。粘性・しまりあり。
6. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5~1.0cm)を中量、焼土粒子を微量に含む。粘性ややあり。しまりやや強。
7. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5~2.0cm)を中量、焼土粒子を微量に含む。粘性ややあり。しまりやや強。
8. 暗褐色土層。ローム粒子・暗褐色土を中量、ロームブロック(φ0.5cm)を微量に含む。粘性・しまりあり。
9. 明黄褐色土層。シルト質ローム粒子大量、シルト質ロームブロック(φ0.5~2.0cm)を多量、暗褐色土・黒褐色土を少量含む。粘性あり。しまり強。粘り床層。
10. ぶい黄褐色土層。シルト質ローム粒子・シルト質ロームブロック(φ1.0cm)を少量含む。粘性ややあり。しまりなし。
11. ぶい黄褐色土層。シルト質ローム粒子を中量、シルト質ロームブロック(φ0.5~2.0cm)を中量、暗褐色土を少量含む。粘性・しまりあり。
12. 黒褐色土層。暗褐色土を多量、シルト質ローム粒子中量、シルト質ロームブロック(φ0.5~1.0cm)を少量含む。粘性ややあり。しまりあり。
13. ぶい黄褐色土層。シルト質ローム粒子・シルト質ロームブロック(φ0.5~2.0cm)を多量、暗褐色土を少量含む。粘性ややあり。しまりあり。
14. 明黄褐色土層。シルト質ローム粒子を多量、暗褐色土を中量、シルト質ロームブロック(φ1.0~3.0cm)を少量含む。粘性・しまりあり。
15. 明黄褐色土層。シルト質ローム粒子を多量。シルト質ロームブロック(φ~3.0cm)を中量含む。梨面崩落土層。

第13図 SI-73



SI-74 掘り方

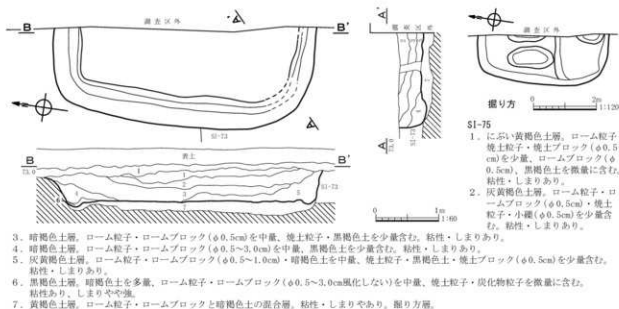
1. 暗褐色土層、灰褐色土を多量、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)焼土粒子を少量、白色粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
2. 灰黄褐色土層、粘土粒子を中量、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)焼土粒子・炭化物粒子・小礫(φ1.0cm)を少量含む。粘性やや強・しまりあり。
3. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)・黄褐色粘土粒子焼土粒子・炭化物粒子を少量含む。粘性やや強、しまりあり。
4. 灰黄褐色土層、ローム粒子を中量、ロームブロック(φ0.5cm)を中量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性ややあり、しまりあり。
5. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ1.0~2.0cm)を中量、焼土粒子・炭化物粒子を少量含む。粘性・しまりあり。
6. に近い黄褐色土層、ローム粒子を中量、ロームブロック(φ1.0~2.0cm)暗褐色土・焼土粒子・粘土粒子を少量、炭化物粒子を微量に含む。粘性しまりあり。
7. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5~1.0cm)・黄褐色粘土粒子を中量、焼土粒子を少量、炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
8. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5~1.0cm)・黄褐色粘土粒子を中量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
9. に近い黄褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5~1.0cm)との混合層、焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
10. に近い黄褐色土層、ローム粒子を多量、ロームブロック(φ0.5~1.0cm)、黒褐色土を少量、焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
11. に近い黄褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を少量、炭化物粒子を極微量に含む。粘性・しまりあり。
12. 黄褐色土層、ローム粒子・ロームブロックとの混合層、暗褐色土を少量、焼土粒子を微量に含む。粘性ややあり、しまり強。



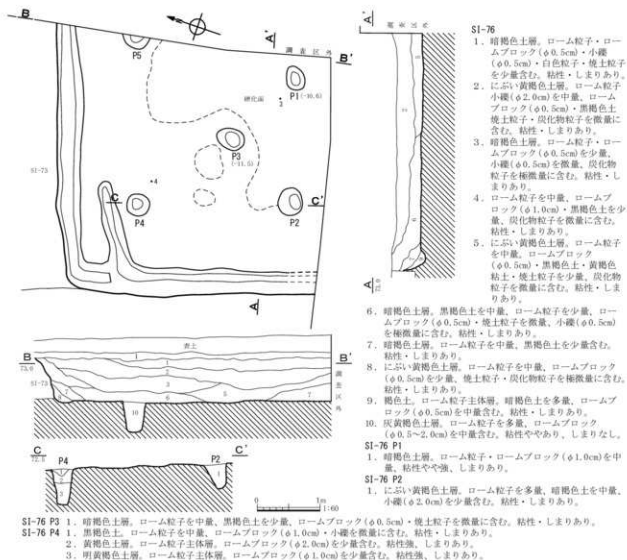
SI-74カマド

1. に近い黄褐色土層、灰黄褐色粘土・焼土ブロック(φ0.5~1.5cm)を多量、炭化物粒子を微量に含む。粘性強、しまりあり。天井崩落土層。
2. 灰黄褐色粘土・焼土ブロック(φ1.0cm)を多量、炭化物粒子・焼土粒子を微量に含む。粘性やや強、しまりあり。
3. 赤褐色土層、焼土粒子を多量、焼土ブロック(φ0.5cm)・灰黄褐色粘土を中量、炭化物粒子を微量に含む。粘性強、しまりあり。
4. 灰黄褐色土層、粘土主体層、焼土粒子を微量に含む。粘性強、しまりあり。
5. 灰黄褐色土層、粘土粒子・焼土ブロック(φ1.0cm)炭化物粒子を中量含む。粘性ややあり、しまりあり。
6. 黒褐色土層、粘土粒子を中量、炭化物粒子を少量、焼土粒子を微量に含む。粘性あり、しまりややあり。
7. 暗褐色土層、粘土粒子・黒褐色土を中量、焼土粒子・炭化物粒子を少量含む。粘性あり、しまりややあり。
8. 灰黄褐色土層、粘土粒子を中量、ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)・焼土粒子を少量含む。粘性しまりあり。掘り方。
9. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を中量、炭化物粒子を少量含む。粘性あり、しまりやや強。
10. 黒褐色土層、ローム粒子・焼土ブロック(φ0.5cm)を少量含む。粘性あり、しまりややなし。
11. に近い褐色、粘土粒子主体層、焼土粒子を中量、ローム粒子を少量含む。粘性ややなし、しまり強。

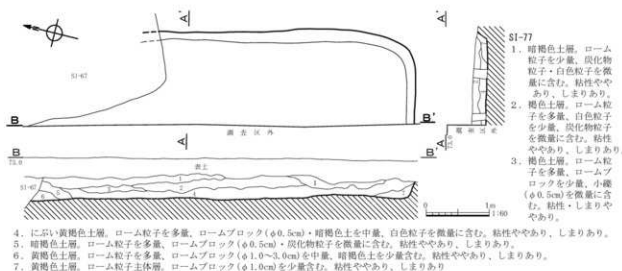
第 14 図 SI-74



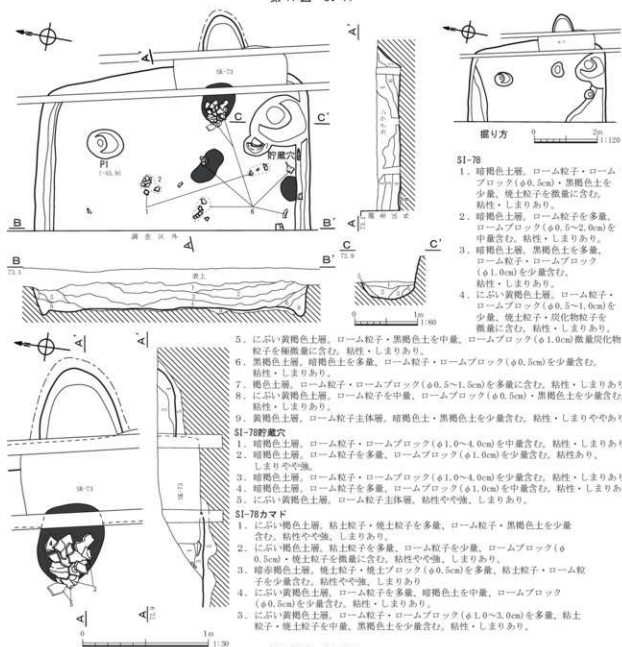
第15図 SI-75



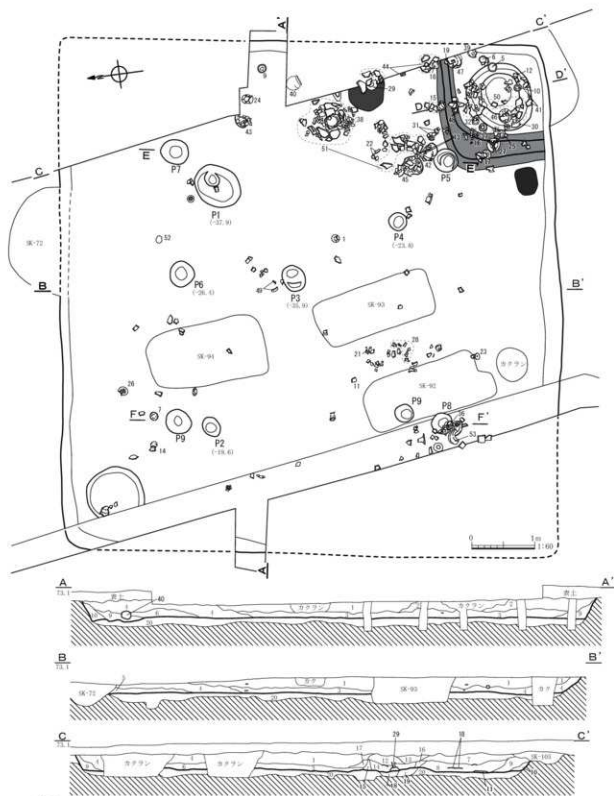
第16図 SI-76



第17図 S1-77



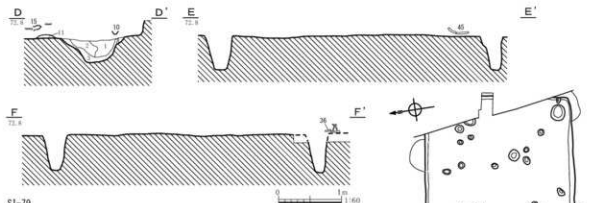
第18図 S1-78



SI-79

1. 黒褐色土層。ローム粒子を中量、ロームブロック(φ0.5cm)を少量、炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
2. 黒褐色土層。ローム粒子を中量、焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
3. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5~1.0cm)を中量、黒褐色土を少量含む。粘性・しまりあり。
4. に近い黄褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5~1.0cm)を多量、炭化物ブロック・炭化物粒子・黒褐色土を少量含む。粘性・しまりあり。
5. に近い黄褐色土層。ローム粒子を多量、ロームブロック(φ0.5cm)を少量、炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
6. 灰黄褐色土層。ローム粒子を多量、ロームブロック(φ0.5~2.0cm)を少量、黒褐色土を微量に含む。粘性・しまりあり。
7. 暗褐色土層。ローム粒子を少量、炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
8. 暗褐色土層。ローム粒子・炭化物粒子を少量、焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
9. に近い黄褐色土層。ローム粒子を多量、暗褐色土を中量、ロームブロック(φ0.5~1.0cm)を少量、焼土粒子を微量に含む。粘性あり、しまりややあり。

第19図 SI-79(1)



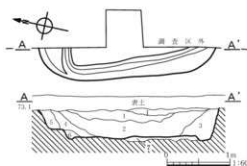
SI-79

10. にぶい黄褐色土層、ローム粒子を多量、ロームブロック(φ0.5~3.0cm)を中量、黒褐色土を少量含む。粘性・しまりあり。
11. 黄褐色土層、灰黄褐色粘土ブロック(φ0.5~2.0cm)を多量、暗褐色土・小礫(φ0.5cm)を中量含む。粘性あり、しまりやや強。貯蔵穴土手。
12. 暗褐色土層、ローム粒子を多量、ロームブロック(φ0.5cm)・焼土ブロック(φ0.5cm)・炭化物粒子を少量含む。粘性・しまりあり。カマド。
13. にぶい黄褐色土層、ローム粒子を多量、粘土粒子を中量、焼土ブロック(φ0.5cm)を微量、焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。カマド。
14. にぶい赤褐色土層、焼土粒子を多量、焼土ブロック(φ0.5~3.0cm)を中量、粘土粒子を少量、炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。カマド。
15. にぶい黄褐色土層、ローム粒子を多量、焼土粒子・ロームブロック(φ1.0cm)を少量含む。粘性ややあり、しまり。カマド跡。
16. 暗赤褐色土層、焼土粒子を多量、焼土ブロック(φ1.0cm)少量含む。粘性ややあり、しまりあり。カマド。
17. 暗褐色土層、ローム粒子・焼土粒子を微量に含む。粘性ややあり、しまりあり。カマド。
18. 赤褐色土層、焼土粒子を多量、ローム粒子・粘土粒子を少量、焼土ブロック(φ0.5cm)を微量に含む。粘性・しまりあり。カマド。
19. 暗褐色土層、ローム粒子・焼土粒子を少量含む。粘性ややあり、しまりなし。カマド。
20. 明黄褐色土層、ロームブロック(φ0.5~3.0cm)・ローム粒子を多量、暗褐色土を少量含む。粘性あり、しまりやや強。掘り方。

SI-79貯蔵穴

1. 黒褐色土層、ローム粒子を中量、ロームブロック(φ1.0cm)・焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
2. にぶい黄褐色土層、ローム粒子を多量、焼土粒子・炭化物粒子を極微量に含む。粘性・しまりあり。
3. 明黄褐色土層、ローム粒子主体層、小礫(φ2.0cm)を微量に含む。粘性・しまりあり。

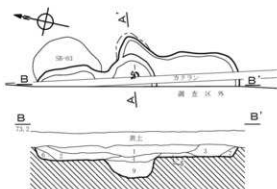
第20図 SI-79(2)



SI-81

1. 暗褐色土層、ローム粒子・焼土粒子・白色粒子・小礫を微量に含む。粘性・しまりややあり。
2. 黒褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を少量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
3. 暗褐色土層、ローム粒子を少量、ロームブロック(φ0.5cm)を微量に含む。粘性・しまりあり。
4. 黒褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ3.0cm)を少量含む。粘性・しまりあり。
5. 黄褐色土層、ローム粒子主体層。粘性・しまりあり。
6. 明黄褐色土層、ローム粒子主体層。ロームブロック(φ0.5cm)を少量含む。粘性・しまりあり。
7. 明黄褐色土層、ローム粒子主体層、暗褐色土を少量含む。粘性・しまりあり。掘り方跡。

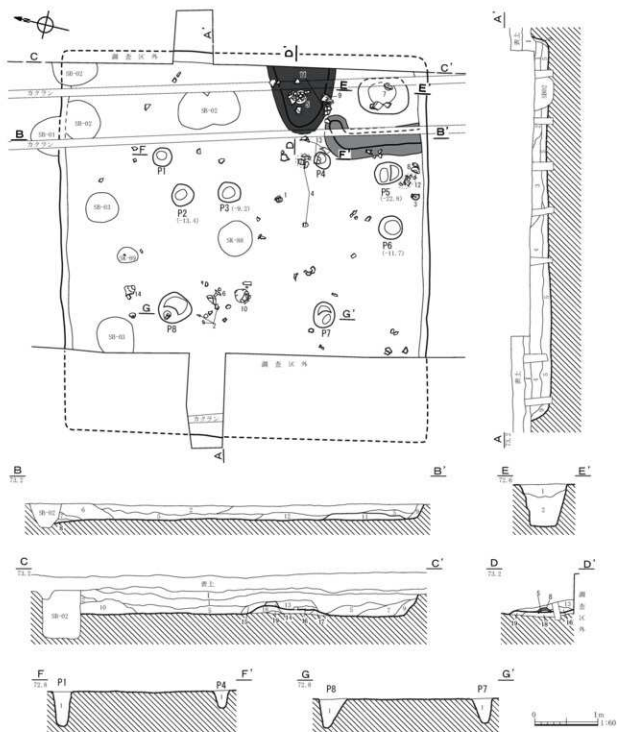
第21図 SI-81



SI-82

1. 暗褐色土層、ローム粒子を中量、小礫(φ0.5cm)を少量、焼土粒子・焼土ブロック(φ0.5cm)・白色粒子を微量に含む。粘性ややあり、しまりあり。
2. 暗褐色土層、ローム粒子を中量、ロームブロック(φ0.5cm)・粘土粒子を少量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
3. 黒褐色土層、暗褐色土を中量、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)・小礫を少量含む。粘性・しまりあり。
4. にぶい黄褐色土層、ローム粒子・粘土粒子を中量、ロームブロック(φ1.0~2.0cm)を少量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり、しまりやや強。焼土粒子を少量含む。
5. 黒褐色土層、ローム粒子を多量、小礫(φ0.5cm)を少量含む。粘性・しまりあり。
6. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ2.0cm)を少量含む。粘性・しまりあり。

第22図 SI-82



SI-80

1. にぶい黄褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を中量、炭化物粒子・小礫を少量、焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
2. にぶい黄褐色土層。シルト質ロームブロック(φ0.5cm)・ローム粒子・焼土粒子・焼土ブロック(φ0.5cm)・黒褐色土・小礫(φ1.0cm)を少量含む。粘性や不明、しまりあり。
3. 灰黄褐色土層。ローム粒子を中量、ロームブロック(φ0.5cm)を少量、白色粒子を極微量に含む。粘性・しまりや不明。
4. 暗褐色土層。ローム粒子・黒褐色土を中量、ロームブロック(φ0.5cm)・小礫(φ2.0cm)を少量、焼土粒子・白色粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
5. 暗褐色土層。黒褐色土を多量、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を中量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
6. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5~3.0cm)を中量、黒褐色土を少量含む。粘性・しまりあり。
7. 明黄褐色土層。ローム粒子を多量、ロームブロック(φ0.5~1.0cm)を少量。シルト質ロームブロック(φ0.5cm)を微量に含む。粘性・しまりあり。
8. 明黄褐色土層。ローム粒子を多量、ロームブロック(φ0.5cm)・暗褐色土を少量含む。粘性・しまりあり。
9. 明黄褐色土層。ローム粒子を多量、ロームブロック(φ0.5cm)・暗褐色土を少量含む。粘性・しまりあり。
10. 明黄褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)を多量、黒褐色土を少量、小礫(φ0.5cm)を微量に含む。粘性・しまりあり。
11. 灰白色粘土層。ローム粒子を少量含む。粘性強。しまりあり。貯蔵穴土。
12. 暗褐色土層。焼土粒子を中量、焼土粒子・炭化物粒子を少量、ローム粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
13. にぶい黄褐色土層。ローム粒子を中量、ロームブロック(φ0.5~1.0cm)を少量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
14. にぶい黄褐色土層。焼土粒子を多量、ローム粒子・粘土粒子を微量に含む。粘性や不明、しまりあり。
15. 暗褐色土層。焼土粒子を中量、ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)を少量含む。粘性・しまりあり。

第23図 SI-80(1)

SI-80

16. にぶい黄褐色土層。ローム粒子・焼土粒子を中量、粘土粒子を少量、炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
17. にぶい黄褐色土層。ローム粒子主体層。ロームブロック(φ0.5cm)を少量含む。粘性・しまりあり。
18. にぶい黄褐色土層。焼土粒子とローム粒子の混合層。焼土ブロック(φ1.0cm)を中量、炭化物粒子を少量含む。粘性やや強、しまりあり。
19. にぶい黄褐色土層。ローム粒子を多量、暗褐色土を中量、ローム粒子(φ0.5cm)・焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。

SI-80の縮尺

1. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を少量含む。粘性・しまりあり。
2. 黄褐色土層。シルト質ローム粒子主体層。小礫を少量含む。粘性ややあり、しまりあり。

SI-80 P1

1. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を少量含む。粘性・しまりあり。
2. 黄褐色土層。シルト質ローム粒子主体層。小礫(φ2.0cm)を少量含む。粘性・しまりあり。

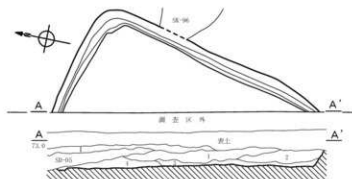
SI-80 P4

1. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)・焼土ブロック(φ0.5cm)を少量、黒褐色土・焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。

SI-80 P7

1. 暗褐色土層。ローム粒子を少量、ロームブロック(φ1.0cm)・小礫(φ1.0cm)・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり

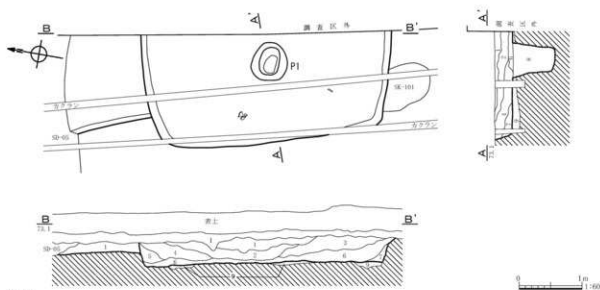
第24図 SI-80(2)



第25図 SI-83

SI-83

1. 暗褐色土層。ローム粒子を中量、ロームブロック(φ0.5cm)・焼土粒子・小礫(φ0.5cm)を少量、炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
2. 褐色土層。ローム粒子を中量、ロームブロック(φ0.5cm)を少量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりやや強。
3. 褐色土層。ローム粒子を中量、暗褐色土を少量、焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
4. にぶい黄褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5~2.0cm)を中量、黒褐色土・小礫(φ0.5~1.0cm)を少量、焼土、炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。



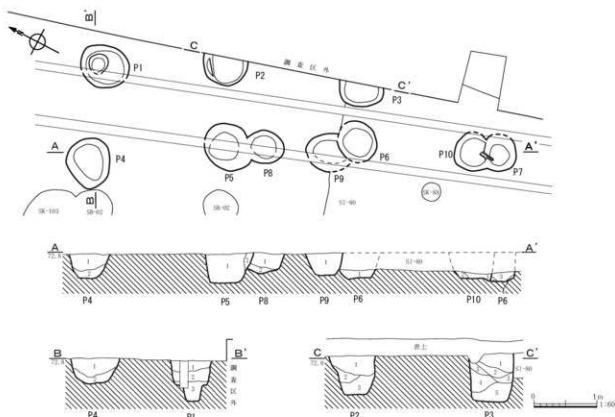
SI-84

1. にぶい黄褐色土層。ローム粒子を少量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
2. にぶい黄褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5~1.0cm)・黒褐色土。焼土粒子を微量に少量含む。粘性・しまりあり。
3. にぶい黄褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を少量、焼土粒子・焼土ブロック(φ1.0cm)を微量に含む。粘性あり、しまりややあり。
4. 暗褐色土層。黒褐色土を中量、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を少量、焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
5. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を少量、炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
6. にぶい黄褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ0.5~2.0cm)・暗褐色土を中量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
7. 暗褐色土層。ローム粒子を多量、ロームブロック(φ0.5cm)を少量、焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
8. にぶい黄褐色土層。暗褐色土・シルト質ロームブロック(φ1.0~2.0cm)を中量、ローム粒子・焼土粒子を微量に含む。粘性やや強、しまりあり。
9. にぶい黄褐色土層。ロームブロック(φ0.5~3.0cm)を中量、ローム粒子・黒褐色土を少量含む。粘性・しまりあり。縦り方層。

SI-85

1. にぶい黄褐色土層。ローム粒子を中量、炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。

第26図 SI-84・SI-85



SB-02

P1

1. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)を少量、焼土粒子を微量に含む、粘性・しまりあり。
2. 暗褐色土層、ローム粒子を中量、ロームブロック(φ1.0cm)を少量、炭化物粒子を微量に含む、粘性・しまりあり。

P2

1. 暗褐色土層、ローム粒子を中量、ロームブロック(φ0.5~1.0cm)・小礫(φ0.5~1.0cm)を少量含む、粘性・しまりあり。
2. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ1.0~3.0cm)を中量含む、粘性ややあり、しまりなし。
3. におい黄褐色土層、ローム粒子主体層、ロームブロック(φ1.0~3.0cm)を少量、焼土粒子を微量に含む、粘性・しまりややあり。

P3

1. におい黄褐色土層、ローム粒子・シルト質ロームブロック(φ0.5~3.0cm風化しない)、黒褐色土を中量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む、粘性・しまりあり。
2. におい黄褐色土層、ローム粒子・ロームブロック・黒褐色土を少量、小礫(φ1.0cm)を微量に含む、粘性なし、しまりあり。
3. 暗褐色土層、黒褐色土・ローム粒子・シルト質ロームブロック(φ0.5~3.0cm)を中量、焼土粒子を微量に含む、粘性ややあり、しまりあり。
4. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)を少量、焼土粒子・炭化物粒子をごく微量に含む、粘性やや強、しまりあり。
5. におい黄褐色土層、ローム粒子を多量、ロームブロック(φ0.5cm)を少量、小礫・炭化物粒子を微量に含む、粘性ややあり、しまりあり。

P4

1. 暗褐色土層・ローム粒子・ロームブロック(φ0.5~2.0cm)を少量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む、粘性・しまりあり。
2. 暗褐色土層、ローム粒子を多量、ロームブロック(φ0.5cm)を少量含む、粘性・しまりあり。

P5

1. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)を少量含む、粘性・しまりあり。
2. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック・黒褐色土を少量含む、粘性なし、しまりあり。

P6

1. 暗褐色土層、黒褐色土を多量、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を中量、焼土粒子を少量、炭化物粒子を微量に含む、粘性・しまりややあり。

P7

1. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5~1.0cm)・黒褐色土を中量、焼土粒子・炭化物粒子を少量含む、粘性・しまりあり。
2. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)・小礫を少量含む、粘性・しまりあり。

P8

1. 暗褐色土層、ローム粒子を中量、ロームブロック(φ0.5~1.0cm)・小礫(φ0.5~1.0cm)を少量含む、粘性・しまりあり。
2. におい黄褐色土層、ローム粒子・ロームブロック・黒褐色土を微量に含む、粘性なし、しまりあり。

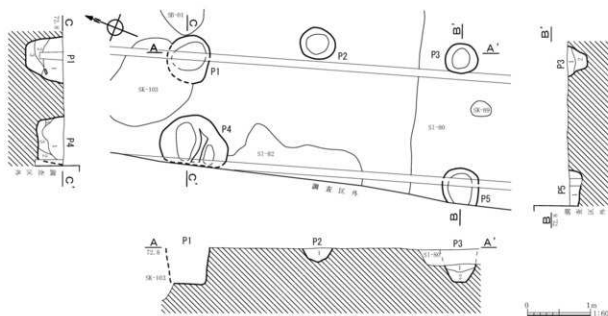
P9

1. 黒褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を中量、小礫・焼土粒子を微量に含む、粘性ややありしまりあり。

P10

1. 黒褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を中量、焼土粒子・炭化物粒子を極微量に含む、粘性・しまりややあり。
2. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5~1.0cm)を少量含む、粘性・しまりややあり。

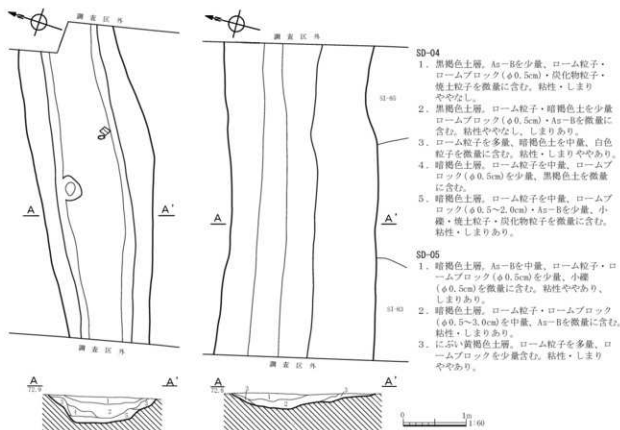
第27図 SB-02



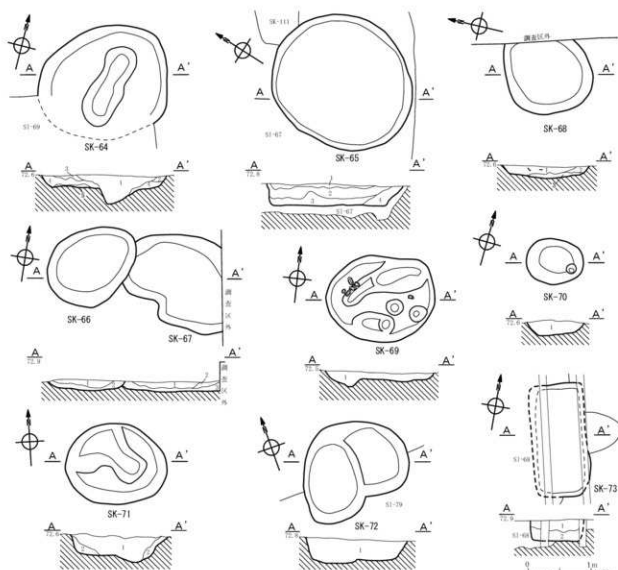
SB-02

- P1 1. 暗褐色土層。ローム粒を中量、ロームブロック(φ1.0cm)、黒褐色土・小礫(φ0.5cm)を少量含む。粘性ややあり、しまりあり。
 2. に近い黄褐色土層。ローム粒子主体層。小礫(φ2.0~4.0cm)を微量含む。粘性・しまりややあり。
 P2 1. 暗褐色土層。ローム粒を中量、ロームブロック(φ0.5cm)を少量、小礫(φ0.5cm)・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
 P3 1. 黒褐色土層。ロームブロック(φ0.5cm)・小礫・炭化物粒子を少量含む。粘性・しまりあり。
 2. 黒褐色土層。小礫との混合層。粘性ややあり、しまりあり。
 P4 1. 暗褐色土層。ローム粒を中量、ロームブロック(φ0.5~2.0cm)を少量、小礫(φ0.5cm)・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりややあり。
 2. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)を中量含む。粘性・しまりややあり。
 3. に近い黄褐色土層。ローム粒を多量、ロームブロック(φ0.5~1.0cm)を中量、炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりややあり。
 4. 暗褐色土層。1層と類似する。
 P5 1. 黒褐色土層。ローム粒子・小礫(φ0.5cm)を少量含む。粘性・しまりあり。

第28図 SB-03



第29図 SD-04・SD-05



SK-64

1. 暗褐色土層。ロームブロック(φ1.0~5.0cm)を多量、As-A・ローム粒子・黒褐色土を少量含む。粘性やややなし。しまりあり。
2. 黄褐色土層。ローム粒子主体。As-Aを微量含む。粘性・しまりあり。
3. 黄褐色土層。ローム粒子主体。As-Aを微量含む。粘性・しまりなし。
4. 黄褐色土層。ローム粒子主体。白色粒子・黒褐色土を微量含む。粘性・しまりややなし。
5. 黄褐色土層。ローム粒子主体層。ロームブロック(φ3.0cm)・黒褐色土を少量含む。粘性・しまりややなし。

SK-65

1. 灰黄褐色土層。ロームブロック(φ3.0cm)・As-A・炭化物粒子・焼土粒子を少量含む。粘性・しまりなし。
2. 黄褐色土層。As-Aを多量、黒褐色土を中量、焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりなし。
3. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)を少量、炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりなし。
4. 暗褐色土層。As-Aを少量、ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)・焼土粒子・炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。

SK-66

1. 灰黄褐色土層。ローム粒子・As-Aを少量、焼土粒子・炭化物粒子を微量含む。粘性やややなし。しまりあり。
2. にい黄褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)主体層。粘性やややなし。しまりあり。
3. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロックを中量、白色粒子を少量含む。粘性やややなし。しまりあり。

SK-67

1. 灰黄褐色土層。As-A・ローム粒子・黒褐色土を少量含む。粘性なし。しまりあり。
2. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)を多量、白色粒子・焼土粒子を微量に含む。粘性なし。しまりあり。
3. にい黄褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)・白色粒子を少量、黒褐色土を微量に含む。粘性なし。しまりあり。

SK-68

1. 暗褐色土層。As-Bを多量、ローム粒子・焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりややなし。
2. にい黄褐色土層。ローム粒子・白色粒子を少量、ロームブロック(φ1.0cm)を微量に含む。粘性・しまりあり。
3. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0~2.0cm)との混合層。粘性・しまりあり。

SK-69

1. 暗褐色土層。ローム粒子を多量、黒褐色土・ロームブロック(φ1.0~3.0cm)を中量、焼土粒子・炭化物粒子を微量含む。粘性・しまりあり。

SK-70

1. にい黄褐色土層。ローム粒子を多量、ロームブロック(φ1.0cm)を中量、焼土粒子・炭化物粒子を少量含む。粘性・しまりあり。

SK-71

1. 灰黄褐色土層。As-Aを多量、ローム粒子・ロームブロック(φ2.0cm)・暗褐色土を中量含む。粘性・しまりなし。
2. にい黄褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0~3.0cm)を多量、白色粒子を微量に含む。粘性・しまりやややなし。
3. 黄褐色土層。ローム粒子主体。炭化物粒子少量含む。粘性・しまりあり。

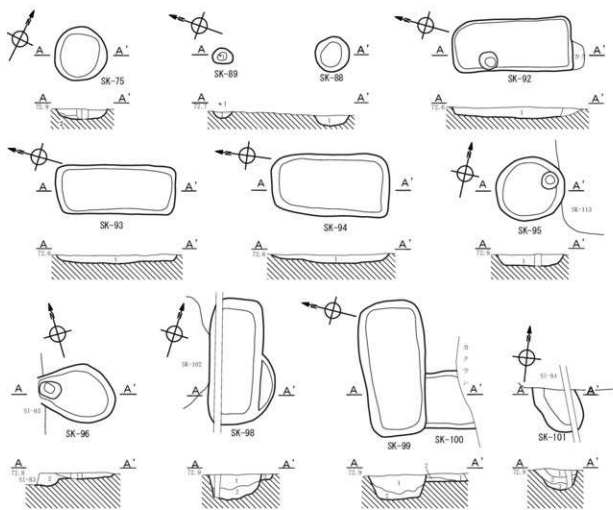
SK-72

1. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0~3.0cm)を多量、黒褐色土ブロック(φ3.0cm)を中量含む。粘性・しまり弱。

SK-73

1. 黒褐色土層。As-Bを中量、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5~1.0cm)を微量、炭化物粒子を微量に含む。粘性なし。しまりやややなし。
2. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0~2.0cm)・暗褐色土を中量、As-Bを少量、炭化物粒子を微量に含む。粘性なし。しまりあり。

第30図 土坑(1)



SK-75

1. 黒褐色土層, As-B・ローム粒子を少量, 炭化物粒子を微量に含む, 粘性・しまりややあり。
2. 黒褐色土層, As-B・ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を少量含む, 粘性・しまりややあり。

SK-88

1. 黒褐色土層, ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を中量含む, 粘性ややあり, しまりあり。

SK-89

1. 黒褐色土層, ロームブロック(φ3.0cm)・小礫(φ0.0cm)を中量含む, 粘性・しまりあり。

SK-90

1. 暗褐色土層, ローム粒子・小礫(φ0.5~3.0cm)を中量含む, 粘性・しまりあり。

SK-92

1. 暗褐色土層, ローム粒子・小礫(φ0.5~3.0cm)を中量含む, 粘性・しまりあり。

SK-93

1. 黒褐色土層, ロームブロック(φ0.5~3.0cm)を中量, ローム粒子・As-Bを少量, 焼土粒子を微量に含む, 粘性ややあり, しまりあり。

SK-94

1. 黒褐色土層, ローム粒子・ロームブロック(φ0.5~1.0cm)・小礫(φ0.5cm), As-Bを少量含む, 粘性ややあり, しまりあり。

SK-95

1. 黒褐色土層, 暗褐色土を中量, As-A・ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を少量, 焼土粒子を微量に含む, 粘性なし, しまりあり。

SK-96

1. 黒褐色土層, ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を中量, As-Aを少量, 焼土粒子・炭化物粒子・小礫(φ0.5cm)を微量に含む, 粘性ややあり, しまりあり。

SK-98

2. 黄褐色土層, ローム粒子主体層, 粘性・しまりあり。

SK-99

1. 暗褐色土層, As-Bを少量, ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)・焼土粒子を微量に含む, 粘性ややあり, しまりあり。

SK-100

2. 暗褐色土層, ローム粒子との混合層, 粘性・しまりややあり。
3. 黄褐色土層, ローム粒子主体層, 粘性・しまりあり。

SK-101

1. 暗褐色土層, 黒褐色土を中量, ローム粒子・焼土粒子を少量, ロームブロック(φ1.0cm)を微量に含む, 粘性・しまりあり。

SK-101

2. 暗褐色土層, As-Aを中量, ローム粒子・黒褐色土を少量含む, 粘性・しまりあり。

SK-101

3. 黄褐色土層, ローム粒子主体層, 暗褐色土を少量含む, 粘性・しまりあり。

第31図 土坑(2)



SK-102

1. に近い黄褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5~3.0cm)を多量、As-Aを少量含む。粘性やあり、しまりあり。
2. 暗褐色土層、As-Bを中量、ローム粒子・黒褐色土を少量、焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりややあり。
3. 黒褐色土層、黒褐色土を中量、As-A・ローム粒子・ロームブロック(φ1.0~3.0cm)を少量含む。粘性・しまりあり。

SK-103

1. 黄褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ1.0~3.0cm)との混合層。黒褐色土・As-Aを微量に含む。粘性・しまりなし。
2. 暗褐色土層、As-Aを中量、ローム粒子・黒褐色土を少量含む。粘性・しまりあり。
3. 暗褐色土層、As-A・小礫(φ0.5cm)少量含む。粘性・しまりなし。
4. ローム粒子主体層、暗褐色土を少量、As-Aを微量に含む。粘性・しまりなし。
5. に近い黄褐色土層、礫(φ0.5~10.0cm)を多量、As-Aを微量含む。粘性・しまりなし。
6. に近い黄褐色土層、ローム粒子主体層、礫(φ2.0cm)を少量含む。粘性・しまりなし。

SK-104

1. 暗褐色土層、As-Aを中量含む。粘性・しまりややあり。

SK-105

1. 暗褐色土層、ローム粒子を多量、黒褐色土を中量、ロームブロックを少量含む。粘性・しまりあり。

SK-106

1. に近い黄褐色土層、As-A・ローム粒子・ロームブロック(φ0.5~3.0cm)を中量含む。粘性やあり、しまりあり。
2. 黄褐色土層、ローム粒子と暗褐色土の混合層。粘性・しまりあり。

SK-107

1. 暗褐色土層、As-Bを中量、ローム粒子を少量含む。粘性・しまりなし。
2. 暗褐色土層、As-B・ロームブロック(φ0.5~1.0cm)を中量、小礫を少量含む。粘性・しまりなし。
3. 暗褐色土層、ローム粒子との混合層。

SK-108

1. 暗褐色土層、As-Bを中量、ローム粒子を少量含む。粘性・しまりなし。
2. 暗褐色土層、ローム粒子との混合層。粘性やあり、しまりあり。
3. 黒褐色土層、ロームブロック(φ0.5~3.0cm)・小礫を中量、ローム粒子を少量含む。粘性・しまりなし。

SK-109

1. 黒褐色土層、暗褐色土を多量、As-B・ロームブロック(φ~3.0cm)を中量、焼土粒子・炭化物粒子を微量含む。粘性・しまりなし。

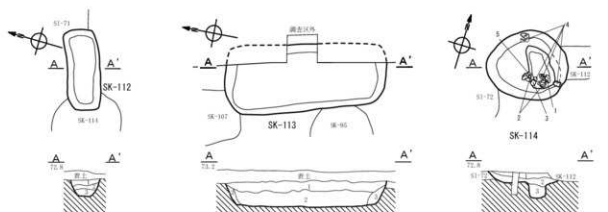
SK-110

1. 暗褐色土層、As-B・ローム粒子を少量、焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりややあり。
2. 暗褐色土層、ローム粒子・黒褐色土を中量、ロームブロック(φ0.5cm)を少量含む。粘性・しまりあり。

SK-111

1. 暗褐色土層、黒褐色土を中量、ローム粒子・ロームブロック(φ0.5cm)を少量、焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
2. 暗褐色土層、ロームブロック(φ1.0~3.0cm)を中量、黒褐色土を少量、焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりあり。
3. 暗褐色土層、ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)を中量、焼土粒子を微量に含む。粘性やあり、しまりあり。

第32図 土坑(3)



SK-112

1. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0cm)・炭化物粒子を少量含む。粘性・しまりあり。
2. 深い黄褐色土層。ロームブロック(φ1.0~3.0cm)多量。ローム粒子を中量。黒褐色土を少量含む。粘性・しまりあり。人為埋没。
3. 黄褐色土層。ローム粒子主体層。ロームブロック(φ1.0cm)・暗褐色土を少量含む。粘性・しまりあり。

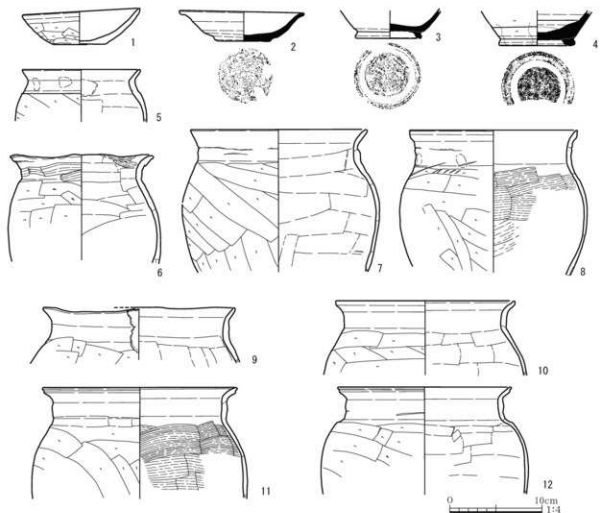
SK-113

1. 暗褐色土層。As-A・ロームブロック(φ0.5~1.0cm)・ローム粒子を少量含む。粘性・しまりややあり。
2. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0~2.0m)を少量。炭化物粒子を微量に含む。粘性・しまりややあり。
3. 褐色土層。ローム粒子を多量に含む。粘性・しまりあり。壁面崩落土層。

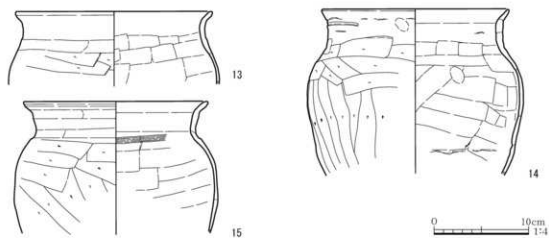
SI-114

1. 黒褐色土。黒色土を中量。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0~3.0cm)・As-Aを少量含む。粘性なし。しまりややあり。
2. 暗褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0~4.0cm)・シルト質ローム粒子との混合物。粘性あり。しまりなし。
3. 黒褐色土層。ローム粒子・ロームブロック(φ1.0~4.0cm)を少量。焼土粒子を微量に含む。粘性・しまりややなし。

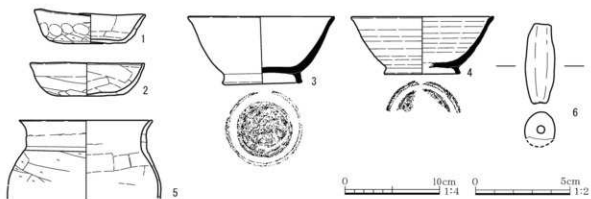
第33図 土坑(4)



第34図 SI-67 出土遺物(1)



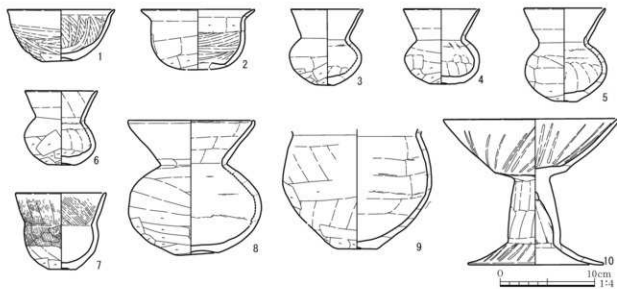
第35図 S1-67 出土遺物(2)



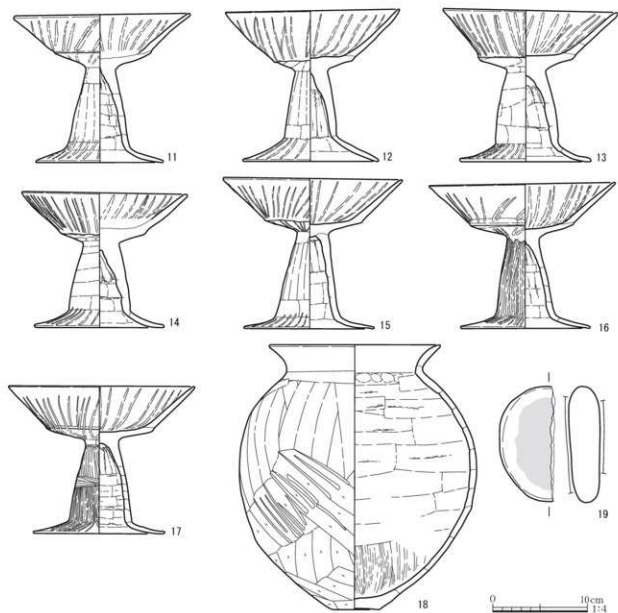
第36図 S1-68 出土遺物



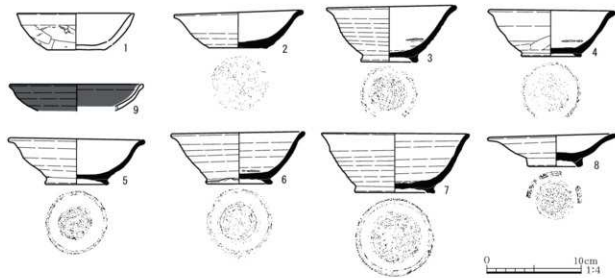
第37図 S1-69 出土遺物



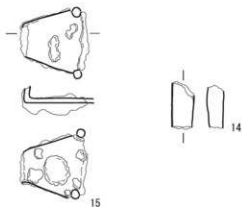
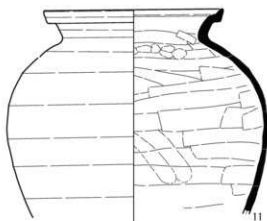
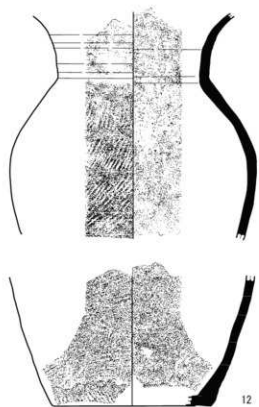
第38図 S1-70 出土遺物(1)



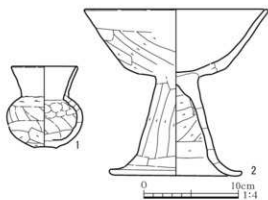
第 39 图 S1-70 出土遗物 (2)



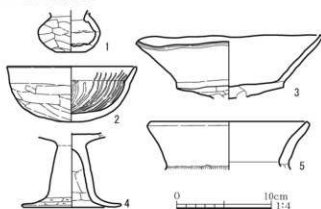
第 40 图 S1-71 出土遗物 (1)



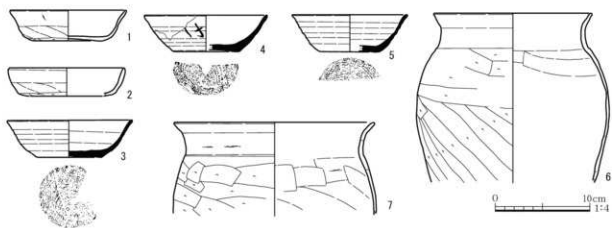
第41図 S1-71 出土遺物 (2)



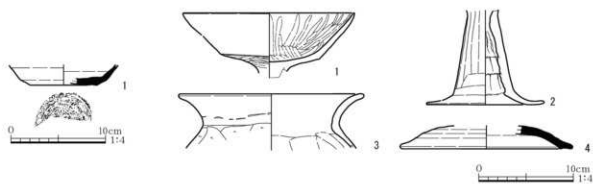
第42図 S1-72 出土遺物



第43図 S1-73 出土遺物

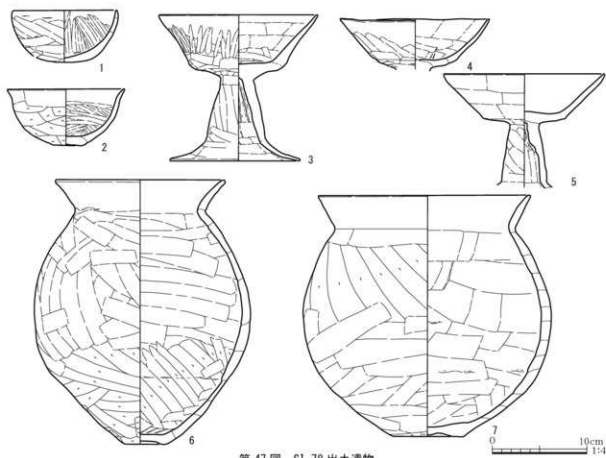


第44图 S1-74 出土遗物

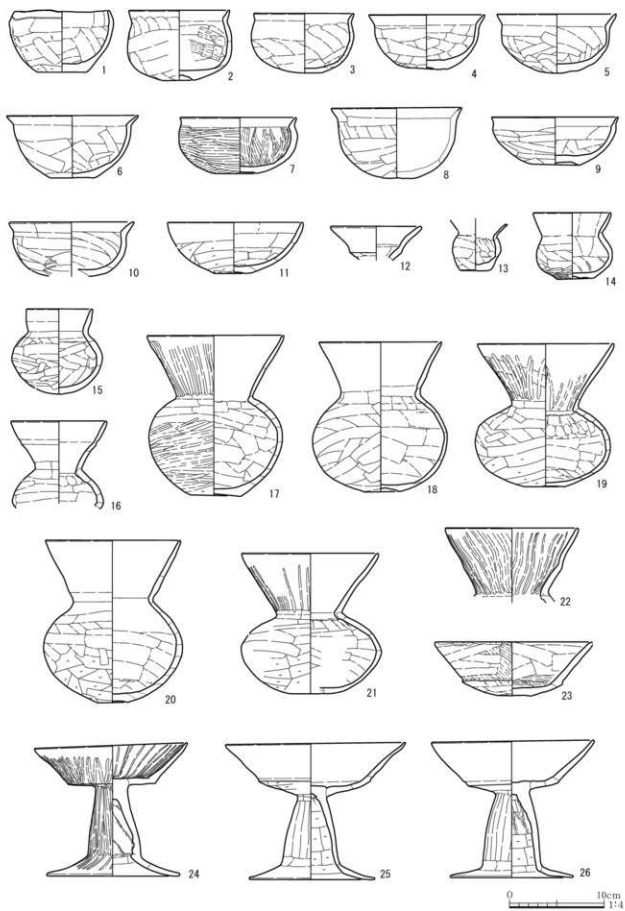


第45图 S1-75 出土遗物

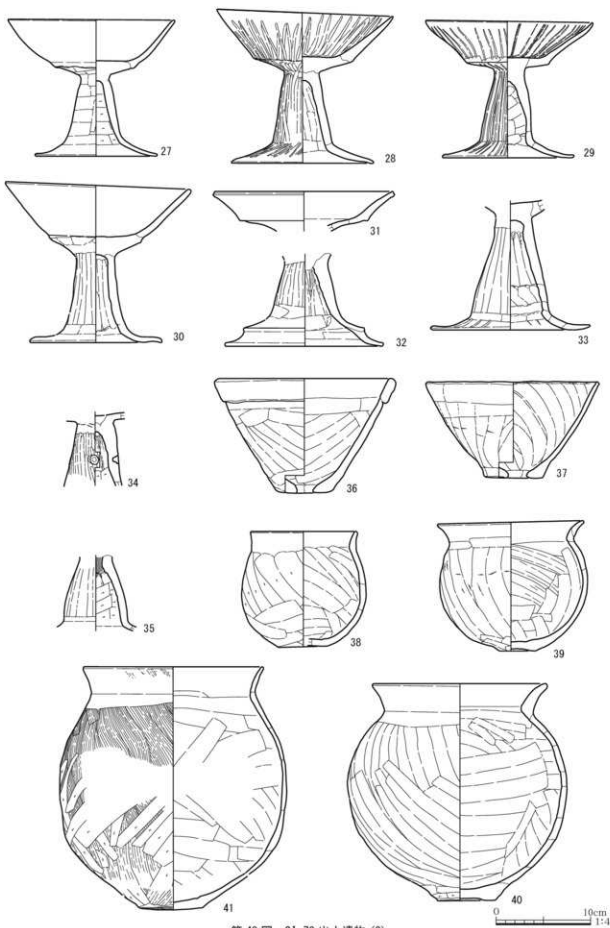
第46图 S1-76 出土遗物



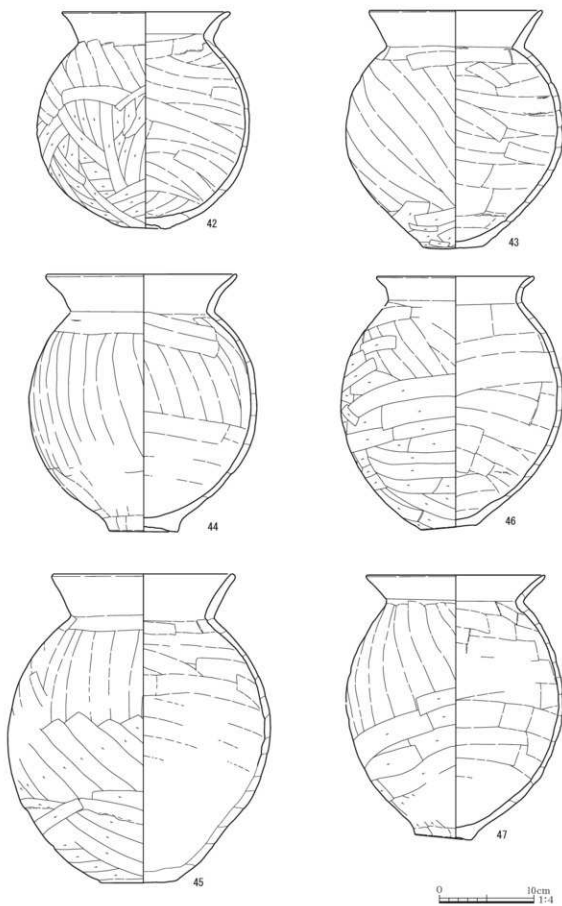
第47图 S1-78 出土遗物



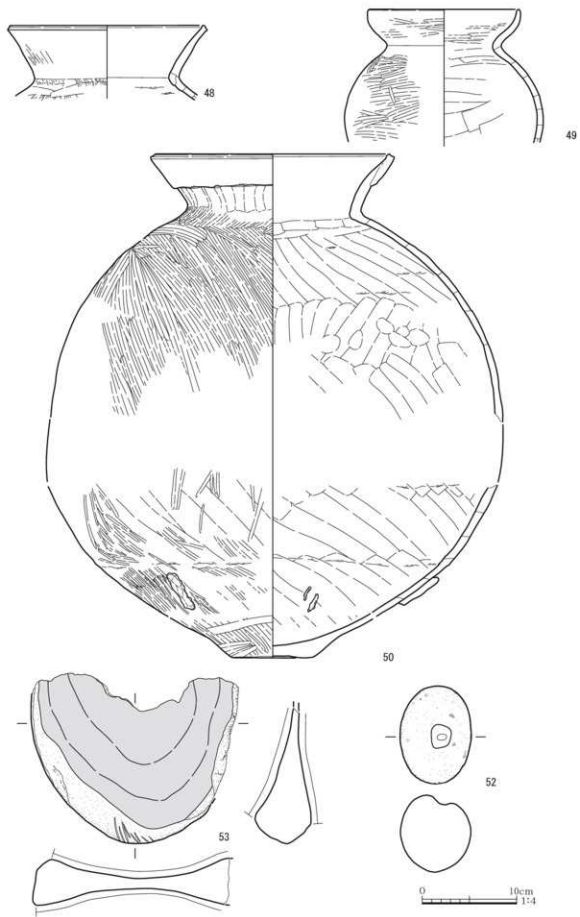
第 48 图 S1-79 出土遗物 (1)



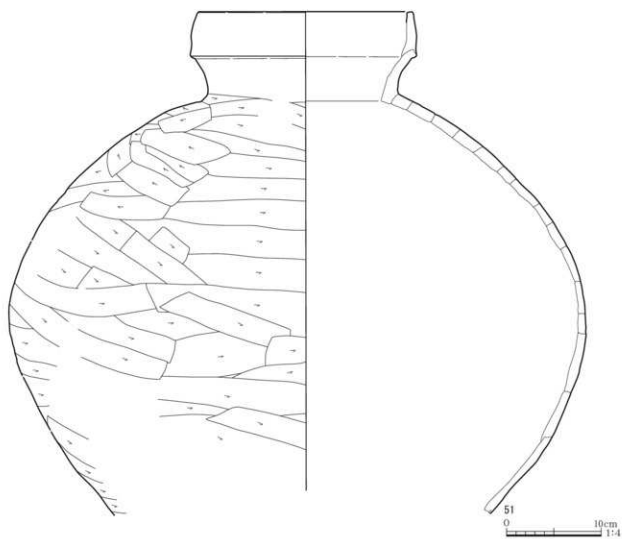
第 49 图 S1-79 出土遗物 (2)



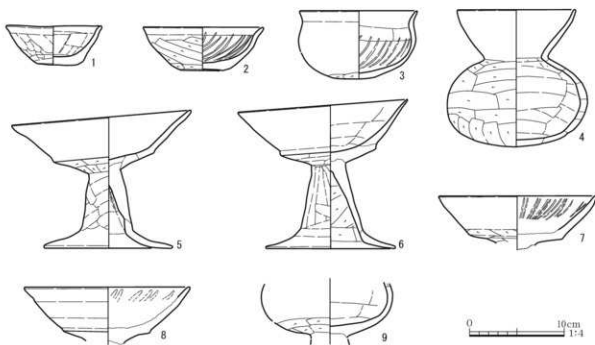
第 50 図 S1-79 出土遺物 (3)



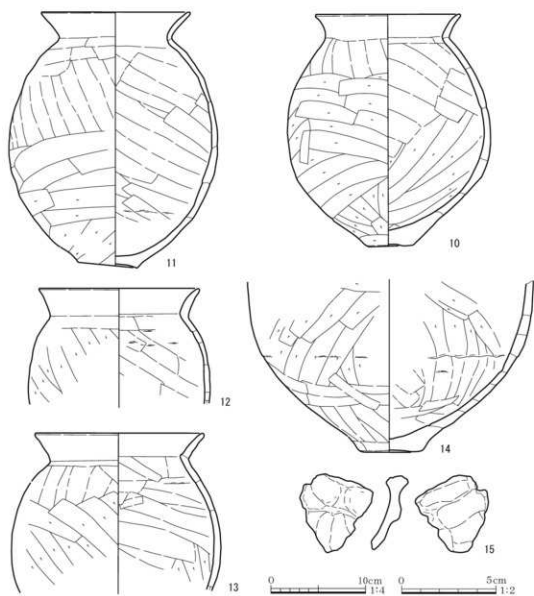
第 51 图 S1-79 出土遗物 (4)



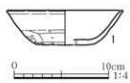
第 52 图 SI-79 出土遺物 (5)



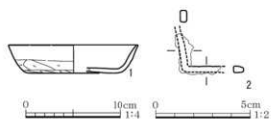
第 53 图 SI-80 出土遺物 (1)



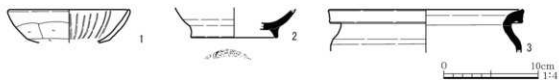
第54图 S1-80 出土遺物 (2)



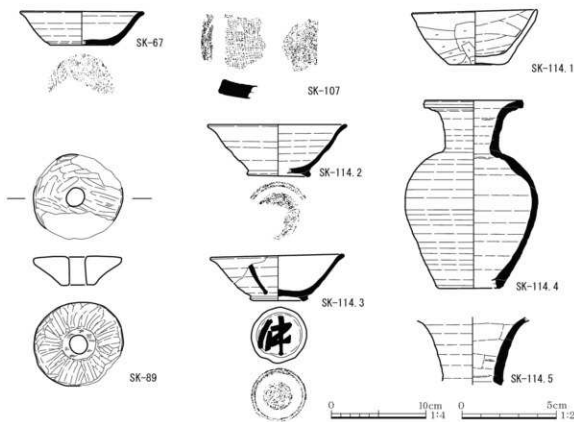
第55图 S1-82 出土遺物



第56图 S1-84 出土遺物



第57图 SD-04 出土遺物



第 58 図 土坑出土遺物

表 2 出土遺物観察表 (1)

SI-67	1	土師器 杯	A、口径 12.7、底径 5.6、器高 2.9、B、粘土組織み上げ、C、外面、体部ヨコズリ後口縁部ヨコナデ、底部ケズリ。内面、ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石・石英。E、内外一様。F、3/4、G、外面体部へ底部スス付着。内面体部帯状にスス、一部にタール状の黒色付着物。H、覆土。
	2	須恵器 皿	A、口径 13.5、底径 6.1、器高 2.1、B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。底部回転糸切り後無調整。D、角閃石・片岩・白色粒子・白色針状物質。E、内外一様。F、4/5、G、還元焼。H、貯蔵穴。
	3	須恵器 高台付埴	A、底径 7.1、残器高 3.2、B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。底部回転糸切り後高台付。D、角閃石・片岩・石英・白色粒子。E、内外一様。F、底部のみほぼ光形。G、還元焼。器面荒れ。H、カマド前。
	4	須恵器 瓶	A、底径 8.2、残器高 2.8、B、ロクロ成形。C、外面、回転ケズリ。底部回転ヘラ切り後高台付後丁寧な回転ナデ。内面、回転ナデ。D、石英・白色粒子・黒色粒子。E、内外一様。F、底部のみほぼ光形。G、還元焼。外面、内面底部に自然釉薬。H、カマド。
	5	土師器 小形甕	A、口径 (12.8)。残器高 5.7、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部ナメケズリ。内面、ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石・石英。E、内外一様。F、口縁部 1/5、H、貯蔵穴。
	6	土師器 甕	A、口径 (15.5)。残器高 11.6、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部強いヨコナデ。胴部ヨコケズリ。内面、ヨコハケ後ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石。E、内外一様。F、口縁～胴部上位 1/5、G、内外面にスス付着。H、カマド脇。
	7	土師器 甕	A、口径 19.1、残器高 15.4、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部タテケズリ後上位ナメケズリ。内面、ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石。E、内外一様。F、口縁～胴部上位 2/3、G、外面胴部粘土付着。内面胴部短直状に剥離。H、カマド内。
	8	土師器 甕	A、口径 (18.2)。残器高 15.8、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ・ヒビオサエ、胴部上位ヨコケズリ後中位ナメケズリ。内面、口縁部ヨコナデ、胴部ヨコハケ。D、白色粒子・角閃石・石英、片岩。E、内外一様。F、口縁～胴部上位 1/5、H、カマド。
	9	土師器 甕	A、口径 (20.8)。残器高 6.1、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部上位ヨコケズリ。内面、ヨコナデ。D、白色粒子・赤色粒子・石英・角閃石。E、内外一様。F、口縁～胴部上位 1/2、G、内外面にスス付着。口縁部に縦方向の輪積み痕顕著。H、貯蔵穴、覆土。
	10	土師器 甕	A、口径 (19.4)。残器高 8.0、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部上位ヨコケズリ。内面、ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石・黒色粒子。E、内外一様。F、口縁～胴部上位 1/5、H、カマド。

表3 出土遺物観察表(2)

SI-67	11	土師器 甕	A、口径(21.1)、残器高12.0、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部ナメ〜ヨコケズリ。内面、口縁部ヨコナデ、胴部ヨコハケ。D、白色粒子・角閃石・石英・片岩。E、内外一様。F、口縁〜胴部上半1/5。G、外面胴部粘土付着。内面スス付着。H、カマド前。
	12	土師器 甕	A、口径(18.8)、残器高11.6、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部ヨコケズリ。内面、ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石・石英。E、内外一様赤褐色。F、口縁部〜胴部上位1/5。G、外面胴部粘土付着。内面胴部スス付着。H、カマド前。
	13	土師器 甕	A、口径(20.8)、残器高7.7、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ。胴部ヨコケズリ後上位ヨコナデ。内面、ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石・石英。E、内〜にぶい褐色。外〜にぶい黄褐色。F、口縁〜胴部上位1/5。G、内面胴部にスス付着。H、カマド・覆土。
	14	土師器 甕	A、口径(19.8)、残器高17.5、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部タテケズリ後上位ヨコケズリ。内面、ヨコナデ一部ユビオサエ。D、角閃石・白色粒子・黒色粒子。E、内外〜にぶい黄褐色。F、口縁〜胴部中位1/5。G、外面胴部中位以下粘土付着。内面スス付着。H、カマド前。
	15	土師器 甕	A、口径(19.5)、残器高13.9、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部ナメケズリ後上位ヨコケズリ。内面、口縁部ヨコナデ、胴部ヨコナデ後上位ヨコハケ。D、白色粒子・角閃石・石英。E、内外一様。F、口縁〜胴部上半1/5。G、外面胴部粘土付着。内面胴部スス付着。H、カマド前。
SI-68	1	土師器 坏	A、口径11.7、底径6.6、器高3.7、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ・ユビオサエ、体部〜底部ケズリ。内面、ヨコナデ。D、角閃石・白色粒子・石英。E、内外一様。F、完成。G、内外面にスス及び黒色粒子付着物。H、カマド前。
	2	土師器 坏	A、口径12.1、底径6.9、器高3.5、B、粘土組織み上げ及び成型。C、外面、口縁部ヨコナデ、体部〜底部ケズリ。内面、ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石。E、内外一様赤褐色。F、ほぼ完成。H、カマド前。
	3	須恵器 高台付埴	A、口径15.5、底径8.4、器高7.2、B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ、底部回転糸切り後高台貼付。D、片岩・石英・角閃石・白色粒子。E、内一灰黄色。外〜にぶい黄。F、4/5。G、還元焼成後、内外面器面荒れ。H、カマド。
	4	須恵器 高台付埴	A、口径(15.0)、底径(8.0)、器高6.1、B、ロクロ成形。C、内外面回転ナデ、底部回転糸切り後高台貼付。D、石英・白色粒子・黒色粒子。E、内〜にぶい黄褐色。外一灰黄色。F、1/2。G、還元焼成後が酸化気味。H、カマド。
	5	土師器 小形埴	A、口径14.1、残器高8.3、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部ヨコケズリ。内面、ヨコナデ。D、角閃石・白色粒子・石英。E、内外一様。F、口縁〜胴部上位3/4。G、外面胴部二次焼成。H、カマド。
	6	土製品 土鍾	A、長4.2、幅1.5、B、手捏ね。C、内外面、ナデ。D、角閃石・白色粒子。E、褐色。F、4/5、H、覆土。
SI-69	1	須恵器 甕	A、残器高10.9、B、粘土組織み上げ後吹き整形。C、外面、平行タテキリ丁寧ナデ。内面、ヨコナデ。D、石英・白色粒子・黒色粒子。E、内外一様灰。F、底部のみ完成。G、還元焼成後、底部に焼成後穿孔。H、覆土。
SI-70	1	土師器 埴	A、口径11.4、底径3.3、器高6.5、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、体部ヨコナデ後ヨコミガキ後下位ヨコケズリ、底部ケズリ。内面、口縁部ヨコナデ、体部ヨコナデ後放射状ミガキ。D、角閃石・白色粒子。E、内外一様赤褐色。F、完成。G、内面体〜底部痕状に剥離。H、貯蔵穴。
	2	土師器 埴	A、口径(12.0)、器高6.9、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、体部ヨコケズリ後中位以上ヨコナデ。内面、口縁部ヨコナデ、体部上位ヨコケズリ中位以下ヨコミガキ。D、白色粒子・角閃石・小礫。E、内外一様赤褐色。F、1/5、H、貯蔵穴。
	3	土師器 埴	A、口径7.6、底径1.9、器高8.0、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部上半ヨコナデ後下半ヨコケズリ。底部ナデ。内面、口縁部ヨコナデ、胴部上半観察不可、下半ユビナデ。D、白色粒子・角閃石・小礫。E、内外一様赤褐色。F、完成。G、外面胴部に黒斑。H、貯蔵穴。
	4	土師器 埴	A、口径8.0、底径1.9、器高7.9、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部下半ヨコケズリ後上半ヨコナデ。底部ナデ。内面、口縁部ヨコナデ、胴部上半絞り痕・輪積痕後ナデ、下半ユビナデ。D、白色粒子・角閃石・小礫。E、内一黒斑。外〜にぶい赤褐色。F、4/5。G、内外面に黒斑。H、貯蔵穴。
	5	土師器 埴	A、口径8.6、底径2.3、器高9.9、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部ヨコケズリ後上半ヨコナデ。底部ナデ。内面、口縁部ヨコナデ、胴部上位観察不可、下位ユビナデ。D、石英・白色粒子・角閃石。E、内外〜にぶい赤褐色。F、完成。H、P1。
	6	土師器 埴	A、口径7.6、底径2.8、器高7.9、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部上半ヨコナデ後下半ヨコケズリ。内面、口縁部ナメナデ、胴部ユビナデ。D、白色粒子・角閃石。E、内外〜にぶい赤褐色。F、4/5。G、内外面に黒斑。H、覆土。

表 4 出土遺物観察表 (3)

SI-70	7	土師器 埴	A、口径9.6、底径2.9、器高8.1、B、粘土組織み上げ、C、外面、口縁部タテハケ後裾部部分的にヨコミガキ、胴部ナナメナデ後上半タテハケ下半ヨコケズリ。底部ケズリ。内面、口縁部ナナメハケ、胴部剥落。D、角閃石・白色粒子・赤色粒子。E、内外一様。F、完形。G、外面胴部に黒斑、内面胴部器面剥落。H、覆土。
	8	土師器 埴	A、口径13.4、底径4.4、器高14.3、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部ヨコケズリ後上半ヨコナデ。底部ケズリ。内面、口縁部ヨコナデ、胴部輪積痕ナデ・ユビオサニ実測不可。D、石英・白色粒子・角閃石。E、内外一赤褐。F、ほぼ完形。G、外面口縁部と内面痕痕状に剥離、外面胴部に黒斑、H、覆土上層。
	9	土師器 小形甕	A、底径4.3、残器高12.7、B、粘土組織み上げ。C、外面、胴部下位ヨコケズリ後ナナメナデ後中位ヨコケズリ。内面、ヨコナデ。D、角閃石・白色粒子・赤色粒子・石英。E、内外一明褐。F、胴～底部1/4、G、外面胴部中位帯状にスス付着。H、覆土上層。
	10	土師器 高坏	A、口径18.6、底径14.3、器高15.4、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ後放射状ミガキ、体部強いナデ、脚柱部タテナデ後裾部ヨコナデ後放射状ミガキ。内面、口縁部ヨコナデ後放射状ミガキ、脚柱部絞り直後タテナデ、裾部ヨコナデ。D、角閃石・白色粒子・石英。E、内外一様。F、ほぼ完形。G、外面口縁部に黒斑。H、貯蔵穴。
	11	土師器 高坏	A、口径18.3、底径13.4、器高15.7、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部～体部ヨコナデ後放射状ミガキ、脚柱部タテナデ後上位・裾部ヨコナデ、裾部放射状ミガキ。内面、口縁部ヨコナデ後放射状ミガキ、脚柱部絞り直後ヨコナデ、裾部ヨコナデ。D、角閃石・白色粒子・赤色粒子。E、内一明赤褐、外一明黄褐。F、完形。G、内外面黒斑。H、覆土。
	12	土師器 高坏	A、口径18.4、底径14.4、器高16.1、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ後放射状ミガキ、体部ナナメナデ、脚柱部タテナデ後下位ヨコナデ、裾部ヨコナデ後放射状ミガキ。内面、口縁部ヨコナデ後放射状ミガキ、脚柱部絞り直後タテナデ、裾部ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石・石英。E、内外一明赤褐。F、ほぼ完形。G、外面口縁部内外面黒斑。H、貯蔵穴。
	13	土師器 高坏	A、口径18.5、底径13.8、器高16.2、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ後放射状ミガキ、体部～脚柱部ヨコナデ、裾部ヨコナデ後放射状ミガキ。内面、口縁部ヨコナデ後放射状ミガキ、裾部ヨコナデ後放射状ミガキ。D、白色粒子・角閃石・小礫。E、内外一様。F、完形。H、貯蔵穴。
	14	土師器 高坏	A、口径17.5、底径13.7、器高14.4、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ後放射状ミガキ、体部ユビオサニ、脚柱部ヨコナデ、裾部ヨコナデ後放射状ミガキ。内面、口縁部ヨコナデ後放射状ミガキ、脚柱部上位絞り直下位輪積痕直後ヨコナデ、裾部ヨコナデ。D、角閃石・白色粒子・赤色粒子・石英。E、内外一様。F、ほぼ完形。G、外面口縁部に黒斑、内面体部剥落。H、貯蔵穴。
	15	土師器 高坏	A、口径18.9、底径13.8、器高16.0、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部～体部ヨコナデ後放射状ミガキ、脚柱部タテナデ後上位・下位ヨコナデ、裾部ヨコナデ後放射状ミガキ。内面、口縁部ヨコナデ後放射状ミガキ、脚柱部上位絞り直下位～裾部ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石。E、内外一明赤褐。F、ほぼ完形。G、内面体部痕痕状の剥落。H、貯蔵穴。
	16	土師器 高坏	A、口径19.6、底径13.7、器高15.4、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部～体部ヨコナデ後放射状ミガキ、脚部ヨコナデ後タテミガキ。内面、口縁部ヨコナデ後放射状ミガキ、脚部上位絞り直下位～裾部ヨコナデ。D、角閃石・白色粒子。E、内外一明赤褐。F、完形。G、外面坏部黒斑。H、貯蔵穴。
	17	土師器 高坏	A、口径19.7、底径13.9、器高15.6、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部～体部ヨコナデ後放射状ミガキ、脚部ヨコナデ後タテミガキ一部ヨコミガキ。内面、口縁部ヨコナデ後放射状ミガキ、脚柱部上位絞り直下位～裾部ヨコナデ。D、角閃石・白色粒子・赤色粒子。E、内外一明赤褐。F、ほぼ完形。G、内外面に黒色付着物。H、貯蔵穴。
	18	土師器 甕	A、口径18.1、底径6.1、器高28.0、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部タテナデ後下半部タテケズリ。底部ナデ。内面、口縁部ヨコナデ、胴部タテナデ後上半部ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石・石英。E、内一赤褐、外一にぶい黄褐。F、ほぼ完形。G、外面胴部黒斑・ススコグ、内面胴部下位帯状に剥落。H、貯蔵穴。
	19	石製品 磨石	A、長12.1、厚3.2、重322。C、両面良く研磨される。D、333。F、1/2。H、覆土。
	20	転用羽目	B、粘土組織み上げ。C、内外面ナデ。D、角閃石・白色粒子。E、内外一様。F、脚柱部破片。G、内面薄化。写真のみ。H、覆土。
SI-71	1	土師器 坏	A、口径(12.3)、底径(5.9)、器高(3.8)。B、粘土組織み上げ後型造り整形。C、外面、口縁部ヨコナデ、体部ヨコケズリ後上位ヨコナデ。底部ケズリ。内面、ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石・石英。E、内外一にぶい赤褐。F、口縁部のみ1/2。底部1/3、接点なし関上復原。G、内外面にスス付着。H、カマド。

表5 出土遺物観察表 (4)

SI-71	2	須恵器 皿	A、口径13.6、底径6.1、器高4.0、B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。底部回転糸切り後無調整。 D、角閃石・片岩・石英・白色粒子。E、内外-にふい黄緑。F、完形。G、還元焼成だが酸化気味。 H、覆土。
	3	須恵器 高台付埴	A、口径13.8、底径6.1、器高6.0、B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。底部回転糸切り後高台貼付。 D、白色粒子・石英。E、内外-灰白。F、完形。G、還元焼成。内面に溶着痕。H、覆土。
	4	須恵器 高台付埴	A、口径13.5、底径6.4、器高5.0、B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。底部回転糸切り後高台貼付。 D、石英・片岩(φ~1.0cm)・白色粒子。E、内外-灰。F、4/5。G、還元焼成。内面に溶着痕。H、覆土。
	5	須恵器 高台付埴	A、口径14.4、底径6.7、器高5.9、B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。底部、回転糸切り後高台貼付。 D、石英・白色粒子・角閃石。E、内外-黄灰。F、ほぼ完形。G、還元焼成だが酸化気味。内外面に スス付着。H、覆土。
	6	須恵器 高台付埴	A、口径14.1、底径7.0、器高5.3、B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。底部回転糸切り後高台貼付。 D、白色粒子・石英・片岩・角閃石。E、内-黄灰。外-黄灰。F、完形。G、還元焼成だが酸化気味。 内面に溶着痕。H、カマド。
	7	須恵器 高台付埴	A、口径15.6、底径8.4、器高6.3、B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。底部回転糸切り後高台貼付。 D、石英・片岩・白色粒子・角閃石。E、内外-灰黄。F、完形。G、還元焼成。外面体部下位~底 面にスス付着。H、覆土。
	8	須恵器 高台付皿	A、口径13.5、底径(5.3)、器高3.4、B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。底部回転糸切り後高台貼付。 D、石英・角閃石・白色粒子。E、内外-にふい黄。F、1/2。G、還元焼成だが酸化気味。H、カマド。
	9	灰釉陶器 皿	A、口径(14.1)、残器高2.8、B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。D、黒色粒子。E、内外-灰白。 F、口縁部1/2。G、外面灰釉塗け掛。H、覆土。
	10	須恵器 甗	A、口径(30.3)、底径18.1、器高28.7、B、ロクロ成形。C、外面、ロクロナデ後凸形貼付。一部ニ ピオサエ。内面ニピオサエ後回転ナデ。D、白色粒子・石英(φ~1.0cm)。E、内外-灰。F、2/3。 G、還元焼成。胴部下位に未貫通の焼成前穿孔4孔残存。6孔3対が。H、カマド脇・カマド・覆土・ SK-114覆土・SK-112覆土。
	11	須恵器 壺	A、口径(19.0)、残器高21.6、B、粘土締積み上げ後ロクロ成形。C、外面、回転ナデ。内面、ヨコナ デとニピオサエ。D、石英・片岩(φ0.5~1.0cm)・白色粒子。E、内外-灰。F、口縁部~胴部中位 1/4。G、還元焼成。H、カマド脇。
	12	須恵器 壺	A、底径(16.0)。B、粘土締積み上げ後ロクロ成形。C、外面、口縁部回転ナデ、胴部平行タタキ。内面、 口縁部回転ナデ、胴部ナデ。D、片岩(φ~1.0cm)・石英・白色針状物質・白色粒子。E、内外-灰。F、口 縁部~胴部中位1/4、胴部下位~底部1/5、接点なし図上復原。G、還元焼成。外面口縁部~胴部に自然 釉。H、カマド脇。
	13	須恵器 壺	A、残器高16.1、B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。D、白色粒子・石英。E、内-黄灰。外-灰緑。 F、肩~胴部中位1/4。G、還元焼成。外面肩部に自然釉。H、カマド脇。
	14	石製品 砥石	A、残長3.1、幅2.3、厚1.7、重30.78g。C、全面より研磨される。D、流紋岩。E、内外-灰白。F、1/3。 G、黒色付着物。H、覆土。
	15	金属製品 不明	A、残長3.5、幅1.9~3.2、厚0.3、重11.15g。F、不明。G、端部2か所に円形孔。H、覆土。
	SI-72	1	土師器 埴
土師器 高坏		A、口径(19.4)、底径(13.9)。B、粘土締積み上げ。C、外面、体部ナメナデ後口縁部ヨコナデ、 胴部タケケズリ後下位~胴部ヨコナデ。内面、口縁部ヨコナデ、胴部ヨコズリ。裾部ヨコナデ。D、白 色粒子・角閃石・石英。E、内外-明赤褐。F、口縁部1/5、胴部3/4、接点なし図上復原。G、外面胴 部スス及び粘土付着。内面胴部スス付着。H、覆土。	
SI-73	1	土師器 埴	A、底径2.9、残器高4.4、B、粘土締積み上げ。C、外面、胴部強いヨコナデ。内面、胴部上半尖削不 可下半ナデ。D、角閃石・白色粒子。E、内外-橙。F、胴部のみ完形。G、外面胴部下位黒面。H、覆土。
	2	土師器 埴	A、口径13.7、器高4.9、B、粘土締積み上げ。C、外面、ヨコナデ。内面、ヨコナデ後放射状タケガキ。D、片 岩・石英・白色粒子。E、内外-明赤褐。F、4/5。G、外面体部に黒色付着物一痕痕状に剥落。H、覆土。
	3	土師器 高坏	A、口径19.3、残器高6.7、B、粘土締積み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、体部ニピオサエ後ヨコナデ。 内面、ヨコナデ。D、角閃石・白色粒子。E、内外-明赤褐。F、坏部3/4。G、内外面口縁部にスス付着。 H、覆土。
	4	土師器 高坏	A、底径(10.5)、残器高7.9、B、粘土締積み上げ。C、外面、胴部ナメナデ、裾部ヨコズリ。内面、 ヨコナデ。D、石英・角閃石・白色粒子。E、内-にふい黄。外-橙。F、胴部1/4。G、内外面器部荒れ。 H、覆土。

表6 出土遺物観察表(5)

SI-73	5	土師器 壺	A、口径17.1。残器高3.1。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、頸部タテハケ、内面、口縁部ヨコナデ。D、片岩・石英・角閃石・白色粒子。E、内外-赤褐色。F、口縁部のみ2/3。G、内外面に黒色付着物。H、覆土。
SI-74	1	土師器 杯	A、口径(12.3)。底径8.0。器高3.3。B、型造り成形。C、外面、体部ナメナデ後口縁部ヨコナデ、底部ケズリ。内面、ヨコナデ。D、角閃石・白色粒子。E、内外-にぶい褐色。F、1/2。G、内外面に薄くスス付着。H、カマド。
	2	土師器 杯	A、口径(12.3)。残器高3.0。B、型造り成形。C、外面、体部ナメナデ後口縁部ヨコナデ、底部ケズリ。内面、ヨコナデ。D、角閃石・白色粒子。E、内外-にぶい褐色。F、口縁-体部1/4。G、内外面にスス付着。H、カマド・覆土。
	3	須恵器 杯	A、口径(13.2)。底径6.7。器高3.9。B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。底部回転糸切り後無調整。D、片岩・石英・角閃石・白色粒子。E、内外-にぶい褐色。F、1/2。G、還元焼成だが酸化気味。内外面器面荒れ。H、カマド・覆土。
	4	須恵器 杯	A、口径(13.0)。底径(7.1)。器高3.9。B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。底部回転糸切り後無調整。D、角閃石・石英・白色粒子。E、内外-灰黄。F、1/5。G、還元焼成。外面口縁部に墨書あり。H、覆土・カマド。
	5	須恵器 杯	A、口径(12.2)。底径(6.1)。器高3.9。B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。底部回転糸切り後無調整。D、片岩・石英・角閃石・白色粒子・白色針状物質。E、内外-灰。F、1/5。G、還元焼成。H、覆土。
	6	土師器 甕	A、口径(16.7)。残器高17.9。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部タテ柄り後上位ヨコケズリ。内面、ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石・石英。E、内外-赤褐色。F、口縁-胴部上半1/4。G、内外面スス・黒色付着物。H、カマド・覆土。
	7	土師器 甕	A、口径(21.1)。残器高9.7。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部ヨコケズリ。内面、ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石・石英。E、内-にぶい褐色。外-褐色。F、口縁部破片。G、外面胴部黒斑・ヨゴレ。H、カマド。
SI-75	1	須恵器 杯	A、底径(7.0)。残器高2.1。B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。底部回転糸切り後無調整。D、石英・白色粒子・角閃石・片岩・白色針状物質。E、内外-灰黄。F、底部1/3。G、還元焼成。H、覆土。
SI-76	1	土師器 高杯	A、口径(18.)。残器高6.9。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、体部ヨコナデ後ヨコミガキ。内面、ヨコナデ後放射状ミガキ。D、白色粒子・角閃石。E、内外-明赤褐色。F、杯部1/2。G、外面口縁部スス・黒斑、内面口縁部黒斑。H、覆土。
	2	土師器 高杯	A、底径(12.4)。残器高10.1。B、粘土組織み上げ。C、外面、脚柱部タテナデ後下位～裾部ヨコナデ。内面、脚柱部上半絞り痕下半～裾部ヨコナデ。D、角閃石・白色粒子・石英。E、内外-明褐色。F、脚部のみ2/3。G、外面黒斑・スス、内面黒斑。H、覆土。
	3	土師器 甕	A、口径(19.1)。残器高5.7。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部上位ヨコケズリ。内面、ヨコナデ。D、石英・白色粒子・角閃石。E、内外-明赤褐色。F、口縁部1/5。G、頸部に工具のアタリ顕著。H、覆土。
	4	須恵器 杯蓋	A、底径(18.2)。残器高2.4。B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。D、片岩・石英・白色針状物質。E、内外-灰。F、口縁部1/5。G、還元焼成。H、覆土。
SI-78	1	土師器 埴	A、口径(11.1)。器高3.5。B、粘土組織み上げ。C、外面、ケズリ後ヨコナデ。内面、ヨコナデ後タテミガキ。D、角閃石・石英・白色粒子。E、内外-明赤褐色。F、1/2。G、内外面に黒斑。H、覆土。
	2	土師器 埴	A、口径12.4。底径3.2。器高6.0。B、粘土組織み上げ。C、外面、体部ヨコケズリ後口縁部ヨコナデ、底部ケズリ。内面、ヨコナデ後体部ヨコミガキ。D、角閃石・白色粒子・石英。E、内外-明赤褐色。F、ほぼ定形。H、覆土。
	3	土師器 高杯	A、口径15.8。底径13.7。器高15.4。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ後タテミガキ、体部ヨコナデ、脚柱部タテナデ後裾部ヨコナデ。内面、口縁部ヨコナデ、脚柱部上半絞り痕下半～裾部ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石・石英。E、内外-明赤褐色。F、4/5。G、内面内部に黒色付着物。H、カマド支脚。
	4	土師器 高杯	A、口径15.8。残器高3.0。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ後下位ナメナデ後体部ヨコナデ。内面、ヨコナデ。D、角閃石・白色粒子・黒色粒子。E、内外-褐色。F、4/5。G、内外面に黒色付着物。H、カマド・覆土。
	5	土師器 高杯	A、口径(17.1)。残器高12.1。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁-体部ヨコナデ、脚柱部ナメナデ後下位～裾部ヨコナデ。内面、口縁部ヨコナデ、脚柱部上半絞り痕下半タテナデ。D、白色粒子・石英・角閃石。E、内外-明赤褐色。F、口縁-脚柱部1/3。H、カマド。

表7 出土遺物観察表(6)

SI-78	6	土師器 甕	A、口径18.0、底径4.4、器高28.0、B、粘土組織み上げ、C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部下半ナメケズリ後上半タテ〜ナメナメダ、底部ケズリ、内面、口縁部〜胴部ヨコナデ後胴部下位タテケズリ、D、石英・片岩・角閃石・白色粒子・赤色粒子、E、内外-明赤褐色、F、4/5、G、外面胴部黒底、H、カマド・覆土。
		土師器 甕	A、口径(22.4)、底径7.5、器高25.5、B、粘土組織み上げ、C、外面、口縁部口縁部ヨコナデ、胴部タテケズリ後上位・下位ヨコナデ、底部ケズリ、内面、ヨコナデ、D、石英・片岩・白色粒子・角閃石、E、内外-にぶい黄褐色、F、2/3、G、外面胴部中心位巻状にスス、H、貯蔵穴脇ピット。
SI-79	1	土師器 埴	A、口径10.1、底径5.1、器高6.6、B、粘土組織み上げ後型塑造り成形、C、外面、口縁部ヨコナデ、体部ヨコナデ後下位ヨコケズリ、底部ケズリ、内面、体部ナメナメダ後口縁部ヨコナデ、D、角閃石・白色粒子・石英、E、内外-にぶい赤褐色、F、完形、G、外面体部下位内面口縁部に巻状にスス、H、床直。
		土師器 埴	A、口径(10.7)、底径(3.2)、器高7.4、B、粘土組織み上げ、C、外面、口縁部ヨコナデ後体部タテナデ後下半ヨコナデ、底部ナデ、内面、口縁部ヨコナデ、体部ヨコナデ、D、白色粒子・黒色粒子・石英・赤色粒子、E、内外-褐色、F、1/3、H、覆土。
	2	土師器 埴	A、口径10.6、器高6.3、B、粘土組織み上げ、C、外面、体部ナメナメダ後口縁部ヨコナデ、内面、口縁部ヨコナデ後体部ナメナメダ、D、白色粒子・石英・角閃石、E、内外-暗赤褐色、F、2/3、G、内外面黒底、内面黒色付着物、H、貯蔵穴内。
		土師器 埴	A、口径12.3、底径2.7、器高5.8、B、粘土組織み上げ、C、外面、口縁部ヨコナデ、体部ケズリ後ヨコナデ、底部ケズリ、内面、ヨコナデ、D、石英・角閃石・白色粒子、E、内外-にぶい赤褐色、F、4/5、G、外面黒色付着物、H、貯蔵穴内。
	3	土師器 埴	A、口径12.5、器高6.3、B、粘土組織み上げ、C、外面、口縁部ヨコナデ、体部タテ〜ナメナメダ、内面、口縁部ヨコナデ、体部ナメナメダ、D、白色粒子・角閃石・石英、E、内外-にぶい褐色、F、完形、G、内外面黒底、H、貯蔵穴上層。
		土師器 埴	A、口径13.9、底径4.5、器高6.6、B、粘土組織み上げ、C、外面、口縁部ヨコナデ、体部ナメナメ〜ヨコナデ、底部ナデ、内面、口縁部ヨコナデ、体部ヨコナデ後ナメナメダ、D、石英・チャート・白色粒子・角閃石、E、内外-にぶい赤褐色、F、ほぼ完形、G、外面底面状(φ≒1.5cm)の割落、H、貯蔵穴上層。
	4	土師器 埴	A、口径12.3、底径4.6、器高5.9、B、粘土組織み上げ、C、外面、口縁部ヨコナデ、体部ヨコミガキ、底部ケズリ、内面、口縁部ヨコナデ、体部ヨコナデ後タテミガキ、D、白色粒子・角閃石・石英、E、内外-暗赤褐色、F、完形、G、内外面に黒底、H、覆土。
		土師器 埴	A、口径13.8、器高7.4、B、粘土組織み上げ、C、外面、口縁部ヨコナデ、体部タテナデ後下半ヨコナデ、内面、器面剥落、D、白色粒子・角閃石・石英・片岩、E、内外-赤褐色、F、3/4、G、外面黒色付着物(漆か)、内面体部器面剥落、H、覆土。
	5	土師器 埴	A、口径13.3、底径5.0、器高5.1、B、粘土組織み上げ、C、外面、ヨコナデ、底部ナデ、内面、体部ナメナメダ後口縁〜胴部ヨコナデ、D、白色粒子・角閃石・片岩・石英、E、内外-赤褐色、F、完形、G、外面体部にスス、H、覆土。
		土師器 埴	A、口径13.2、残器高6.7、B、粘土組織み上げ、C、外面、口縁部ヨコナデ、体部ナメナメダ後部分的にミガキ、内面、口縁部ヨコナデ、体部ナメナメダ、D、白色粒子・石英・角閃石、E、内外-褐色、F、4/5、G、外面体部に黒底、H、貯蔵穴上層。
6	土師器 埴	A、口径(14.3)、底径3.3、器高5.4、B、粘土組織み上げ、C、外面、体部ヨコケズリ後口縁部ヨコナデ、底部ケズリ、内面、ヨコナデ、D、角閃石・白色粒子、E、内外-赤褐色、F、1/3、G、内外面体部黒底、H、覆土。	
	土師器 埴	A、口径(9.6)、残器高3.6、B、粘土組織み上げ、C、内外面、口縁部ヨコナデ、D、角閃石・白色粒子、E、内外-褐色、F、口縁部の1/2、H、覆土。	
7	土師器 埴	A、底径3.0、残器高4.9、B、粘土組織み上げ、C、外面、ナデ、内面、ユビナデ、D、石英・白色粒子・角閃石、E、内外-明赤褐色、F、3/4、H、覆土。	
	土師器 埴	A、口径8.2、底径3.8、器高7.0、B、粘土組織み上げ、C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部ナメナメダ・下位タテハケ後中位ヨコナデ、ヨコミガキ、底部ナデ、内面、口縁部ヨコナデ、胴部ナメナメダ、D、白色粒子・角閃石、E、内外-褐色、F、ほぼ完形、G、内外面にスス付着、H、貯蔵穴上層。	
8	土師器 埴	A、口径7.0、器高9.0、B、粘土組織み上げ、C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部ナメナメダ後下半ヨコナデ、内面、口縁部ヨコナデ、胴部ナメナメダ、D、石英・白色粒子・角閃石、E、内外-褐色、F、ほぼ完形、G、内外面黒底・スス、H、覆土。	
	土師器 埴	A、口径10.1、残器高8.7、B、粘土組織み上げ、C、外面、ヨコナデ、内面、口縁部ヨコナデ、胴部下位ユビオサエ後ヨコナデ、D、白色粒子・角閃石・石英、E、内外-明赤褐色、F、口縁〜胴部上半4/5、G、内外面口縁部、胴部にスス付着、内面ススと同範囲に底面状の割落、H、覆土。	

表 8 出土遺物観察表 (7)

SI-79	17	土師器 埴	A. 口径 14.4, 底径 5.2, 器高 17.2, B. 粘土組織み上げ, C. 外面, 口縁部ヨコナゲ後タテミガキ, 胴部ヨコナゲ後中位以下ヨコミガキ, 底部ケズリ後ナダ。内面, ヨコナゲ, D. 白色粒子・角閃石・石英, E. 内-赤褐, 外-にぶい赤褐, F. 2/3, G. 外面口縁部帯状にスス, 外面胴部・内面口縁部器面荒れ, H. 貯蔵穴上層。
	18	土師器 埴	A. 口径 12.8, 底径 3.6, 器高 15.9, B. 粘土組織み上げ, C. 外面, 口縁部ヨコナゲ, 胴部横へナメナゲ, 底部ナダ。内面, 口縁部ヨコナゲ, 胴部上位ユビオサエ後ヨコナゲ, D. 角閃石・白色粒子, E. 内-橙, 外-明赤褐, F. 4/5, G. 外面胴部下半帯状にスス, H. 貯蔵穴上層。
	19	土師器 埴	A. 口径 14.4, 底径 4.2, 器高 15.1, B. 粘土組織み上げ, C. 外面, 口縁部ヨコナゲ後放射状ミガキ, 胴部ナメナゲ後上位ヨコナゲ・下半ヨコケズリ, 底部ナダ。内面, 口縁部ヨコナゲ後放射状ミガキ, 胴部上位ユビオサエ下半ヨコナゲ, D. 白色粒子・石英・角閃石, E. 内外-明赤褐, F. 4/5, G. 外面胴部上位黒底, 内面口縁部器面荒れ, H. 貯蔵穴上層。
	20	土師器 埴	A. 口径 14.3, 底径 3.2, 器高 17.2, B. 粘土組織み上げ, C. 外面, 口縁部ヨコナゲ, 胴部下半ヨコケズリ後上半ヨコナゲ後ナメナゲ, 底部ナダ。内面, 口縁部ヨコナゲ, 胴部上位実測不可, 下半ヨコナゲ, D. 角閃石・白色粒子, E. 内外-橙, F. 完形, G. 外面胴部, 内面口縁部に黒底, H. 貯蔵穴周辺。
	21	土師器 埴	A. 口径 14.4, 残器高 14.9, B. 粘土組織み上げ, C. 外面, 口縁部ヨコナゲ後放射状ミガキ, 胴部ヨコケズリ後上位ヨコナゲ, 内面, 口縁部ヨコナゲ, 胴部上位絞り痕後ヨコナゲ, D. 白色粒子・角閃石・石英, E. 内-橙, 外-赤褐, F. 2/3, G. 外面胴部下半帯状にスス, H. カマド前。
	22	土師器 埴	A. 口径 14.1, 残器高 7.2, B. 粘土組織み上げ, C. 外面, 口縁部ヨコナゲ後タテミガキ, 内面, ヨコナゲ後放射状ミガキ, D. 角閃石・白色粒子, E. 内外-明赤褐, F. 口縁部のみ完形, G. 内外面に黒底, H. 貯蔵穴周辺。
	23	土師器 鉢	A. 口径 16.6, 底径 3.1, 器高 5.7, B. 粘土組織み上げ, C. 外面, 口縁部ナメナゲ後ヨコナゲ, 体部ヨコナゲ, 底部強いナダ。内面, 口縁部ヨコナゲ, 体部ハケ, D. 白色粒子・石英・角閃石, E. 内外-橙, F. 3/4, G. 外面にスス付着, H. 覆土。
	24	土師器 高坏	A. 口径 16.1, 底径 14.1, 器高 14.1, B. 粘土組織み上げ, C. 外面, 口縁部ヨコナゲ後放射状ミガキ, 胴部ヨコナゲ後タテミガキ, 内面, 口縁部ヨコナゲ後放射状ミガキ, 脚柱部上半強シユビナゲ後下位へ裾部ヨコナゲ, D. 白色粒子・角閃石・石英, E. 内外-赤褐, F. 4/5, G. 内面脚部以外スス付着, 内外面に粘土付着, H. 覆土。
	25	土師器 高坏	A. 口径 (18.9), 底径 (13.3), 器高 14.5, B. 粘土組織み上げ, C. 外面, 口縁部ヨコナゲ, 体部ヨコケズリ, 脚柱部タテナゲ後胴部ヨコナゲ。内面, 口縁部ヨコナゲ, 脚柱部へ裾部ヨコケズリ後下位ヨコナゲ, D. 白色粒子・石英・片岩, E. 内外-明赤褐, F. 1/2, G. 内面体部器面荒れ, H. 貯蔵穴内。
	26	土師器 高坏	A. 口径 17.1, 底径 13.0, 器高 14.6, B. 粘土組織み上げ, C. 外面, 口縁へ体部ヨコナゲ, 脚柱部タテナゲ後下位へ裾部ヨコナゲ, 内面, 口縁部ヨコナゲ, 脚柱部上半絞り痕後下半ヨコケズリ, 裾部ヨコナゲ, D. 角閃石・白色粒子, E. 内外-赤褐, F. 完形, G. 外面スス, 内面坏部黒底, H. 覆土。
	27	土師器 高坏	A. 口径 17.6, 底径 12.9, 器高 14.5, B. 粘土組織み上げ, C. 外面, 口縁へ体部ヨコナゲ, 脚部ヨコナゲ, 内面, 口縁部ヨコナゲ, 脚柱部ヨコケズリ, 裾部ヨコナゲ, D. 角閃石・白色粒子・片岩, E. 内外-明赤褐, F. 完形, G. 内外面黒底, 内面坏部器面荒れ, H. 貯蔵穴周辺。
	28	土師器 高坏	A. 口径 (18.6), 底径 (13.1), 器高 16.3, B. 粘土組織み上げ, C. 外面, 口縁部ヨコナゲ後放射状ミガキ, 脚部ヨコナゲ後タテミガキ, 内面, 口縁部ヨコナゲ後放射状ミガキ, 体部ヨコナゲ後ミガキ, 脚柱部タテナゲ後下位へ裾部ヨコナゲ, D. 白色粒子・角閃石, E. 内外-赤褐, F. 1/2, G. 内外面に黒色付着物, H. 覆土。
	29	土師器 高坏	A. 口径 17.7, 底径 13.9, 器高 14.6, B. 粘土組織み上げ, C. 外面, 口縁部ヨコナゲ後放射状ミガキ, 脚部ヨコナゲ後放射状ミガキ, 内面, 口縁部ヨコナゲ後放射状ミガキ, 脚部ヨコナゲ, D. 白色粒子・角閃石・石英, E. 内-赤褐, 外-にぶい赤褐, F. 4/5, G. 外面脚部内面坏部裾部スス, 内面坏部黒色付着物, H. カマド転用支脚。
	30	土師器 高坏	A. 口径 (19.6), 底径 (14.0), 器高 17.1, B. 粘土組織み上げ, C. 外面, 口縁部ヨコナゲ, 脚柱部タテナゲ後下位へ裾部ヨコナゲ, 内面, 口縁部ヨコナゲ, 脚柱部タテナゲ, 裾部ヨコナゲ, D. 角閃石・片岩・白色粒子, E. 内外-橙, F. 1/3, G. 外面坏部内面脚柱部にスス付着, H. 貯蔵穴上層。
	31	土師器 高坏	A. 口径 (19.2), 残器高 4.2, B. 粘土組織み上げ, C. 内外面, ヨコナゲ, D. 角閃石・白色粒子, E. 内外-橙色, F. 口縁部 1/4, H. 覆土。
	32	土師器 高坏	A. 底径 16.3, 残器高 10.0, B. 粘土組織み上げ, C. 外面, 胴中部タテナゲ後下位へ裾部ヨコナゲ, 脚柱部上半絞り痕後下位へ裾部ヨコナゲ, D. 白色粒子・角閃石, E. 内外-赤褐, F. 脚部のみ 3/4, G. 内外面に黒色付着物, H. 貯蔵穴周辺。

表 10 出土遺物観察表 (9)

SI-79	49	土師器 壺	A、口径(16.1)。残器高4.1。B、粘土組織み上げ。C、外面、ヨコナデ後ヨコミガキ。内面口縁部ヨコナデ後ヨコミガキ、胴部ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石・片岩。E、内外一様。F、口縁～胴部上半1/5。G、外面口縁と胴部に黒斑。H、覆土。
	50	土師器 大形壺	A、口径25.6。底径(8.4)。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部折り返し、肩部タテナデ後タテミガキ、胴部ナナメミガキ。胴部下半ナメナデ後タテミガキ、底部ナデ。内面、口縁～肩部ヨコナデ、胴部ナメナデ。D、石英・片岩・角閃石・白色粒子。E、内外一明赤褐色。F、口縁～胴部上位1/4、胴下位～底部1/5。接点なし。G、外面胴部に黒斑。胴部下半に粘土色を付付した補修痕あり。H、貯蔵穴上層。
	51	土師器 大形壺	A、口径23.2。残器高53.2。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部ヨコナズリ。内面、口縁部ヨコナデ、胴部ヨコナデとヨコナズリ剥落層しい。D、石英・白色粒子・角閃石・片岩。E、内外一にぶい黄褐色。F、口縁～胴部下位4/5。G、外面胴部に黒斑。内面胴部器面剥落。図上復原H、カマド脇。
	52	石製品 磁石	A、長10.4。幅7.5。厚8.0。重857。C、中央に凹み。上部面やや磨滅、下部面敲打痕あり。D、安山岩。F、完形。H、床面直上。
	53	石製品 冴石	A、残長15.0。残幅20.8。厚0.7～5.9。重1700。C、両面磨粒。下部部に刃痕あり。D、砂岩。F、1/2。H、覆土。
SI-80	1	土師器 埴	A、口径10.1。底径4.3。器高4.2。B、粘土組織み上げ。C、外面、体部タテナデ後口縁部ヨコナデ、底部ナデ。内面、ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石。E、内外一明赤褐色。F、ほぼ完形。G、内外面に黒斑。H、覆土。
	2	土師器 埴	A、口径(12.4)。器高7.2。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁～体部ナデ。内面、口縁部ヨコナデ、体部ヨコナデ後放射状ミガキ。D、角閃石・白色粒子。E、内外一赤褐色。F、1/3。G、外面・内面口縁部応変状の剥離。H、覆土。
	3	土師器 埴	A、口径12.7。底径4.4。残器高4.6。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、体部ヨコナメケズリ、底部ケズリ。内面、口縁部ヨコナデ。体部ヨコナデ後放射状ミガキ。D、白色粒子・角閃石・片岩。E、内外一にぶい赤褐色。F、4/5。G、外面体部に黒斑。H、覆土。
	4	土師器 埴	A、口径12.5。器高14.5。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部ヨコナズリ後下位タテケズリ。内面、ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石・石英。E、内外一にぶい赤褐色。F、4/5。G、外面口縁部黒斑、内外外面部粘土付着とヨコシ。H、カマド前。
	5	土師器 高坏	A、口径19.0。底径13.6。器高14.6。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、体部ケズリ、脚柱部ナメナデ。裾部ヨコナデ。内面、口縁部ヨコナデ、脚柱部収り痕後強いヨコナデ、裾部ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石。E、内外一明赤褐色。F、ほぼ完形。G、内外外面口縁部黒斑、内面内部器面荒れ。H、カマド転用支脚。
	6	土師器 高坏	A、口径17.9。底径13.7。器高15.8。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁～体部ヨコナデ、脚柱部タテナデ後裾部ヨコナデ。内面、口縁～体部ヨコナデ、脚柱部上半ナメケズリ後下位ヨコナズリ、裾部ヨコナデ。D、白色粒子・片岩・角閃石。E、内外一赤褐色。F、完形。G、外面口縁部と裾部・内面裾部に黒斑。H、覆土上層。
	7	土師器 高坏	A、口径16.6。残器高5.6。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ナメケズリ後ヨコナデ、体部ナデ。内面、ヨコナデ後放射状ミガキ。D、白色粒子・角閃石・石英。E、内外一明赤褐色。F、坏部のみ完形。G、内外外面ヨコシ。内面外部器面剥離。H、貯蔵穴内。
	8	土師器 高坏	A、口径17.4。残器高6.1。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁～体部ヨコナデ。内面、ヨコナデ後放射状ミガキ。D、白色粒子・角閃石・片岩。E、内外一赤褐色。F、坏部のみ完形。G、内面体部器面剥離及び黒色付着物あり。H、カマド転用支脚。
	9	土師器 高坏	A、残器高5.7。B、粘土組織み上げ。C、外面、体部ヨコナデ後下位ヨコナズリ。内面、ヨコナデ。D、角閃石・白色粒子。E、内外一明赤褐色。F、体部のみ4/5。G、内外外面ヨコシ。H、カマド。
	10	土師器 甕	A、口径15.3。底径4.8。器高24.6。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部タテナデ後中位下位ヨコナメケズリ、底部ナデ。内面、口縁部ヨコナデ、胴部ナメケズリ後上位ナメナデ。D、白色粒子・角閃石・石英。E、内一明赤褐色。外一にぶい赤褐色。F、完形。G、外面口縁部～胴部上位黒斑、内外外面胴部下位ヨコシ。H、覆土。
	11	土師器 甕	A、口径(15.8)。底径(6.3)。器高27.0。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部ナメナデ後上位ヨコナデ、下半強いヨコナデとヨコナズリ、底部ナデとケズリ。内面、口縁部ヨコナデ、胴部ナメナデ。D、白色粒子・片岩・石英・角閃石。E、内外一様。F、1/5。G、外面胴部に黒斑。H、カマド・覆土。
	12	土師器 甕	A、口径(17.0)。残器高12.2。B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部ナメケズリ後上位ヨコナデ。内面、口縁～肩部ヨコナデ、胴部ナメナデ。D、片岩・白色粒子・角閃石。E、内外一赤褐色。F、口縁～胴部上位1/4。G、外面にスス付着。H、覆土。

表 11 出土遺物観察表 (10)

SI-80	13	土師器 甕	A、口径 17.9、残器高 16.9、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ、胴部タテナデ後下半ナメクスリ。内面、口縁部ヨコナデ、胴部タテ削り後上半ヨコナメナデ。D、白色粒子・角閃石・片岩、E、内外-明赤褐。F、口縁へ胴部上半1/3、G、外面口縁部と胴部中にスス。H、P4上。
		土師器 甕	A、口径 6.6、残器高 18.1、B、粘土組織み上げ。C、外面、胴部中位ナメクスリ後下位タテナデ後ヨコナデ、底部ナデとケズリ。内面、胴部中位タテケズリ、下位タテナデ。D、白色粒子・角閃石・片岩、E、内外-赤褐。F、胴部下半へ底部1/5、G、外面ヨゴレ。H、覆土。
	15	土製品 不明	A、長 4.1、幅 3.8、厚 0.5~1.3、B、手捏ね。C、内外面ヨビナデ。D、片岩・石英・角閃石・白色粒子、E、内外-橙。F、不明。H、覆土。
		16	石製品 磨石
SI-82	1	土師器 坏	A、口径 (12.2)、底径 (6.1)、残器高 3.7、B、粘土組織み上げ。C、外面、体部ココケズリ後口縁部ヨコナデ、底部ケズリ。内面、ヨコナデ。D、角閃石・片岩・白色粒子。E、内外-明赤褐。F、1/5、G、内外面に黒色付着物。H、覆土。
SI-84	1	須恵器 坏	A、口径 (13.6)、底径 (8.2)、器高 3.0、B、粘土組織み上げ。C、外面、体部ココケズリ後口縁部ヨコナデ、底部ヨコケズリ。内面、ヨコナデ。D、白色粒子・角閃石・片岩。E、内外-明黄褐。F、1/5、G、内外面に黒色付着物。H、覆土。
		鉄製品 不明	A、厚 3.5、重 2.29、F、不明。H、覆土。
SD-04	1	土師器 坏	A、口径 (13.0)、残器高 3.5、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ後体部ヨコケズリ。内面、口縁部ヨコナデ後放射状ミガキ。D、角閃石・白色粒子。E、内外-橙。F、破片。H、覆土。
		須恵器 高台付埴	A、底径 (9.2)、残器高 3.0、B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。底部回転系切り後高台貼付。D、片岩・白色粒子・角閃石・白色針状物質。E、内-灰黄。外-黄灰。F、破片。G、還元焼成だが酸化気味。H、覆土。
	3	須恵器 蓋	A、口径 (20.1)、残器高 4.4、B、粘土組織み上げ後ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。D、石英・白色粒子・石英。E、内外-灰。F、破片。G、還元焼成。H、覆土。
SK-67	1	須恵器 坏	A、口径 (12.9)、底径 6.6、器高 3.6、B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。底部回転系切り後無調整。D、白色粒子・石英・片岩。E、内外-灰。F、1/4、G、還元焼成。H、覆土。
SK-89	1	石製品 紡錘車	A、径 4.7、厚 1.5、重 32.9、D、滑石。F、ほぼ完形。H、覆土。
SK-107	1	平瓦	A、残長 6.1、残幅 4.7、厚 1.4、C、凹面有目、凸面ナデ。F、破片。G、還元焼成だが酸化気味。H、覆土。
SK-114	1	土師器 坏	A、口径 13.3、底径 6.2、器高 5.9、B、粘土組織み上げ。C、外面、口縁部ヨコナデ後体部ヨコケズリ、底部ケズリ。内面、ヨコナデ。D、片岩・石英・角閃石・白色粒子。E、内外-明赤褐。F、ほぼ完形。H、覆土。
		須恵器 高台付埴	A、口径 (14.7)、底径 (6.7)、器高 5.5、B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。底部回転系切り後高台貼付。D、片岩・白色粒子・白色針状物質。E、内外-灰黄。F、1/3、G、内外面口縁部一部にスス付着及び二次焼成。H、覆土。
	3	須恵器 高台付埴	A、口径 (14.2)、底径 6.1、器高 4.9、B、ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。底部、回転系切り後高台貼付。D、角閃石・白色粒子・片岩。E、内外-暗灰黄。F、1/3、G、外面体部及び底部に墨書。還元焼成。H、覆土。
	4	須恵器 長頸壺	A、口径 (10.4)、底径 (7.0)、器高 19.9、B、粘土組織み上げ後ロクロ成形。C、内外面、回転ナデ。D、白色粒子・石英・角閃石。E、内-黒褐。外-浅黄。F、3/4、G、還元焼成だが焼成不良。内面黒化。H、覆土・SI-72 覆土・SI-71 カマド壁
	5	須恵器 長頸壺	A、残器高 7.1、B、ロクロ成形。C、外面、回転ナデ。内面、ヨコナデ。D、白色粒子・石英・片岩。E、内外-灰。F、肩部 1/3、G、還元焼成。H、覆土。

VI まとめ

今回の調査では、堅穴住居跡を19軒、掘立柱建物跡を2軒、土坑を38基、溝を2条検出した。溝とほとんどの土坑に関しては中世以降に帰属すると思われる。

堅穴住居跡は、古墳時代中期（5世紀代）が6軒、奈良時代（8世紀代）が1軒、平安時代（9世紀代）が10軒、時期不明が2軒となっている。

古墳時代中期 SI-70・SI-72・SI-73・SI-78・SI-79・SI-80が該当する。住居の規模は違えど、共通点が多い（表12）。カマドはSI-70・SI-73以外の住居で確認され、すべて東壁に敷設される。これらは所謂初期カマドにあたる。以下、残存状況の良いSI-78・79・80の3軒を中心に比較していく（注1）。3軒とも東壁でも南寄りにカマドを敷設し、南コーナー部分の貯蔵穴を持ち、燃焼部に逆位の高環を転用支脚として使用している。SI-79と80は焚口部のみ検出で煙道は調査区外となっている。唯一煙道を検出したSI-78もまた、燃焼部を重複土坑によって失っている状態であった。煙道を持つ初期カマドは少なく、二本松遺跡14号住居で確認されているが、SI-78よりも新しい時期に比定される（増田1983）。よって、SI-78は周辺遺跡において煙道を持つ最も古い事例になる可能性がある。また、SI-79とSI-80は貯蔵穴の周囲に灰白色粘土を使用した土手を巡らせている。なお、SI-70は、貯蔵穴の位置が他の住居と異なり出土遺物も若干古相を呈するため、カマド導入以前の住居跡だと考えられる。

遺物は碗・埴・高環・小形甕・有孔鉢（甔）・甕・壺で組成される。須恵器模倣坏は出土せず、大型甔も破片がSI-79で見られるのみである。SI-79からは2点の大型壺が出土している（第51図50、第52図51）。50は折り返し口縁に外面は丁寧なミガキ、51は二重口縁に外面はケズリ、内面は器面の剥落が激しい。住居内より大形土器が出土する例は、夏目西遺跡21号住居から器高61.6cmの二重口縁壺が挙げられる（大谷2007）。

奈良時代 8世紀のSI-76は調査区の南端に位置しており内容は不明であるが、4本主柱穴を持ち古墳時代の住居形態に近いものと考えられる。

平安時代 古代の住居は9世紀代が主である。カマドを検出した住居は6軒を敷え、うち5軒は東壁に敷設している。唯一SI-69だけが南東コーナーにカマドを持つ。住居の規模は一辺4m前後の長方形で主柱穴や貯蔵穴等明確な共通点は少ない。SI-67やSI-74はカマドの構築材として白色粘土とともに土師器甕の破片を用いていたようで、接合しない破片が多数出土した。一方でカマドに礎を使用しているSI-71からは土師器甕の破片量は少ない結果であった。

遺物は、土師器は埴とコの字口縁甕、須恵器は坏・高台付埴・高台付皿・壺・甕・甔で組成される。SI-71からは須恵器の大形甔や壺（第41図10～13）が出土している。大形甔（第41図10）はしっかりとした突帯が特徴的である。今井原屋敷遺跡第4地点SI-55からは須恵器甔の底部が出土しており、本遺跡のものと同様に未貫通の孔が穿たれている（有山他2005）。口縁部の形例は群馬県藤岡市三本木中道B遺跡H-21で出土している（高橋他2012）。

また、SK-114から出土した須恵器の底部からは伴に似る「伴」の墨書が描かれている。本遺跡から西3kmに位置する自樹原・楡下遺跡からは「伴」の線刻刻鐘車が出土しており、関連性も考えられる。

周辺遺跡 第5地点目の調査となっており、同遺跡内では過去4度の調査事例がある（富田他1985、和久2004、有山他2006）。ここでは、

表12 古墳時代の住居跡

	SI-70	SI-72	SI-73	SI-78	SI-79	SI-80
規模	4.4	5.1	5以上	4.3	8.0	6.0
カマド	-	東	-	東	東	東
貯蔵穴	南西	-	-	南東	南東	南東
主柱穴	×	×	4	4	4	4
周溝	○	×	○	○	×	×
床下土坑	×	×	○	×	×	×
床面焼土	○	○	○	○	○	×
礎化面	×	×	○	×	×	×

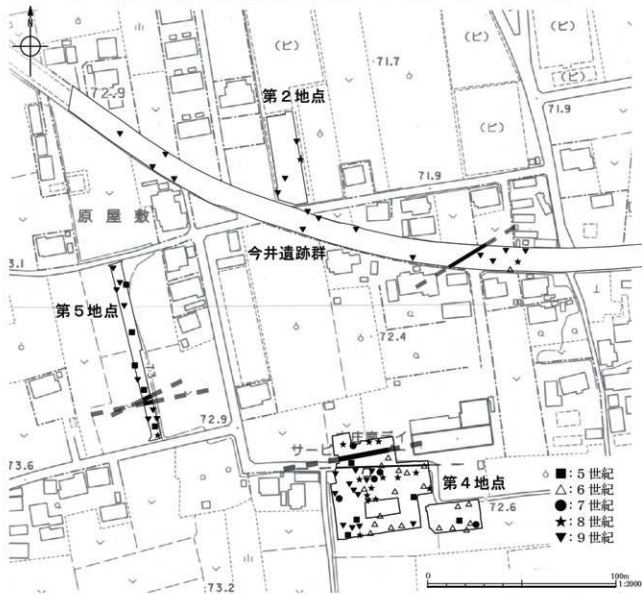
今井原屋敷遺跡の住居跡の分布から集落の動態を考察したい(第53図)。

最も古い住居は第5地点のSI-70等古墳時代中期(5世紀中葉)である。続いて、初期カマドを有する住居跡は第4・5地点に位置しており、他の調査区では認められない。古墳時代後期(6世紀～7世紀)になると、第4地点に収縮し、19軒検出される。また、7世紀は5軒と全時代中最も住居軒数が少なくなっている。奈良時代(8世紀)も同様に第4地点に12軒と集中する傾向にあるが、今井遺跡群・第2地点・第5地点においても1軒ずつ確認され、集落が徐々に拡大していく。平安時代(9世紀)ともなると、拡散は加速する。今井遺跡群まで範囲が広がり、住居件数も35軒と大幅に増加する。

今井原屋敷遺跡の東から南にかけて広がる低地帯には古くから水田が営まれている。集落の人々が水田耕作を行っていたとみて間違いないだろう。6世紀や9世紀代に集落が大きく変化したことは、灌漑用水の開鑿を伴うと察察されている(鈴木1995)。本遺跡もまた、この流れの一端を担う集落として位置づけられよう。

以上、簡単にではあるが本遺跡のまとめを記してきた。本庄台地での調査は1980年代から継続的に行われ、充実した資料が蓄積されている。本書もその一助となれば幸いである。

注1)SI-72でもカマドは検出されるが重複する古代の住居に破壊され焼土を確認しただけで構造等は不明なためここでは除く。



第59図 近隣の調査区

【参考文献】

- 赤熊浩一・岩瀬謙他 1988『得覧塚・古井戸-歴史時代編Ⅱ-』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第71集 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
- 有山径世他 2006『今井原屋敷遺跡-第4地点-』本庄市埋蔵文化財報告書第4集 本庄市教育委員会
- 磯崎一 1995『今井川越田遺跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第177集 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
- 井上尚明 1986『得覧塚・古井戸-古墳-歴史時代編Ⅰ-』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第64集 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
- 岩瀬謙 1998『地神/瑠璃』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第193集 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
- 岩田明広 1998『今井桑里遺跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第192集 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
- 大谷敬 2007『夏目/夏目西/弥藤次』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第346集 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
- 大谷敬 2011『川越田遺跡Ⅱ』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第375集 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
- 志河内昭彦 1997『辻堂遺跡Ⅰ』児玉町文化財調査報告書第19集 児玉町教育委員会
- 志河内昭彦・松本完 2008『七色塚遺跡Ⅱ-B1地点・北嶺新田前遺跡-A1地点-』本庄市埋蔵文化財報告書第7集 本庄市教育委員会
- 鈴木徳雄 1983『古代北武蔵における土器製作手法の画期』『土曜考古』第7号 土曜考古学研究会
- 鈴木徳雄 1984『いわゆる北武蔵系土器器形の動態-古代武蔵国における土器器生産と交易-』『土曜考古』第9号 土曜考古学研究会
- 鈴木徳夫 1995『古代児玉郡の土地利用と方形館の成立』『堀向・藤塚A・柿島・内手B C・児玉桑里遺跡』児玉町文化財調査報告書第18集 児玉町教育委員会
- 高橋清文 2009『得覧塚遺跡-第3次調査-』本庄市埋蔵文化財調査報告書第16集 本庄市教育委員会
- 高橋清文他 2012『E23a 三本木大谷B遺跡・E23b 三本木中道東B遺跡・E23c 三本木中道東C遺跡-三本木工業団地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-』藤岡市教育委員会
- 徳山寿樹他 1995『堀向・藤塚A・柿島・内手B C・児玉桑里遺跡』児玉町文化財調査報告書第18集 児玉町教育委員会
- 徳山寿樹 1996a『東鹿沼・藤塚B1・児玉桑里遺跡』児玉町文化財調査報告書第21集 児玉町教育委員会
- 徳山寿樹 1996b『藤塚遺跡-B2地点の調査-』児玉町文化財調査報告書第22集 児玉町教育委員会
- 富田和夫他 1985『立野南・八幡太神南・熊野太神南・今井遺跡群・一丁田・川越田・梅沢』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第46集 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
- 中村倉司 1999『埼玉県における5世紀代の土器-和泉式の行方-』『東国土器研究』第5号 東国土器研究会
- 長谷川勇・坂野和信 1988『鶴塚遺跡第2号住居址の発掘調査-和泉式土器に関する研究-』『本庄市歴史民俗資料館紀要』第2号 本庄市歴史民俗資料館
- 増田一裕 1983『二本松遺跡発掘調査報告書-県道本庄・鬼石線道路改良事業に伴う発掘調査報告Ⅰ-』本庄市埋蔵文化財調査報告書第5-1集 本庄市教育委員会
- 増田一裕 1985『夏目遺跡発掘調査報告書-県道本庄・鬼石線道路改良事業に伴う発掘調査報告Ⅱ-』本庄市埋蔵文化財調査報告書第5-2集 本庄市教育委員会
- 増田一裕 1987『社具路遺跡発掘調査報告書-県道本庄・鬼石線道路改良事業に伴う発掘調査報告Ⅲ-』本庄市埋蔵文化財調査報告書第5-3集 本庄市教育委員会
- 増田一裕 1992『前田甲遺跡発掘調査報告書-県営は陽整備事業児玉北部地区に伴う埋蔵文化財発掘調査-』本庄市埋蔵文化財調査報告書第20集 本庄市教育委員会
- 和久裕昭 2004『今井原屋敷遺跡-第2地点-』本庄市遺跡調査会報告第9集 本庄市遺跡調査会

写真図版



本庄市マスコット

ぼにぼん



調査区 全景（上が北）

写真図版 2



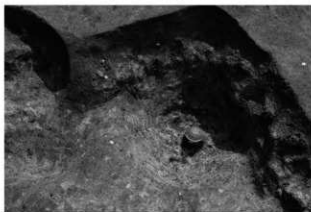
SI-67 全景 (西から)



SI-67 遺物出土状況 (西から)



SI-67 カマド遺物出土状況 (西から)



SI-67 貯蔵穴遺物出土状況 (北西から)



SI-67 カマド・貯蔵穴全景 (西から)



SI-67 掘り方全景 (西から)



SI-68 全景 (西から)



SI-68 遺物出土状況 (西から)



SI-68 カマド遺物出土状況（西から）



SI-69 全景（北から）



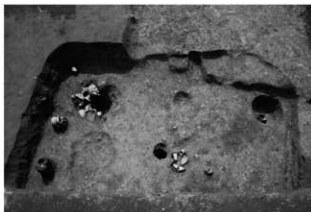
SI-69 遺物出土状況（西から）



SI-69 カマド全景（北西から）



SI-70 全景（西から）



SI-70 遺物出土状況（東から）



SI-70 貯蔵穴周辺遺物出土状況（北西から）



SI-70 P1 遺物出土状況（北から）

写真図版 4



SI-71 全景（西から）



SI-71 遺物出土状況（西から）



SI-71 カマド周辺遺物出土状況（南西から）



SI-71 カマド全景（西から）



SI-71・SI-72 掘り方全景（西から）



SI-72 全景（西から）



SI-73 全景（西から）



SI-73 遺物出土状況（南から）



SI-73 床下土坑土層断面 (西から)



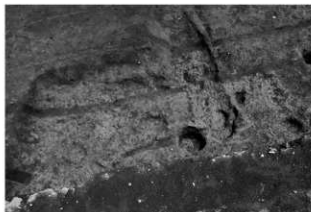
SI-74 全景 (西から)



SI-74 遺物出土状況 (西から)



SI-74 カマド全景 (西から)



SI-74 掘り方全景 (西から)



SI-77 土層断面 (北東から)



SI-75 全景 (西から)



SI-75 掘り方全景 (西から)

写真図版 6



SI-76 全景 (西から)



SI-76 掘り方全景 (西から)



SI-78 全景 (西から)



SI-78 遺物出土状況 (西から)



SI-78 カマド遺物出土状況 (西から)



SI-79 全景 (西から)



SI-79 遺物出土状況 (西から)



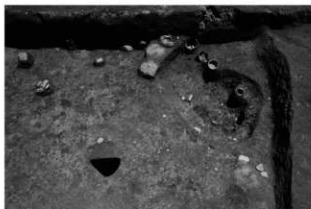
SI-79 カマド周辺遺物出土状況 (東から)



SI-79 遺物出土状況近景(北から)



SI-79 作業風景(東から)



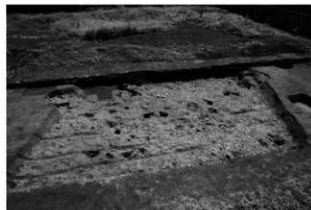
SI-79 貯蔵穴遺物出土状況(西から)



SI-79 カマド遺物出土状況(北西から)



SI-79 作業風景(西から)



SI-79 掘り方全景(西から)



SI-80 全景(西から)



SI-80 遺物出土状況(西から)

写真図版 8



SI-80 カマド遺物出土状況（西から）



SI-80 貯蔵穴検出状況（南西から）



SI-80 カマド・貯蔵穴遺物出土状況（西から）



SI-81 全景（西から）



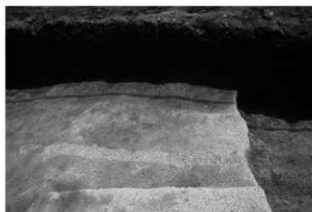
SI-82 全景（西から）



SI-82 カマド遺物出土状況（南西から）



SI-83 全景（西から）



SI-85 全景（西から）



SI-84 全景（西から）



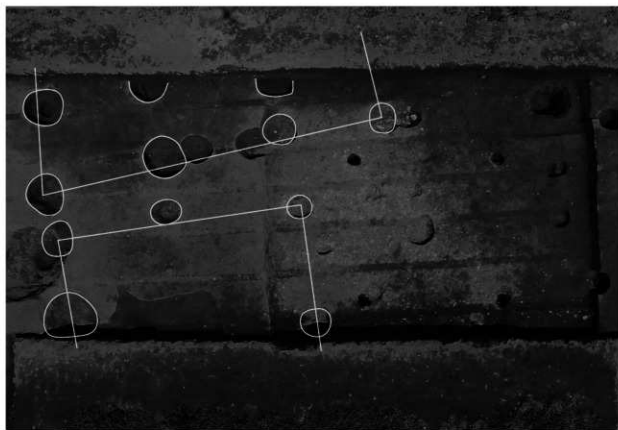
SI-84 掘り方（西から）



SD-04 全景（東から）



SD-05 全景（西から）



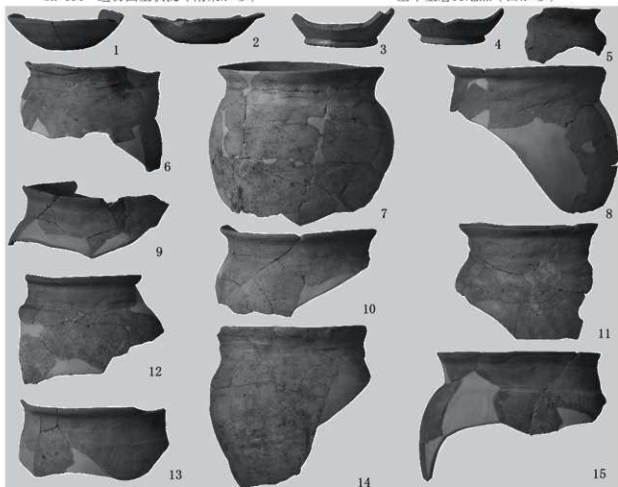
SB-02・SB-03 全景（右が北）



SK-114 遺物出土状況（南東から）



基本土層A地点（西から）



SI-67 出土遺物



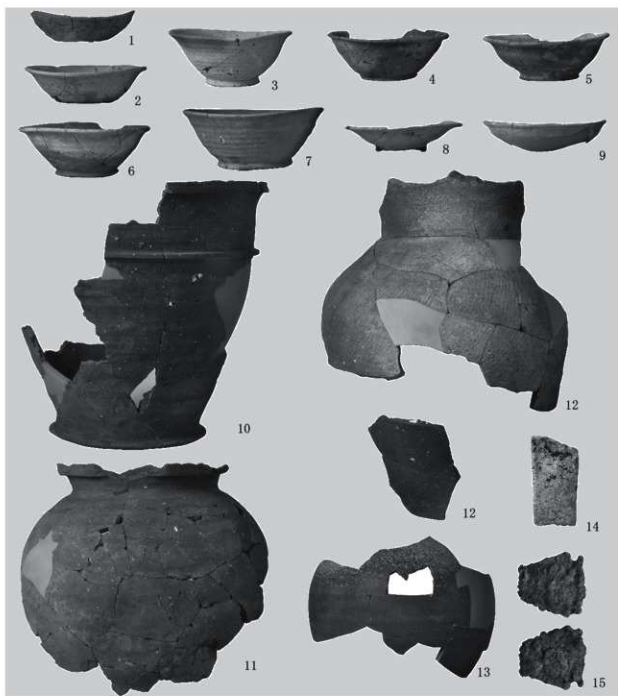
SI-68 出土遺物



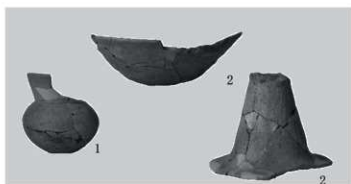
SI-69 出土遺物



SI-70 出土遺物



SI-71 出土遺物



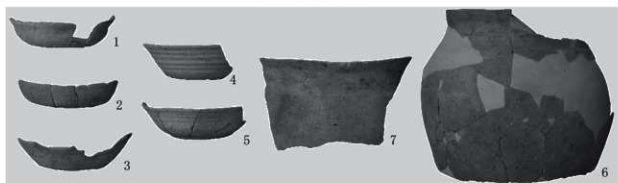
SI-72 出土遺物



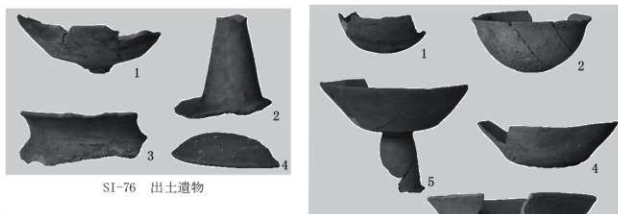
SI-75 出土遺物



SI-73 出土遺物



SI-74 出土遺物



SI-76 出土遺物



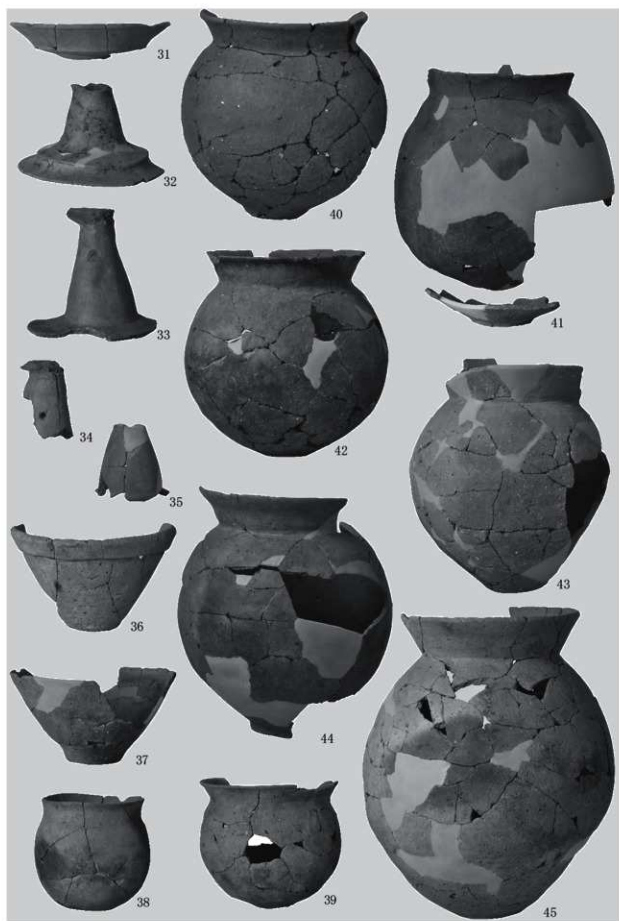
SI-78 出土遺物



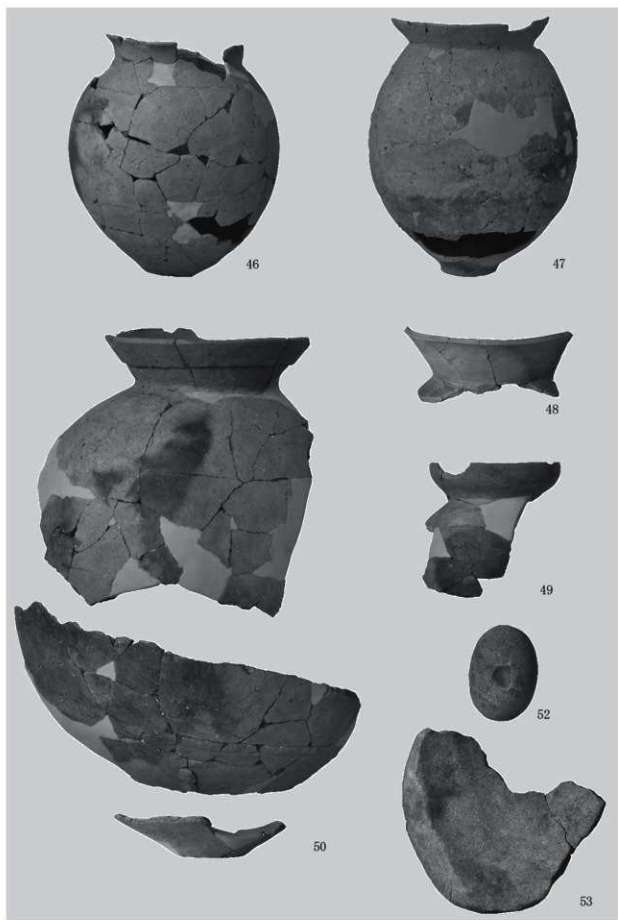
SI-79 出土遺物 (1)



SI-79 出土遺物 (2)



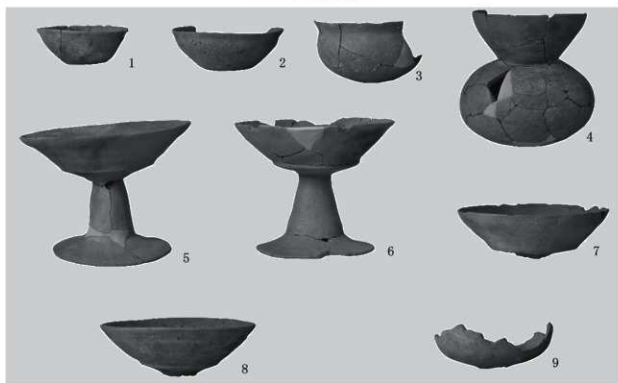
SI-79 出土遺物 (3)



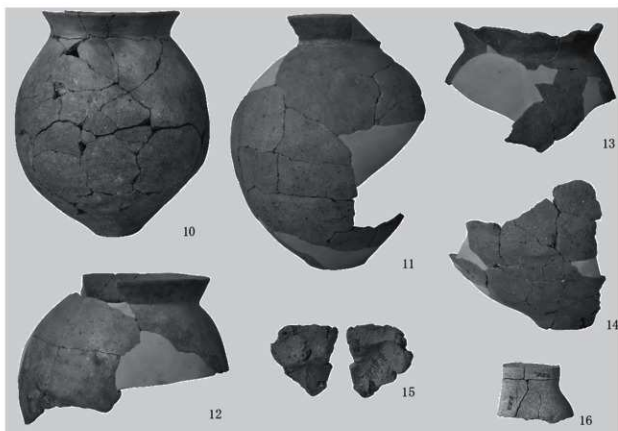
SI-79 出土遺物 (4)



SI-79 出土遺物 (5)



SI-80 出土遺物 (1)



SI-80 出土遺物 (2)



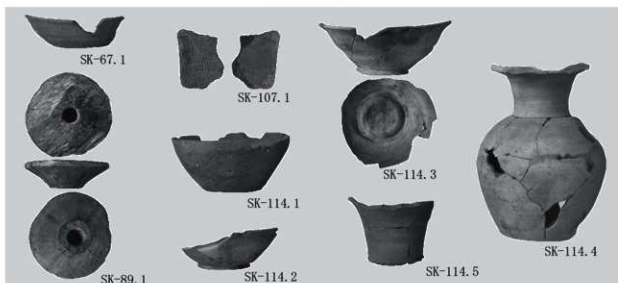
SI-82 出土遺物



SI-84 出土遺物



SD-04 出土遺物



土坑出土遺物

報告書抄録

ふりがな	いまいはらやしきいせき だいちちてん
書名	今井原屋敷遺跡 - 第5地点 -
副書名	
巻次	
シリーズ名	本庄市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第46集
編著者名	宮本久子
編集機関	本庄市教育委員会
所在地	〒367-8501 埼玉県本庄市3丁目5番3号 TEL 0495-25-1185
発行年月日	西暦 2015(平成27)年3月24日

所収遺跡	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
今井原屋敷遺跡 第5地点	埼玉県本庄市 今井字原屋敷 1031-1 ほか	53	101	36° 13'25"	139° 08'58"	20140609 ～ 20140725	522㎡	集合住宅の 取付道路

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
今井原屋敷遺跡 第5地点	集落	古墳時代中期 奈良時代 平安時代	竪穴住居跡 19軒 掘立柱建物跡 2棟 土坑 38基 溝 2条 柱穴 15基	土師器、須恵器、土 製品、石製品、鉄製 品	

本庄市埋蔵文化財調査報告書 第46集

今井原屋敷遺跡

- 第5地点 -

平成27年3月24日印刷

平成27年3月24日発行

発行／本庄市教育委員会

〒367-8501 埼玉県本庄市本庄3丁目5番3号

電話 0495-25-1185

印刷／朝日印刷工業株式会社